

令和5年度

事業報告書
収支決算書

磐田商工会議所

目 次

[事業報告の部]

I 総括的概要	1
II 事項別状況	
1 定款及び規約等	3
2 組織	24
3 選挙及び選任	38
4 事務局	39
5 庶務	39
6 会議	40
7 事業	53
8 登録	82
9 会館事務所等	83
10 関係団体への加入及び連携	84
11 その他	91

[収支決算の部]

1 令和5年度 収支決算書総括表	97
2 令和5年度 磐田商工会議所一般会計収支決算書	98
3 令和5年度 磐田中小企業相談所収支決算書	102
4 令和5年度 労働保険事務組合特別会計収支決算書	105
5 令和5年度 役職員退職給与積立金会計収支決算書	106
6 令和5年度 磐田商工会議所会館建設特別会計収支決算書	107
7 令和5年度 財政調整積立金特別会計収支決算書	108
8 貸借対照表	109
9 財産目録	110
10 磐田商工会館等特別会計貸借対照表	112
11 磐田商工会館等特別会計財産目録	113
12 令和5年度 磐田商工会館等特別会計収支決算書	114
13 監査報告書	117

I 総括的概要

我が国を取り巻く環境は、長期化しているロシア・ウクライナ戦争に加え、イスラエルのガザ侵攻により不安定さを増している中東情勢、隣国である中国、北朝鮮の脅威等予断を許さない状況にあります。

我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあります。GDP成長率は実質で1.6%程度、名目で5.5%程度、消費者物価は、3.0%程度の上昇率となっています。また、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済は前向きな動きがみられ、長年の停滞から抜け出し成長へと転換する千載一遇のチャンスとされています。

こうした中、資源価格・原材料価格の高騰や円安の進行などにより、厳しい環境に置かれている企業も多数あるのが現状です。

中小企業においては、コストアップに伴う取引価格の適正化が、必ずしも順調に進んでいるとは言えない状況にあり、「パートナーシップ構築宣言」の普及・拡大を通じ、適切な価格転嫁を実現していくことが求められています。また、国を挙げての「賃上げ」は、経費として重くのしかかり経営を圧迫しているという声も聞かれます。

少子高齢化による生産年齢人口の減少等による人手不足は、依然として中小企業にとっては深刻な経営問題となっており、企業においては外国人雇用の増加に加えて、デジタル化の推進等により生産性の向上に取り組むことが喫緊の課題になっています。

多くの中小・小規模事業者は、ポストコロナに対応したビジネスモデルへの変革を求められており、政府・行政からの経営力強化等、様々な支援策の活用を通じ、自己改革に向けた取組みを後押ししていくことも商工会議所の使命となっています。

商工会議所の中心的事業である会員事業所への巡回、窓口相談の強化を図るとともに、外部専門家を活用しながら、伴走型支援に努めました。

8部会において議論・協議してまとめた要望書を磐田市に提出しました。要望内容は、それぞれの業界が直面している課題や土地利用に関するもの等広範に渡っています。

6月に襲来した台風2号は、令和4年9月の台風15号の傷がいえない本市にとって大きな爪痕を残しました。また、本年元日に発生した能登半島地震は大きな被害をもたらし、今なお不自由な生活を余儀なくされている被災者も多い状況にあります。改めて、自然災害の恐ろしさ、それに対する備えをはじめ危機管理意識を強く持つ必要性を感じています。

磐田商工会議所会館建設事業は、8月1日の起工式から8カ月の施工期間を経て本年3月末に完成しました。資材高騰等により建設費用が増大しましたが、会員各

位のご理解のもと、多額の建設協力金をいただいた中で建設を進めてきました。節目で、建設推進委員会において協議を行い、確認しながらの歩みとなりました。協議の内容は、会館レイアウトや外観、内装及び資金計画や利用のルール作り等多岐に及びました。

また、新会館建設にあわせて、商工会議所としての役割を最大限に発揮できるように、磐田商工会議所設立100年となる2049年（令和31年）に向けた長期ビジョンの策定を進めています。

13回目となる「産業振興フェアinいわた」を186社の出展によりアミューズ豊田で開催しました。同会場で講演会、討論会等も併催し、2日間で過去最高となる8,300人もの方にご来場いただきました。来場総数は増えた一方、「学生向け企業ブース訪問ツアー」の参加学生が少なく、高校生の来場拡大と合わせて学生の企業訪問を増やすことが、次回以降の課題となっています。

「みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市」は、コロナ禍の制限のない軽トラ市が4回開催されました。各回とも90台超の軽トラが並び、多い日には1万人もの人出がありました。

また、「いわた夏祭inジュビロード」もコロナ禍の制限を受けない中で開催され、若者を中心に45,000人の人出で賑わいました。

交流と自己研鑽を目的とする青年部会(むすびの会)では、充実した活動が行われました。DXを活用した持続可能な社会への挑戦と題した磐田市版DX推進に関する政策提言をまとめ、磐田市に提言書を提出しました。

情報発信強化のため、商工会議所ホームページの充実とSNSとの連動を図り、提供すべき情報の内容に応じ、多様なツールを活用した広報活動を行いました。特に新会館建設事業に関しては、特集記事を掲載するなどして進捗状況を丁寧に報告してきました。

II 事項別状況

1. 定款及び規約等

(1)定款 改正事項なし

(2)規約、規則、規程他

A 規則

1. 磐田商工会館管理規則の一部を改正

(改正理由) 磐田商工会館の名称及び閉館時間の変更に関する改正を行う。

旧条文	新条文
<p>磐田商工会館管理規則</p> <p>(目的) 第1条 この規則は、磐田商工会館（以下「会館」という。）の管理について必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>(会館の開閉等) 会館の開閉及び休館は次の通りとする。 第3条 (1)開閉館 開館8時30分、閉館17時15分</p> <p>(2)省略</p>	<p>磐田商工<u>会議所</u>会館管理規則</p> <p>(目的) 第1条 この規則は、磐田商工<u>会議所</u>会館（以下「会館」という。）の管理について必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>(会館の開閉等) 会館の開閉及び休館は次の通りとする。 第3条 (1)開閉館 <u>月曜日・水曜日・金曜日</u> 開館8時30分、閉館17時15分 <u>火曜日・木曜日</u> <u>開館8時30分、閉館19時15分</u></p> <p>(2)省略</p> <p>附則 この規程は、令和6年4月1日から適用する。</p>

2. 磐田商工会議所職員就業規則の制定

(制定理由) 職員就業内容の変更に伴う就業規則全面改定の為、新たに就業規則を制定する。

<p style="text-align: center;">磐田商工会議所職員就業規則</p> <p style="text-align: center;">第1章 総則</p> <p>(趣旨) この就業規則は、磐田商工会議所（以下「商工会議所」という。）と職員が相互信頼の上に立ち、秩序を維持し業務の円滑な運営を期するため、職員の服務規律および待遇に関する基準その他必要事項を定めたものである。商工会議所および職員は誠意と責任をもってこの規則を遵守しなければならない。</p> <p>(職員の定義) 第2条 職員とは、第2章に定めるところにより商工会議所に採用された次の各号の者をいう。</p>

- (1) 試用職員…本規則第15条により試用期間中の者
- (2) 職員…試用期間を経過し本規則第16条により本採用となった者
- (3) 嘱託職員…本規則第61条により60歳定年時に継続して再雇用された者および期間を定めて雇用される者（臨時職員を除く）
- (4) 臨時職員…パート職員・アルバイト職員等、期間を定めて雇用される者のうち臨時の業務に就く者

(適用範囲)

第3条 本規則のすべての適用を受けるのは、職員とし、嘱託職員、臨時職員については、一部の規定の適用を除外する。

2 嘱託職員・臨時職員の労働条件のうち、この規則によらないものについては、次の区分に従い定めるものとする。

- (1) 嘱託職員…労働条件通知書・継続雇用規程
- (2) 臨時職員…労働条件通知書

(他の法律との関係)

第4条 本規則に定めた事項のほか職員の就業に関する事項は、労働基準法その他の関係諸法令に従い、個別の労働条件通知書に定めたものはそれに従う。

(規則の周知)

第5条 商工会議所は第8条により採用した職員に対し、就業規則および諸規程を説明し、事業場に備え付け、規則の周知徹底を図る。

(差別的取り扱いの禁止)

第6条 商工会議所は、職員の国籍、信条、社会的身分または男女の別等を理由に、差別的取り扱いをしない。

第2章 人事

(職員の任免)

第7条 職員の任免は、会頭が行う。

(採用)

第8条 商工会議所は、就職を希望する者（以下「就職希望者」という。）の中から選考のうえ、所定の手続を経た者を職員として採用する。

(就職希望者の提出書類)

第9条 就職希望者は面接時まで、次の書類を商工会議所へ提出しなければならない。ただし、中途採用者の場合は一部を省略することがある。

- (1) 本人自筆の履歴書および写真（3か月以内に撮影したもの）
- (2) 卒業（見込）証明書および成績証明書
- (3) 前各号のほか商工会議所が必要と認めるもの

(選考方法)

第10条 商工会議所は、就職希望者に対し次の選考を行い、合格した者を職員として採用する。

- (1) 書類選考
- (2) 面接試験
- (3) その他商工会議所が必要と認めるもの

(採用時の提出書類)

第11条 職員として採用された者は、商工会議所の指定する日までに次の書類のうち商工会議所が指定するものを提出しなければならない。

- (1) 誓約書
- (2) 身元保証書
- (3) 給与所得者の扶養控除等申告書
- (4) 通勤方法の届書
- (5) 商工会議所就職の年に給与所得があった者はその年の源泉徴収票
- (6) 前職のある者は、年金手帳（厚生年金保険被保険者証）および雇用保険被保険者証
- (7) 各種免許証または資格証明書
- (8) マイナンバー（個人番号カード、通知カードまたはマイナンバーが記載された住民票の写しもしくは住民票記載事項証明書（ただし、個人番号カードおよび通知カードについては、対面で提示する場合には原本の提示、送付の場合には写しの送付による。）
- (9) その他商工会議所が必要と認める書類

(身元保証人)

第12条 前条第2号の身元保証書は、保証人を2名とし、独立して生計を営む成年者に限定する。

- 2 身元保証人の保証期間は5年とする。ただし、必要に応じてこれを更新することがある。

(採用取り消し)

第13条 第8条により職員として採用した者で、入所日到来までに次のいずれかに該当することが判明した場合は、採用を取り消すことがある。

- (1) 健康診断の結果、就業に支障があると認めた場合
- (2) 正当な理由なく、提出書類に不実を記載した場合
- (3) 正当な理由なく、商工会議所の要求した書類を指定した期日までに提出しない場合

(家族その他の変更)

第14条 職員は、第11条の提出書類のうち、家族、住所、通勤方法等に変更があった場合は、そのつど遅滞なく文書で商工会議所に届け出なければならない。

(試用期間)

第15条 新たに採用された者は、採用の日から3か月間を試用期間とし、その間に本人の人物、性格、能力、勤務態度、健康状態、適性等を審査のうえ、本採用の可否を決定する。

2 試用期間中に職員として適格性に欠けると判断したとき、または正当な理由なく無断欠勤したときは、その日をもって労働契約を解除する。ただし、試用期間が14日を経過した場合は、第62条の手続きを行い解雇する。

3 商工会議所が特に必要と認めたときは、第1項の期間を延長もしくは短縮することがある。

- 4 特殊な技能、経験を有する者には、試用期間を設けないことがある。

(本採用)

第16条 商工会議所は、前条の試用期間を満了した者について、職場適応性、勤務成績、業務習得の程度、健康状態等を総合的に判断した結果、適性があると認められる者を職員として本採用する。本採用者には、試用期間の最終日までに通知する。

2 試用期間を経て引き続き雇用される場合は、試用期間の当初から採用されたものとして勤続年数に通算する。

(異動)

第17条 商工会議所は、業務の都合により職員に配置転換を命ずることがある。

- 2 前項の人事異動を命ぜられた者は、正当な理由なくこれを拒むことはできない。
- 3 異動を命ぜられた場合は、後任者に仕事の申し送りをし、指定された期日にすみやかに職場に着任し、または職種に就かなければならない。

(出向)

第18条 商工会議所は、職員の人材育成、相手先の業務支援その他業務の都合により、職員に出向を命ずることがある。

2 出向を命ずる場合、商工会議所は、出向中の労働条件、給与等の取り扱いその他必要な事項を明示し、本人の意向を聴取してから行う。この場合、正当な事由がなければこれを拒むことができない。

(管理監督者)

第19条 専務理事を管理監督者とする。

第3章 勤務

(勤務時間および休憩時間)

第20条 所定労働時間は、1週間については38時間45分、1日については7時間45分とし、始業時刻、終業時刻および休憩時間は次のとおりとする。

	始業時刻	終業時刻	休憩時間
勤務①	8:30	17:15	12:00~13:00
勤務②	10:30	19:15	12:00~13:00

2 商工会議所は、業務の都合により、始業時刻、終業時刻および休憩時間を予告のうえ変更することがある。

3 勤務②における各職員の勤務は、年度当初にシフト表を職員に通知する。尚、本人の都合により交代する事ができる。

(事業場外労働の労働時間)

第21条 職員が、出張やその他の作業等により、事業場外で業務に従事する場合において、労働時間を算定しがたいときは、当日の所定労働時間を勤務したものとみなす。

(休憩の利用)

第22条 職員は、休憩時間を商工会議所の規律保持を妨げない限り自由に利用することができる。ただし、職場を遠く離れる場合は、あらかじめその旨を所属長または同僚に連絡しておかなければならない。

(休日)

第23条 休日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日および土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - (3) 年末年始(12月29日から1月3日)
- その他必要と認めるときは、臨時に休日を設ける。

(休日の振替)

第24条 商工会議所は、業務の都合によりやむを得ない場合は、前条の休日を職員の全部または一部に、他の日と変更または振り替えることがある。ただし、この場合、商工会議所は当該者にあらかじめ振替休日を通知する。

(時間外および休日勤務)

第25条 商工会議所は、業務上必要あるときは、所定時間外または休日に勤務させること

がある。職員は、正当な理由なく拒否してはならない。

2 時間外および休日労働は、労働基準監督署長に届け出た協定の範囲内で命じるものとする。

3 時間外および休日労働は、所属長の指示または所属長に請求して承認された場合を対象とする。

4 妊娠中の女性職員が申し出た場合、超過勤務をさせることはない。

5 小学校就学前の子を養育し、または家族の介護を行う職員が請求したときは、時間外勤務を1か月に24時間、1年150時間以内とし、法定休日に就業させることはない。

(非常災害時の特例)

第26条 災害その他避けられない事由による場合は、労働基準監督署長の許可を受け、または事後の届出により、労働時間の変更、延長または休日に勤務させることがある。ただし、妊娠中の女性職員が申し出た場合はこの限りではない。

(年次有給休暇)

第27条 前年度の全労働日の8割以上出勤した者に対して、基準日を毎年4月1日(以下「統一基準日」という。)とした各年度に、労働基準法に基づき次の表のとおり勤続年数に応じた日数の年次有給休暇を付与する。ただし、入所1年未満の者には、入所月ごとの休暇日数を入所時に付与し、統一基準日までの出勤率にかかわらず、入所後初めての統一基準日に11日を付与するものとする。

<年次有給休暇日数>

勤続年数(年)	1年	2年	3年	4年	5年	6年以降
年次有給休暇付与日数	11日	12日	14日	16日	18日	20日

<新規採用時の年次有給休暇日数>

入所月	付与日数	入所月	付与日数	入所月	休暇日数
4月	10日	8月	10日	12月	4日
5月		9月		1月	3日
6月		10月	6日	2月	2日
7月		11月	5日	3月	1日

2 年次有給休暇の未使用分については、次年度に限り繰り越すことができる。

(半日休暇)

第28条 職員は、年次有給休暇を半日単位で次の表のとおりに取得することができる。

	前半日	後半日
勤務①(8:30~17:15)	8:30~12:00	13:00~17:15
勤務②(10:30~19:15)	10:30~15:00	15:00~19:15

(時間単位休暇)

第29条 第27条の年次有給休暇の日数のうち、1年について5日の範囲内で、次により時間単位の年次有給休暇(以下「時間単位年休」という。)を付与する。この5日には、前年の時間単位年休に係る繰越し分を含める。

(1) 時間単位年休付与の対象者は、すべての職員とする。

(2) 時間単位年休を取得する場合の、1日の年次有給休暇に相当する時間数は8時間とする。

(3) 時間単位年休は、1時間単位で付与する。

(4) 上記以外の事項については、前条の年次有給休暇と同様とする。

(休暇の変更)

第30条 年次有給休暇は、職員がこれを請求した時季に与える。ただし、商工会議所は、業務の運営に支障をきたすときには、他の日に変更することがある。

(年次有給休暇の請求手続き)

第31条 年次有給休暇を請求する場合は、原則として事前に休暇承認申請簿（別記様式）により所属長の了解を得たうえで、商工会議所に届け出るものとする。

2 欠勤した場合、正当な事由があったと商工会議所が判断したときを除いて、事後これを年次有給休暇に振り替えることは認めない。

(使用者による年次有給休暇の時季指定)

第32条 年次有給休暇が10日以上与えられた職員に対しては、付与日から1年以内に、当該職員の有する年次有給休暇日数のうち5日について、商工会議所が職員の意見を聴取し、その意見を尊重したうえで、あらかじめ時季を指定して取得させる。ただし、職員が第31条による年次休暇を取得した場合においては、当該取得した日数分を5日から控除するものとする。

(特別休暇)

第33条 職員が次の事由により休暇を申請した場合は特別休暇を与える。
なお特別休暇は、特に定めのない限り当該事由の生じた日から引き続き取得することを原則とするが、本人の結婚については本人の希望も勘案し事由の発生日から6か月以内の取得を認める場合がある。

(1) 結婚の場合（結婚式の日または婚姻届を提出した日）

本人が結婚するとき……………7日以内

子が結婚するとき……………3日以内

(2) 出産

妻が出産するとき……………3日以内

(3) 忌引

配偶者、一親等の血族の死亡……………7日以内

二親等の血族または一親等の姻族の死亡……………1日以内

(但し、同居の場合は3日以内)

三親等の血族または二親等の姻族の死亡……………1日以内

(4) 夏期休暇 3日

(5) 感染症の予防および感染症の患者に関する法律の規定による交通の制限または遮断の場合……………必要と認められる期間

(6) 自然災害、交通機関の事故等不可抗力の原因による交通断絶の場合

……………1週間の範囲で必要と認められる期間

(7) その他会頭が必要と認めたとき（緊急事態宣言等に関する対策を含む）

2 第1項各号の特別休暇の期間中に、第23条各号の休日が含まれる場合は、その日は特別休暇を取得したものとみなす。

(公民権の行使等)

第34条 職員が次の各号の一に該当するときは、その必要な時間を与える。

(1) 選挙権その他公民権を行使するとき

(2) 証人、鑑定人、または裁判員として裁判所に出頭するとき

(3) 前各号に準ずるとき

2 前項の届出があった場合、商工会議所はその目的を妨げない範囲でその時間を変更することがある。

3 前1項の時間については無給とするが、商工会議所が必要と認めるときは有給扱いとすることがある。

(産前産後休暇等)

第35条 産前については、6週間(多胎妊娠の場合は14週間)以内に出産予定の女性職員に休暇を与える。

2 出産が予定日を過ぎた場合は、その日数分を産前休暇に加える。

3 出産後については、8週間を経過しないと就業できない。ただし、産後6週間を経過した女性職員が就業を請求する場合には、医師が認める業務に就かせることがある。

4 本条の休暇は無給とする。

5 妊娠中の女性職員が請求した場合には、他の軽易な作業に転換させる。

(生理休暇)

第36条 女性職員が生理日に就業が著しく困難な場合は、生理休暇を請求することができる。ただし、無給とする。

(特別休暇等の請求手続)

第37条 職員が特別休暇、公民権の行使等、産前産後休暇もしくは生理休暇等を請求する場合は、あらかじめ所属長の下承を得て、休暇承認申請簿(別記様式)により前日までに商工会議所へ届け出なければならない。ただし、やむを得ない理由で前日までに手続がとれない場合は、休暇等第1日目の始業時刻までに必ず連絡することとし、出勤後速やかに承認を受けなければならない。

2 職員が故意または怠慢により届け出を怠った場合は、特別休暇等を取り消し、欠勤扱いとすることがある。

(病気休暇)

第38条 商工会議所は、職員が次の各号により療養を要する場合は、それぞれの場合について次に掲げる期間の範囲内において、その療養に必要な期間、病気休暇を与えることができる。

(1) 業務上の負傷または疾病の場合2年以内でその療養に必要な期間

(2) 負傷し、または疾病にかかった場合(前号の場合を除く。)6か月(休日含む暦日数による)以内で、医師の証明等に基づき、最小限度必要と認める期間

2 病気休暇を受けようとする場合は、休暇承認申請簿(別記様式)に医師の証明書等を添付して、あらかじめ商工会議所の承認を受けなければならない。ただし、やむを得ない理由により、あらかじめ承認を受けることができないときは、休暇事由が生じた後、速やかに承認を受けなければならない。

(育児休業および育児時間)

第39条 育児のために休業することを希望する職員で、1歳に満たない子と同居し養育する者は、子が1歳に達するまでを限度に育児休業をすることができる。

2 育児休業を希望する職員は、原則として1か月前までに商工会議所に届け出なければならない。

3 育児休業の期間中の給与は支給しない。

4 育児休業に関するその他の事項は、別に定める「育児・介護休業規程」による。

5 生後1年未満の子を育てる女性職員は、あらかじめ申し出て、休憩時間のほかに1日2回各30分の育児時間を受けることができる。この場合、当該時間は無給とする。

(介護休業)

第40条 要介護状態にある家族を介護する職員は、申し出により93日間までの範囲で介護休業を取得することができる。

- 2 介護休業を希望する職員は、原則として2週間前までに商工会議所に届け出なければならない。
- 3 介護休業の期間中の給与は支給しない。
- 4 介護休業に関するその他の事項は、別に定める「育児・介護休業規程」による。

(出張の命令および具申)

第41条 商工会議所は、業務上必要が生じたときは、職員に用件、日程等を指示して出張を命じることができる。

2 職員は、業務に関して出張する必要があるときは、用件を明らかにして所属長を経て商工会議所に具申することができる。

(復命)

第42条 職員は、出張から帰所したときは、速やかに出張の経過および始末を所属長に報告しなければならない。

第4章 服務規律

(服務の原則)

第43条 職員は、商工会議所の使命を体し、法令、定款その他諸規定を遵守しかつ上司の指揮命令に従い、誠実勤勉を旨とし、その職務に精勤しなければならない。

(服務心得)

第44条 職員は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 会員に対する礼を失したり、不快の念を抱かせるような言動をしてはならない。
- (2) 常に品位を保ち、商工会議所の名誉を害し信用を傷つけるようなことはしない。
- (3) 能力向上と工夫改善に努め、業務を確実に、迅速に行う。
- (4) 職場を常に清潔に保ち、整理整頓に努める。
- (5) 業務上不都合なアクセサリ、髪型、服装で勤務しない。
- (6) 職務上の権限を超えて、専断的なことを行わない。
- (7) 商工会議所の業務上の秘密事項および商工会議所の不利益となる事項を他に漏らさない。
- (8) 職務に関し、不当な金品の借用または贈与などの利益を受けない。
- (9) 許可なく職務以外の目的で商工会議所の設備、機器、車両等を使用しない。
- (10) 商工会議所の機器、車両、備品等を大切に、消耗品等の節約に努める。
- (11) 勤務時間中はみだりに職場を離れ、または他の者の業務を妨げない。
- (12) 常に文書および物品を整理し、不在の時にも業務に支障のないようにしておかなければならない。
- (13) 酒気を帯びて勤務しない。また過労、病気及び薬物の影響その他の理由により正常な運転ができないおそれがある状態で車両等を運転しないこと。
- (14) 商工会議所の許可なく所内において、業務に関係のない集会、文書掲示、配布または放送等の行為をしない。
- (15) 商工会議所の業務の範囲に属する事項について、著作、講演等を行う場合はあらかじめ商工会議所の許可を受ける。
- (16) 私有車を業務で使用するときは、必ず事前に商工会議所の許可を得る。
- (17) インターネット上のホームページについて、業務以外の目的で閲覧してはならない。なお、その内容がわいせつな画像等、公序良俗に反するものについては、その程度に応じて懲戒処分とする。
- (18) 就業中であるか否かに関わらず、商工会議所所有の機器を使って私的な目的で電子メールの送受信をしてはならない。なお、商工会議所が必要と認めた場合、商工会議所は電子メールの内容を調査できるものとする。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、業務の正常な運営を妨げ、または所内の風紀秩序を乱す行為を行わない。

(ハラスメントの禁止)

第45条 職員は、相手の望まない性的言動により、他の職員に不利益や不快感を与えたり、就業環境を悪くすると判断されることを行ってはならない。

2 職員は他の職員に対し職務上の地位・権限を利用し不利益や不快感・苦痛を与える行為をしてはならない。

3 相談窓口は事務局長とし、相談または苦情の申し出を受けた場合は、人権に配慮したうえで、必要に応じて被害者、加害者、上司、同僚等に事実関係を聴取する。職員は、正当な理由なく拒否することはできない。

4 商工会議所は、問題を解決し、被害者の就業環境を改善するため、加害者に対して懲戒処分、人事異動等の必要な措置を講ずる。

(兼業の禁止)

第46条 職員は、営利を目的とする会社その他の団体の役員を兼ね、もしくは自ら営利を目的とする私企業を営み、または報酬を得ていかなる事業もしくは事務にも従事してはならない。ただし、商工会議所が認めたときはこの限りではない。

(出退勤の規律)

第47条 職員は、始業時刻と同時に業務を開始できるよう、始業時刻前に出勤し余裕をもって準備をする。

2 出勤および退勤の記録は、商工会議所の指示した方法により自ら行う。

(遅刻、早退、外出および欠勤の手続き)

第48条 職員が遅刻、早退、外出または欠勤するときは、事前にその理由および予定時間等を所定の届出用紙により届け出なければならない。ただし、やむを得ない事由で、事前に届け出ることができないときは、事後速やかに届け出ることとする。

2 傷病のため欠勤が引き続き5日以上に及ぶ場合は、医師の診断書を提出しなければならない。

(就業の禁止)

第49条 次の各号に該当する職員に対しては、出勤を禁止し、または退出を命ずることがある。

(1) 酒気を帯びる等、職場の風紀を乱す者

(2) 法令上就業を禁止されている者等、就業させることが衛生上不相当と認められる者

(3) 凶器その他職務に必要でない危険物を携帯する者

(4) その他各号に準ずる程度の事由により、出勤を禁止し、または退出させることが適当であると認められる者

(個人情報管理義務)

第50条 個人情報管理については、別に定める「個人情報管理規程」による。

(番号法に基づく提出義務および手続き等)

第50条の2 職員は、本人および扶養する家族などについて、商工会議所から番号法に基づく報告を求められた場合には、これに応じなければならない。

2 商工会議所は職員から個人番号の報告を受ける場合には、使用目的を明示するものとし、番号法等の範囲で再利用をできるものとする。

3 商工会議所は職員から報告された個人番号について、管理を厳密に行い、法令等で認められた場合を除き、目的以外に使用しないものとする。

4 番号法など改正により個人番号の使用目的などが拡大または変更された場合には、商工会議所は使用目的を明示し、職員はその内容に従い商工会議所の指示に従うものとする。

5 採用予定者の個人番号の取得にあたっては、商工会議所は書面により利用目的を明示す

るものとする。

第5章 休職

(休職の条件)

第51条 職員が次の各号の一に該当したときは、休職とする。ただし、第4号による勾留の場合、事件の内容により、休職の適用は商工会議所が決定する。

(1) 業務（通勤途上の災害による傷病を含む）外の傷病による欠勤が1か月以上に及んだとき、または断続的な欠勤の日数が2か月間で40日以上に達し、以後もその状態が継続する可能性があるとき

(2) 自己の都合による欠勤が1か月以上に及んだとき

(3) 商工会議所の命により出向または研修に従事するとき

(4) 刑事事件で起訴または勾留されたとき

(5) 公職に就いたため、業務に支障が生じたとき

(6) 前各号のほか商工会議所が特に必要と認めたとき

(休職期間)

第52条 前条の休職期間は、次のとおりとする。なお、同一傷病について復職後1か月を経過しないうちに同一の理由で再び欠勤する場合は、前後の日数を通算する。

(1) 業務外の傷病による休職の場合

勤続年数満5年未満の者……………6か月

勤続年数満5年以上の者……………1年

(2) 自己都合による休職の場合……………2か月

(3) 商工会議所の命により所外勤務に従事した場合…必要期間

(4) 刑事事件で起訴または勾留された場合…起訴または勾留の翌日から第1審の判決の日まで

(5) 公職についた場合……………必要な期間とし、休職者の願い出により復職を命ずることができる

(6) その他の場合……………原則として最長期間1年とし、その都度定める

(休職者の身分)

第53条 休職者は、職員としての身分を保有するが、職務に従事しない。

(休職期間中の給与および勤続年数)

第54条 休職期間中は無給とする。

2 第52条第3号の場合は所外勤務にかかわる協定書等に定める。

3 休職期間は原則として勤続年数に算入しない。ただし、第52条第3号その他商工会議所が特に必要と認めたときは勤続年数に算入する。

(休職者の義務)

第55条 休職期間中の者は、毎月1回、近況もしくは病状を文書で商工会議所へ必ず報告しなければならない。

(復職)

第56条 休職を命ぜられた者が期間満了までに休職事由が消滅したときは、いつでも復職できる。

2 傷病のために休職中であった者は、就業しても支障のない旨の医師の診断書を提出し、商工会議所がこれを認めた場合に限る。

3 商工会議所が必要と認めた場合、商工会議所の指定する医師の診断を求めることがある。

(復職時の労働条件)

第57条 前条により復職した者の労働条件、職務内容は、休職直前のものを基準とする。ただし、本人の身体状態その他の状況により職場、職種および労働条件を変更することがある。

(休職期間満了)

第58条 職員が第52条の休職期間を満了しても休職事由が消滅しない場合、または満了日までに復職できない場合は、休職期間満了をもって退職とする。ただし、商工会議所が必要と認めた場合は休職期間を延長することがある。

第6章 退職および解雇

(退職の基準)

第59条 職員が次の各号の一に該当するときは、退職とする。

- (1) 役員に就任したとき
- (2) 定年に達したとき
- (3) 死亡したとき
- (4) 本人の都合により退職するとき
- (5) 休職期間が満了し、復職ができなかったとき
- (6) 他社に転籍したとき
- (7) 本人と連絡不能の状態(行方不明)になって30日を経過したとき

(退職の手続き)

第60条 職員が退職しようとするときは、30日前に退職願を所属長を経て商工会議所に提出しなければならない。

(定年)

第61条 職員の定年は、満60歳に達した日以後の最初の3月31日とする。

2 商工会議所は、定年に達した者のうち、本人が希望する場合は、「定年退職者継続雇用制度規程」の定めるところにより、満65歳まで再雇用する。(退職の日は満65歳に達した日以後の最初の3月31日)

3 商工会議所は、60歳を過ぎて採用した者については、「定年退職者継続雇用制度規程」の定めるところにより、満65歳まで雇用する。(退職の日は満65歳に達した日以後の最初の3月31日)

(解雇の基準)

第62条 職員が次の各号の一に該当するときは解雇する。この場合は30日前に予告するか、または予告せずに30日分の平均給与を支払う。ただし、第15条により試用期間中の者で、入所後14日を経過しない者はこの限りでない。

- (1) 精神または身体の障害により、勤務に耐えられないと認めるとき。
- (2) 業務遂行能力が著しく不良で、配置転換不能のとき
- (3) 組織不適応、非能率、労働意欲の欠如等、商工会議所業務の円滑な遂行に支障をきたし、将来とも職員としての責務を果たし得ないと認めるとき。
- (4) 天災事変その他やむを得ない理由のため、事業の継続が不可能となったとき。
- (5) 試用期間中に、職員として適格性に欠けると判断したとき。
- (6) 事業の縮小、職務の改廃その他事業の必要上、人員削減が必要になり、他に適当な配属先がないとき。
- (7) 勤務怠慢または勤務成績不良で、他に配置転換しても就業に適さないと認められるとき。
- (8) 採用時における誓約に反する行為のあったとき。
- (9) 刑事上の罪に該当する行為など客観的に見て合理的な理由があり、社会通念上、解雇が相当と認められる事由があったとき。

(10) 業務上の傷病により、療養の開始後3年を経過した日において傷病補償年金を受けているとき、または同日後に傷病補償年金を受けることになったとき。

(11) その他前各号に準ずる事由があり解雇が相当と認められる事由があったとき。

(解雇の制限)

第63条 前条にかかわらず、次の各号の一に該当する期間およびその後30日間は解雇しない。ただし、第1号について、労働基準法第81条の規定により打ち切り補償をした場合、また第1号または第2号について、天災事変その他やむを得ない事由のため事業の継続が不可能となった場合で、所轄労働基準監督署の認定を受けた場合は、この限りでない。

(1) 業務上負傷し、または疾病にかかり療養する期間

(2) 産前産後の職員が、労働基準法第65条(産前産後)により休業する期間

(退職時の引き継ぎおよび返還)

第64条 職員が退職し、または解雇されたときは、その期日までに健康保険被保険者証および商工会議所から貸与された物品を返還し、商工会議所に債務がある場合にはこれを完済するとともに、担当の業務を後任者に引き継がなければならない。

(退職後の義務)

第65条 退職または解雇された者は、その在職中に行った自己の職務に関する責任を免れない。

2 退職または解雇された者は、在職中に知り得た機密を他に漏洩してはならない。

第7章 給与

(給与)

第66条 職員の給与の決定、計算および支払いの方法、給与の締切りおよび支払いならびに給与の改定に関する事項は、別に定める「給与規程」によるものとする。

第8章 退職金

(退職金)

第67条 職員の退職金に関する事項は、別に定める「給与規程」により支給する。

第9章 災害補償

(災害補償)

第68条 職員が業務上負傷、疾病または死亡した場合に労働基準法の規定により災害補償を行う。ただし、補償を受けるべき職員が同一の事由により労働者災害補償保険法によって給付を受けるときは、その給付の額に相当するものは支給しない。

(通勤災害給付)

第69条 職員が通勤途上(労災保険法第7条による)において負傷または死亡した場合は、労働者災害補償保険法による保険給付の手続きを行う。

第10章 安全および衛生

(商工会議所の措置義務)

第70条 商工会議所は、安全衛生上必要な措置を講じ、職員の危険防止と健康の保持増進に努める。

(職員の遵守義務)

第71条 職員は、安全衛生に関する法令および本章の規定を遵守し、協力して災害防止および保健衛生の向上に努めなければならない。

(災害発生の処置)

第72条 職員は火災その他災害を発見し、またはその危険があることを知ったとき、直ちに臨機の処置をとり被害を最小限にとどめるとともに、速やかに所属長に連絡をとらなければならない。

2 職員は、休日その他勤務時間以外に前項に規定する事態が生じたときは、直ちに出勤して上司の指揮命令に従わなければならない。

(消火設備の管理)

第73条 職員は常に消火設備の場所および使用方法を確認し、商工会議所は消火器等の点検を行い、非常の際、使用可能な状態にしておかななければならない。

(災害防止)

第74条 職員は、災害を未然に防止するため、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 常に職場内外の整理整頓に努め、特に通路、非常口および防火設備のある場所に物品を置かない。

(2) 消火器その他危険防止のための諸施設は、所属長の許可を受けずに除去または変更をしない。

(3) 定められた場所以外で、暖房器具その他の火気の使用や、喫煙をしない。

(健康診断等)

第75条 商工会議所は、採用の際および毎年1回定期、その他必要に応じ健康診断を行う。

2 職員は、正当な理由なくこれを拒むことはできない。

3 健康診断の結果、特に必要があると認められる場合は、就業を一定期間禁止し、または配置換えすることがある。

4 所定外労働時間が80時間を超え、疲労の蓄積が認められる者が申し出た場合は、医師による面接を行うものとする。

第11章 教育および福利厚生

(教育訓練)

第76条 商工会議所は、職員に対し、業務に必要な知識、資質の向上を図るため、職員教育を行う。

(福利厚生)

第77条 商工会議所は、職員の福利厚生のため、経営状況に応じ、極力その充実に努める。

(慶弔見舞金)

第78条 職員の慶弔、罹災の際に支給する慶弔見舞金に関する規定は別に定める。

第12章 賞罰

(表彰)

第79条 職員が次の各号のいずれかに該当するときは、選考のうえ表彰することができる。

(1) 人物、勤務状態または技能が優秀で、職員の模範となる善行があったとき。

(2) 永年(10年)勤務し、かつ、職員で勤務成績が特に優れているとき。

(3) 商工会議所の事業の発展のため、有益な発明、発見、工夫または考察等の提案を行ったとき。

(4) 災害または事故を未然に防ぎ、または非常の際において特に功労のあったとき。

(5) 社会的功績により、商工会議所の名誉となるような行為があったとき。

(6) その他前各号に準ずる行為があり、表彰に値すると認められるとき。

2 職員の表彰は、表彰状のほか、賞品または賞金を授与して行う。

(懲戒の目的、原則)

第80条 商工会議所は、所内の秩序を維持することを目的として職員に懲戒を行う。なお、懲戒に当たっては、その事実を商工会議所で十分に調査して行う。

2 会議所は、服務規律に従わず、是正が必要な職員に対して注意を行い、適切な指導及び口頭注意を行うものとする。注意は、当該社員に非違行為の内容を口頭で指摘し、必要な助言を行い、改善策を求めることにより行う。

3 前項にかかわらず、なお改善が行われず会議所の秩序を維持するために必要があると認めるときは、本章に定める懲戒処分を行うことがある。

(懲戒の種類)

第81条 懲戒は、次の6種とする。

(1) けん責……本人より始末書を提出させ、再び同じことをしないことを誓約させる。

(2) 減給……本人より始末書を提出させ、減給する。ただし、1回について、平均賃金の1日分の半額、また総額が一給与計算期間における給与総額の10分の1以内で行う。

(3) 出勤停止……本人より始末書を提出させ、10日以内の出勤を停止し、その期間の給与は支給しない。

(4) 降格……本人より始末書を提出させ、職位を引き下げるか、または、解任する。

(5) 諭旨退職……本人に訓戒を与え、自己退職の形式によって解雇する。

(6) 懲戒解雇……予告期間を設けなくて、即日解雇する。労働基準監督署長の認定を受けた場合、解雇予告手当は支給しない。

(けん責)

第82条 職員が次の各号の一に該当するときは、けん責処分とする。

(1) 正当な理由なく、商工会議所の諸規則に違反したとき

(2) 正当な理由なく上司に反抗したり、その命令を守らなかったとき

(3) 勤務時間中みだりに職場を離れ、業務怠慢の行為があったとき

(4) 正当な理由なく、しばしば遅刻、早退したとき

(5) 正当な理由なく、無断欠勤したとき

(6) 商工会議所の設備、機器、車両、その他の物品を粗末に扱い、不具合を生じさせたとき

(7) 商工会議所の備品、事務用品その他消耗品等を粗略に扱い、または不注意のため破損、紛失したとき

(8) 許可なく職務以外の目的で、商工会議所の設備、車両、機器等を使用したり、インターネット等を私的に利用したとき

(9) 他の職員の業務の遂行を正当な理由なく妨げたとき

(10) 正当な理由なく、申請書、届出書、報告書等の提出期限を守らなかったとき

(11) 不注意により業務に支障を来たしたとき

(12) 酒気を帯びて勤務したとき

(13) 商工会議所に無断で、取引先から金銭その他の贈与、饗応を受けたとき

(14) 立入禁止の場所に許可なく立ち入ったとき

(15) 火気を粗略に取扱い、所内の所定の場所以外で喫煙したとき

(16) その他、前各号に準ずる程度の行為があったとき

(減給、出勤停止および降格)

第83条 職員が次の各号の一に該当するときは、減給、停職または降格処分とする。

(1) けん責処分を受けたにもかかわらず、それを繰り返したとき、または前条の情状が重いとき

(2) 申請書、届出書、報告書等の届出を怠り、または偽ったとき

- (3) 正当な理由なく、無断欠勤が3日以上に及んだとき
- (4) 給与計算の基礎となる事項に関し、不正な行為があったとき
- (5) 故意または重大な過失によって、設備、備品等を破損させたとき
- (6) 商工会議所において、営利を目的とする物品の販売を行ったとき
- (7) 建物、施設、備品、商品、金銭などの管理を怠ったとき
- (8) 職務上、越権または専断的な行為があったとき
- (9) ハラスメントを行ったとき
- (10) 商工会議所の許可なく商工会議所施設内で政治、宗教活動を行ったとき
- (11) 商工会議所の許可なく商工会議所施設内で、集会および演説または印刷物等の配布や掲示をしたとき
- (12) 故意または重大な過失によって、商工会議所に損失を与えたとき
- (13) 部下に対する監督不行届により、商工会議所に重大な損害を与えたとき
- (14) 役付者としての職務を怠ったため職場の秩序を乱したとき
- (15) 役付者としての能力が著しく低下したとき
- (16) その他、前各号に準ずる程度の行為があったとき

(諭旨退職または懲戒解雇)

第84条 職員が次の各号の一に該当するときは、懲戒解雇処分とする。ただし、商工会議所の勧告に従って退職願を提出したときは、諭旨退職とする。なお、懲戒解雇の場合、退職金を支給しない。

- (1) 前条の行為が再度におよんだとき、または情状が重いとき
- (2) 正当な理由なく無断欠勤が10日以上にわたり、出勤の督促に応じないとき
- (3) 商工会議所の現金、商品、資材および重要書類を持ち出し、または横領したとき
- (4) 職務を利用し、不正または不当に金銭、物品その他の贈与を受けたり、要求したとき
- (5) 職務上知り得た業務上の重要機密を外部に漏らし、または漏らそうとしたとき
- (6) 雇入れの際の経歴を偽り入所したとき
- (7) 刑事上の罪に該当する行為により、商工会議所の名誉、信用を失墜させたとき
- (8) 商工会議所の許可なく他の事業所に雇用され、または類似する自営を行ったとき
- (9) 所内で暴行、脅迫、傷害、賭博またはこれらに類似する行為を行ったとき
- (10) 会員および他の職員に対して、暴行、脅迫、監禁、その他所内の秩序を乱す行為をしたとき
- (11) ハラスメントの行為が悪質であったとき
- (12) 不当に商工会議所を中傷する言動を行ったとき
- (13) 正当な理由なく、異動、転勤、降格等の業務命令を拒否したとき
- (14) 他人に対し不法に退職を強要したとき
- (15) その他、前各号に準ずる程度の行為があったとき

(飲酒運転に関する懲戒)

第85条 職員が次の各号の一に該当するときは、懲戒解雇とする。ただし、情状（行為の動機、態様および結果、故意または過失の程度、当該職員の職務、他の職員および社会に与える影響、過去の非違行為の有無、日頃の勤務態度および事件後の対応等）により、減給、出勤停止または降格とすることがある。

- (1) 酒酔い運転または酒気帯び運転で人を死亡させ、または損害を負わせた場合
- (2) 酒酔い運転または酒気帯び運転をし、物の損壊に係る交通事故を起こした場合
- (3) 酒酔い運転または酒気帯び運転を繰り返した場合
- (4) 酒酔い運転または酒気帯び運転をし、検挙された場合

2 職員が、酒酔い運転または酒気帯び運転と知りながら同乗した場合、または酒酔い運転または酒気帯び運転になることを知りながら飲酒を勧めた場合は、減給または出勤停止とする。

(処分決定前の取り扱い)

第86条 商工会議所は、懲戒に該当する行為のあった者に対し、懲戒処分決定まで就業させないことがある。

(管理監督責任)

第87条 職員が懲戒を受けた場合、状況により当該上司に対しても管理監督責任としての処分を行う。ただし、当該上司がその防止に必要な措置を講じ、または講ずることができなかつたことにやむを得ない事情があるときは、この限りではない。

(損害賠償)

第88条 職員が故意または過失によって商工会議所に損害を与えた場合は、損害の一部または全部を賠償させることがある。

2 前項による損害賠償は、退職後および退職後に発覚した場合もその責を免れない。

3 職員は、損害賠償を行ったことによって懲戒を免れることはできない。また、懲戒処分を受けたことによって損害賠償の責めを免れることはできない。

第13章 雑則

(委任)

第89条 この規則の施行に関し必要な事項は、商工会議所が別に定める。

付 則 この規則は、令和6年4月1日から施行する。

B 規程

1. 産業会館建設積立金規程の一部を改正

(改正理由) 磐田商工会館の名称変更に関する改正を行う。

旧条文	新条文
産業会館建設積立金規程 第1条 この規程は、新しい商工会議所会館建設経費に充てることを目的としての産業会館建設特別会計積立金をいう。	磐田商工会議所 会館積立金規程 第1条 この規程は、新しい商工会議所会館建設経費に充てることを目的としての 磐田商工会議所 会館建設特別会計積立金をいう。 附則 この規程は、令和6年4月1日から適用する。

2. 磐田商工会議所事務規程の一部を改正

(改正理由) 就業規則の制定に伴い、事務規程の中で定められている就業規則に記載する事項の一部を改正する。

旧条文	新条文
<p style="text-align: center;">第6章 服 務</p> <p>第29条 職員の執務時間及び休憩時間は、次のとおりとする。但し、必要がある場合は、所定の時間外でも執務させることができる。</p> <p>(1) 執務時間 平日午前8時30分から午後5時15分まで</p> <p>(2) 休憩時間 正午から午後1時まで</p> <p>第30条 休日は次のとおりとする。但し、必要あるときは休日でも出勤させることがある。</p> <p>(1) 日曜日</p> <p>(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日</p> <p>(3) 12月29日より翌年1月3日まで</p> <p>(4) 土曜日</p> <p>その他必要と認めるときは、臨時に休日を設ける。</p> <p>2. 業務の都合により会頭が必要と認める場合は、あらかじめ前項の休日を同一週の他の日と振る替えることがある。</p> <p>第31条 職員は前年の所定労働日の8割以上出勤したときは、勤務年数に応じて労働基準法に基づき有給休暇を受けることができる。但し、20日を限度とする。</p> <p>2. 新たに職員となった者の有給休暇は、10日を限度とする。</p> <p>3. 有給休暇の単位は、1日又は半日とする。ただし、職員の請求により、1時間を単位とすることができる。1時間を単位として与えられる有給休暇を日に換算する場合は、7時間45分をもって1日とする。</p> <p>4. 年次有給休暇は、2年間有効とする。</p> <p>5. 第1項2項により年次有給休暇が10日以上与えられた職員に対しては、付与日から1年以内に、当該職員の有する年次有給休暇の内5日について、職員の意見を聴取し、その意見を尊重したうえで、あらかじめ時季を指定して取得させる。</p> <p>第32条 職員は前条のほか、次の各号に掲げる場合にはそれぞれの場合について定める期間休暇を受けることができる。(特別休暇)</p> <p>(1) 祝賀休暇</p> <p>① 本人の結婚 7日以内</p> <p>② 子供の結婚 3日以内</p> <p>③ 妻の出産 3日以内</p> <p>④ 本人の出産</p>	<p style="text-align: center;">第6章 服 務</p> <p>削除</p> <p>削除</p> <p>削除</p> <p>削除</p>

産前6週間（多胎妊娠の場合にあつては14週間）産後8週間

(2) 忌服休暇

①配偶者——7日以内

②父母5日以内

③配偶者の父母——3日以内

④子

⑤祖父母—兄弟姉妹—孫

⑥全各号に該当しない

3親等以内の親族、姻族——5日以内(同居)
3日以内

(非同居)——1日

—なお、慶弔休暇内に休日があるときは、その休日は休暇日数に含むものとする。

(3) 夏期休暇——3日

(4) 災害休暇

①現住する家屋が焼失、倒壊、浸水その他の事故により災害を受けたときは、会頭（会議所）が認定する期間。

②感染症の予防法等による就業制限、入院、交通制限等のため就業できなかったときは、その期間。但し、本人が罹患した場合は特別休暇扱いとしない。

(5) 病気等休暇

—①業務による負傷または疾病の場合、2年以内で療養に必要な期間。

—②その他の負傷または疾病の場合、6ヶ月（休日を含む暦日数による）以内で必要な療養期間。

(6) 裁判員制度休暇

裁判員の参加する刑事裁判に関する法律に基づき裁判員に選任され、また、裁判員候補者に選定された時は、裁判員裁判に参加するための必要な日数。

(7) その他会頭が必要と認めたとき。

—（緊急事態宣言等に関する対策を含む）—

2. 職員のうち必要のある者は別に定める「育児休業等に関」に基づき、育児休業または部分休業の適用を受けることができる。

3. 職員のうち必要のある者は別に定める「介護休業等に関」に基づき、介護休業または介護短時間勤務の適用を受けることができる。

4. 第1項(5)病気等休暇②の休暇中（欠勤）の給与については、その欠勤の日から起算して6ヶ月に限り基本給及び家族手当を支給し、その後は支給しない。但し、会頭が特に承認を与えた場合はこの限りではない。

第33条 職員は、前2条に定める休暇、休業等を受けようとするときは、予め関係課長並びに事務局長の承認を得なければならない。

削除

<p>第34条 職員は毎日所定の時刻に出勤し、出勤簿に捺印しなければならない。</p> <p>第35条 欠勤、早退又は遅刻の場合は、事前にその事由を届出なければならない。</p> <p>2. 傷病のため欠勤が7日以上に亘るときは、医師の診断書を添付しなければならない。</p> <p>第36条 (略)</p> <p>第37条 (略)</p>	<p>削除</p> <p>削除</p> <p>第29条 (略)</p> <p>第30条 (略)</p>
<p>第7章 人 事</p>	
<p>第38条 職員の採用は、書類、面接、筆記試験により決定する。</p> <p>2. 職員として採用を希望する者は、次の書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 履歴書 (白筆)</p> <p>(2) 学業成績証明書及び卒業証明書</p>	<p>削除</p>
<p>第39条 新たに採用された職員は、2週間以内に次の書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 身元保証書</p> <p>(2) 誓約書</p>	<p>削除</p>
<p>第40条 会頭は、職員が次の各号の一に該当する場合には、一定の期間を定めて休職を命ずることができる。</p> <p>(1) 業務外の傷病 (通勤災害によるものを除く) による欠勤が引続き6ヵ月を超えたとき。</p> <p>(2) 私事故障のため引続き1ヵ月以上執務しないとき。</p> <p>(3) 事務の都合により必要あるとき。</p> <p>2. 第1項各号の休職期間は次のとおりとする。</p> <p>(1) の場合 勤続5年未満の者6ヶ月間 (応当日まで)</p> <p>————— 勤続5年以上の者1年間 (応当日まで)</p> <p>(2) の場合 2ヵ月間 (応当日まで)</p> <p>(3) の場合 会議所が認めた期間</p>	<p>削除</p>
<p>第44条 退職者には別に定める給与規程により退職給与を支給する。</p>	<p>削除</p>
	<p>附 則この規程は、令和6年4月1日から適用する。</p>

3. 磐田商工会議所会館使用料規程の一部を改正
 (改正理由) 磐田商工会議所会館建設に伴う使用料の改正を行う。

旧条文 磐田商工会館使用料

		貸会議室料金		3階 大会議室		2階 201会議室		2階 206会議室	
		定員/面積		96名/70坪		30名/20坪		12名/8坪	
		使用区分		会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員
貸 議 室 料 金	平 日	① 9:00~12:00	午前	7,400	9,300	4,230	5,300	1,980	2,500
		② 13:00~17:00	午後	9,510	11,900	5,280	6,600	2,640	3,300
		③ 17:30~21:00	夜間	11,090	13,900	6,340	8,000	3,300	4,200
	土 日 祝 日	④ 9:00~17:00	昼間	15,320	19,200	9,510	11,900	4,620	5,800
		⑤ 13:00~21:00	午後・夜間	16,900	21,200	10,560	13,200	5,940	7,500
		⑥ 9:00~21:00	1日	19,540	24,500	13,730	17,200	7,260	9,100
貸 議 室 料 金	平 日	① 9:00~12:00	午前	8,630	10,800	4,930	6,200	2,310	2,900
		② 13:00~17:00	午後	11,090	13,900	6,160	7,700	3,080	3,900
		③ 17:30~21:00	夜間	12,940	16,200	7,400	9,300	3,850	4,900
	土 日 祝 日	④ 9:00~17:00	昼間	17,870	22,400	11,090	13,900	5,390	6,800
		⑤ 13:00~21:00	午後・夜間	19,720	24,700	12,320	15,400	6,930	8,700
		⑥ 9:00~21:00	1日	22,800	28,500	16,020	20,100	8,470	10,600

※マイク一式 1,200円 (非会員1,500円) プロジェクター2,200円 (非会員2,800円)

新条文 磐田商工会議所会館使用料

区 分	会議室 使用時間帯	(税込)								
		フロア	2F			1F			屋外	
		会議室名	大会議室	中会議室	小会議室	特別会議室	交流 スペース	ミーティ ング ルーム	イベン ト 広場	
		面積	192㎡	90㎡	54㎡	36㎡	135㎡			
収容人数	105名	45名	30名	12名	—					
会 員	平 日	① 9:00~12:00	午前	8,250	4,950	3,300	/	/	1時間 500円	/
		② 13:00~17:00	午後	11,000	6,600	4,400				
		③ 18:00~21:00	夜間	8,250	4,950	3,300				
	土 日 祝 日	① 9:00~12:00	午前	8,250	4,950	3,300	2,100	7,200	/	キッチンカー 又はテント1 台1,000円
		② 13:00~17:00	午後	11,000	6,600	4,400	2,800	9,600		
		③ 18:00~21:00	夜間	8,250	4,950	3,300	2,100	7,200		
非 会 員	平 日	① 9:00~12:00	午前	16,500	9,900	6,600	/	/	1時間 1,000円 ※学生は 500円	/
		② 13:00~17:00	午後	22,000	13,200	8,800				
		③ 18:00~21:00	夜間	16,500	9,900	6,600				
	土 日 祝 日	① 9:00~12:00	午前	16,500	9,900	6,600	/	14,400	/	キッチンカー 又はテント1 台2,000円
		② 13:00~17:00	午後	22,000	13,200	8,800		19,200		
		③ 18:00~21:00	夜間	16,500	9,900	6,600		14,400		

※午前～午後、午後～夜間、午前～夜間と時間区分を連続して利用する場合の使用料は、上記表に定める使用料の合計額とする。

附 則 この規程は、令和6年5月1日から適用する。

C 要綱

1. (仮称) 磐田産業振興会館建設推進委員会設置及び運営に関する要綱の一部を改正

(改正理由) 磐田商工会館の名称変更に関する改正を行う。

旧条文	新条文
<p>(仮称) 磐田産業振興会館建設推進委員会 (以下「委員会」という。) 設置及び運営に関する要綱 第1条 目的 この委員会は(仮称) 磐田産業振興会館 (以下「会館」という。) 建設に関する調査研究及び情報交換を行い、円滑な建設運営を図ることを目的とする。</p>	<p>磐田商工会議所会館建設推進委員会 (以下「委員会」という。) 設置及び運営に関する要綱 第1条 目的 この委員会は磐田商工会議所会館 (以下「会館」という。) 建設に関する調査研究及び情報交換を行い、円滑な建設運営を図ることを目的とする。</p> <p>附則 この規程は、令和6年4月1日から適用する。</p>

2. 組織

(1) 会員

A 会員数

区分	前年度末会員数	新規加入者数	脱退者数	年度末現在会員数
個人	625	79	73	631
法人	773	41	20	794
団体	31	3	0	34
計	1,429	123	93	1,459

B 部会

部会	所属業種	部会員数
製造・金属・物流部会	輸送用機械器具製造業、プラスチック製品製造業、金属製品製造・部品加工業、電子部品製造業、金型製造業、鍍金業、その他機械器具製造業、溶接業、化学工業、貨物輸送業、倉庫業 ほか	217
生活文化部会	電気製品・家具・貴金属・履物・文具・化粧品・新聞・運動具・書籍・日用雑貨品・種苗の販売、自動車・オートバイ等整備販売、薬局、印刷業等、大型SC、ガソリンスタンド、関連卸業、関連組合 ほか	205
建設部会	建設業、土木業、建築業、ガス供給業、設備工事業、電力供給業、電気工事業、管工事業、建材業、材木販売、造園業、板金業、左官、建具、関連組合ほか	270
観光・生活部会	ホテル・旅館業、旅行斡旋、ゴルフ場、旅客運送業、レンタカー、自動車学校、飲食業、理容・美容業、クリーニング業、衛生清掃、産廃処理業、葬祭業、介護関連業、関連組合・団体 ほか	297
食品部会	酒造、食料品製造業、香辛料製造業、製氷業、製茶業、食品系化学工業、菓子製造・販売、米穀類販売、青果販売、精肉販売、酒類販売、鮮魚販売、食品卸売業、その他食品販売、関連組合 ほか	142
金融部会	銀行、信用金庫、証券、生保、損保ほか	46
ファッション繊維部会	繊維工業、縫製業、紳士服・婦人服・子供服・呉服・寝具・他衣料品販売、関連学校 ほか	33
情報サービス部会	IT関連業、税理士、会計士、社労士、建築士、設計士、測量士、司法書士、行政書士、コンサルタント、イベント等企画、不動産業、私塾、不動産賃貸業、医療関係 ほか	249
合計		1,459

C 委員会等

委員会名	委員数	主な事業内容
磐田国際ビジネス交流委員会	11	国際経営環境及び交流等の調査研究
磐田コミュニティサークル委員会	6	地域交流促進・連携強化・まちづくり関連の研究調査

委員会名	委員数	主な事業内容
経営改善資金審査会	7	小規模事業者経営改善資金融資審査
磐田商工会議所会館建設推進委員会	11	新会館の建設について協議
青年部会(むすびの会)	11	経営者としての資質向上を達成するために必要な事業
次世代産業プロジェクト	8	磐田地域の優れた技術ノウハウ等を応用して「次世代産業」への進出を支援
長期ビジョン検討会	10	創立100周年に向けた長期ビジョンの検討

(2)特別会員(地区外)

377事業所

(3)特定商工業者

区分	特定商工業者数	内)負担金納入件数
会 員	596	596
非 会 員	327	166
計	923	762

(4)役員

A 年度末現在の各役員の定数及び実数

区分	定数	実数
会 頭	1	1
副 会 頭	4	4
専 務 理 事	1	1
常 議 員	25	24
監 事	3	3

B 年度末現在の各役員の名、企業の名称・役職名等

役職名	企業名	代表者役職名	氏名	業種
会 頭	(株) 遠 州 日 石 セルフ見付 S S	代表取締役社長	鈴木 裕 司	石 油 類 販 売 業
副 会 頭	ヤマハ発動機(株)	執行役員 人事総務本部長	橋 本 満	輸 送 用 機 器 製 造
〃	磐田化学工業(株)	代表取締役会長	高橋あや子	有機酸・発酵品等製造
〃	遠州中央農業協同組合	経営管理委員会 会長	大 橋 照 弘	協 同 組 合
〃	(株) 松 下 工 業	代表取締役社長	松 下 隆 彦	鑄 造
専務理事	磐田商工会議所		平 谷 均	
常 議 員	石 川 建 設 (株)	代表取締役会長	石 川 修	総 合 建 設
〃	(株) い わ き ゆ う	取 締 役	鷹 野 晶 一	給 食
〃	磐田市商店会連盟	会 長	山 下 貢 史	商 業 団 体
〃	(株) 永 勝	マネージャー	永 野 容 子	ビ ジ ネ ス ホ テ ル
〃	N T N (株) 磐田製作所	常務理事自動車事業 本部 副本部長 磐田製作所長	賀 茂 邦 男	ベ ア リ ン グ 製 造
〃	遠州中央農業協同組合	代表理事理事長	山 田 耕 司	協 同 組 合
〃	キンパラ(株)	代表取締役相談役	金 原 一 平	制 服 類 製 造 販 売
〃	サーラエナジー(株) 浜松支社磐田営業所	浜松支社長兼 磐田営業所長	岡 本 三 男	ガ ス 供 給
〃	(株) サ ン セ ブ ン	代表取締役社長	青 島 公 悦	フ ァ ッ シ ョ ン 関 連 ビ ル
〃	(株) 三 和 製 作 所	代表取締役社長	森 岡 弘 記	金 属 加 工
〃	(株) 静岡銀行磐田支店	支 店 長	山 越 弘 晃	銀 行
〃	芝 原 工 業 (株)	代表取締役会長	芝 原 利 一	制 御 配 電 盤 製 造
〃	(株) 大 進 堂	代表取締役社長	鈴 木 隆 之	印 刷
〃	大日精化工業(株) 東海製造事業所	事 業 所 長	井 上 繁	顔 料 製 造
〃	高砂香料工業(株)磐田工場	工 場 長	吉 田 昭 文	香 料 製 造
〃	(株) タ ニ コ ー	代 表 取 締 役	水 谷 眞 啓	輸 送 用 部 品 製 造
〃	中部電力パワーグリッド(株) 磐 田 営 業 所	営 業 所 長	木 下 光 晴	電 力 供 給
〃	電 器 堂 (株)	代表取締役(CEO)	山 崎 誠 司	家 電 販 売
〃	東海環境整備(株)	代 表 取 締 役	安 部 寛	廃 棄 物 処 理
〃	東 海 精 機 (株)	取 締 役 社 長	大 西 謙 一	輸 送 用 部 品 製 造
〃	浜松磐田信用金庫 磐 田 本 店 営 業 部	部 長	塚 中 丈 久	信 用 金 庫
〃	(株) 堀 内 土 木	代表取締役会長	堀 内 豊	土 木

役職名	企業名	代表者役職名	氏名	業種
常議員	(有)丸栄産業	代表取締役	桑原孝祉	衛生リース
〃	(株)ヤザキ	代表取締役	矢崎尚行	プラスチック部品製造
監事	長尾仁税理士事務所	所長	長尾仁	税理士事務所
〃	(株)コーシンサービス	代表取締役会長	青島安宏	産廃処理
〃	(株)鈴恭組	代表取締役	鈴木和男	土木

(5)議員

A 年度末現在の各号議員の定員及び実数

区分	定数	実数	備考
1号議員	38	38	
2号議員	26	26	
3号議員	11	10	
計	75	74	

B 年度末現在の各議員の企業名、職務執行者の氏名等

【1号議員名簿】

企業名	役職	氏名	部会	業種
石川建設(株)	代表取締役会長	石川修	建設	総合建設
(株)市川板金工業所	営業課長	中山貴善	製造・金属・物流	試作板金製造
(株)いわきゆう	取締役	鷹野晶一	観光・生活	給食
(株)磐田グランドホテル	代表取締役社長	角一幸	観光・生活	料理・ホテル
磐田市商店会連盟	会長	山下貢史	生活文化	商業団体
磐田ポッカ食品(株)	代表取締役社長	安田裕一	食品	卸売業
エージェェス(株)	代表取締役	柳澤伸光	製造・金属・物流	貨物輸送
遠州中央農業協同組合	代表理事理事長	山田耕司	食品	協同組合
(株)遠鉄自動車学校	代表取締役	鈴木雅之	観光・生活	自動車運転教習
(株)オキソ	代表取締役	大石容紫子	製造・金属・物流	精密ショット ピーニング
(株)玉華堂	代表取締役	鈴木良宜	食品	和洋菓子製造販売
キンパラ(株)	代表取締役相談役	金原一平	ファッション繊維	制服類製造販売
小林建設(株)	取締役副社長	鈴木裕益	建設	総合建設
サーラエナジー(株) 浜松支社磐田営業所	浜松支社兼 磐田営業所長	岡本三男	建設	ガス供給

企業名	役職	氏名	部会	業種
静岡産業大学	学長	堀川知廣	情報サービス	学校教育
杉浦石油(株)	代表取締役	杉浦隆	生活文化	石油製品販売
鈴和製作所(株)	代表取締役社長	鈴木富作	製造・金属・物流	輸送用部品製造
(株)創亜開発	代表取締役	小林秀樹	情報サービス	一級建築士事務所
第一商事(株)	代表取締役社長	清水聖也	生活文化	石油製品販売
(株)大進堂	代表取締役社長	鈴木隆之	生活文化	印刷
(株)ツカサ	代表取締役社長	小泉禎剛	製造・金属・物流	貨物輸送・倉庫
天龍社織物工業(協)	理事長	安間政雄	ファッション繊維	繊維組合
東海自動車整備(株)	代表取締役	石山賢	生活文化	自動車整備・販売
東豊運輸(株)	代表取締役	光部泰孝	製造・金属・物流	貨物輸送
DOWAメタニクス(株)	代表取締役	田中貞裕	製造・金属・物流	電子部品材製造
中野純公認会計士・ 税理士事務所	所長	中野純	情報サービス	公認会計士
浜松磐田信用金庫 磐田本店営業部	部長	塚中丈久	金融	信用金庫
浜松鉄工(株)	代表取締役	寺田勇	製造・金属・物流	輸送用部品製造
(株)プラミック	代表取締役	鈴木将弘	製造・金属・物流	プラスチック 加工製品検査
北勢運送(株)磐田支店	部長	鈴木正美	製造・金属・物流	貨物輸送
前島電気工事(株)	常務取締役	前嶋優吾	建設	電気工事
(有)又一庵総本店	相談役	鈴木康元	食品	菓子製造販売
(有)丸栄産業	代表取締役	桑原孝祉	観光・生活	衛生リース
みたか工業(株)	代表取締役社長	澁川裕一	製造・金属・物流	金属プレス加工
(株)村上商店	代表取締役	村上貴嗣	製造・金属・物流	鉄・非鉄金属 リサイクル
(株)メイジフローシステム 磐田工場	取締役	宇佐美寿男	製造・金属・物流	自動車専用 ゴムホース製造
森上総合設計(株)	取締役会長	森上達幸	情報サービス	測量・建設 コンサルタント
(株)ヤマ鋌螺	代表取締役	山中大介	製造・金属・物流	産業用機器部品の 製造販売

【2号議員名簿】

企業名	役職	氏名	部会	業種
(株)アキヤマ	代表取締役	秋山萬之介	建設	総合建設
(株)アドバンス	代表取締役	佐々木敏行	製造・金属・物流	労働者派遣事業
(株)永勝	マネージャー	永野容子	観光・生活	ビジネスホテル
遠鉄タクシー(株) 磐田営業所	営業所長	頼母木成彦	観光・生活	タクシー事業

企 業 名	役 職	氏 名	部 会	業 種
(株) ク リ タ	代表取締役会長	磯 部 直 樹	生 活 文 化	事 務 用 品 販 売
(株) サ ン セ ブ ン	代表取締役社長	青 島 公 悦	フ ァ ッ シ ョ ン 繊 維	フ ァ ッ シ ョ ン 関 連 ビ ル
(株) 三 和 商 会	代 表 取 締 役	石 川 和 彦	建 設	管 工 事
(株) 三 和 製 作 所	代表取締役社長	森 岡 弘 記	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	金 属 加 工
(株) 静 岡 銀 行 磐 田 支 店	支 店 長	山 越 弘 晃	金 融	銀 行
芝 原 工 業 (株)	代表取締役会長	芝 原 利 一	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	制 御 配 電 盤 製 造
(株) 清 水 銀 行 磐 田 支 店	支 店 長	渥 美 寿 信	金 融	銀 行
仙 道 合 成 工 業 (株)	代表取締役社長	仙 道 洋 一	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	プ ラ ス チ ッ ク 部 品 製 造
大 弥 精 機 (株)	代 表 取 締 役	松 原 正 基	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	工 作 機 械 部 品 製 造
(有) 高 梨 米 穀	代 表 取 締 役	高 梨 謙 太 郎	食 品	米 穀 販 売
(株) タ ニ コ ー	代 表 取 締 役	水 谷 眞 啓	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	輸 送 用 部 品 製 造
(有) 寺 田 塗 装 工 業	取 締 役 会 長	寺 田 克 元	建 設	塗 装 工 事
電 器 堂 (株)	代 表 取 締 役 (C E O)	山 崎 誠 司	生 活 文 化	家 電 販 売
東 海 環 境 整 備 (株)	代 表 取 締 役	安 部 寛	観 光 ・ 生 活	廃 棄 物 処 理
(有) ト ー タ ル 開 発 測 量	代 表 取 締 役	古 田 潤	情 報 サ ー ビ ス	測 量
(株) 光 コ ー ポ レ ー シ ョ ン	代 表 取 締 役	田 代 幹 二	食 品	食 に 係 る 情 報 処 理 ・ 提 供 サ ー ビ ス 業
(有) 富 士 見 不 動 産	代 表 取 締 役	高 橋 修	情 報 サ ー ビ ス	不 動 産
(株) 堀 内 土 木	代 表 取 締 役 会 長	堀 内 豊	建 設	土 木
(株) 丸 武 部 品	代 表 取 締 役 社 長	池 間 健 二	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	輸 送 用 機 器 製 造
(株) M A R U H A C H I	代 表 取 締 役 社 長	安 藤 正	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	輸 送 用 機 器 製 造
(株) ヤ ザ キ	代 表 取 締 役	矢 崎 尚 行	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	プ ラ ス チ ッ ク 部 品 製 造
(株) ル マ ン オ ー ト	代 表 取 締 役	磯 田 達 彦	生 活 文 化	自 動 車 販 売 ・ 修 理

【3号議員名簿】

企 業 名	役 職	氏 名	部 会	業 種
N T N (株) 磐 田 製 作 所	常 務 理 事 自 動 車 事 業 本 部 副 本 部 長 磐 田 製 作 所 長	賀 茂 邦 男	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	ベ ア リ ン グ 製 造
遠 州 鉄 道 (株) 磐 田 営 業 所	磐 田 営 業 所 長	太 田 好 洋	観 光 ・ 生 活	バ ス 事 業
遠 菱 ア ル ミ ホ イ ー ル (株)	代 表 取 締 役 社 長	鈴 木 順 一	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	ア ル ミ 鋳 造
ス ズ キ (株) 磐 田 工 場	工 場 長	野 原 勉	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	輸 送 用 機 器 製 造
大 日 精 化 工 業 (株) 東 海 製 造 事 業 所	事 業 所 長	井 上 繁	製 造 ・ 金 属 ・ 物 流	顔 料 製 造

企 業 名	役 職	氏 名	部 会	業 種
高砂香料工業(株)磐田工場	工 場 長	吉 田 昭 文	製造・金属・物流	香 料 製 造
中部電力パワーグリッド(株) 磐 田 営 業 所	営 業 所 長	木 下 光 晴	建 設	電 力 供 給
(株) デ イ ト ナ	取 締 役 会 長	鈴 木 紳 一 郎	製造・金属・物流	輸 送 用 機 器 製 造
東 海 精 機 (株)	取 締 役 社 長	大 西 謙 一	製造・金属・物流	輸 送 用 機 器 製 造
ユニー(株)アピタ磐田店	店 長	鈴 木 一 功	生 活 文 化	総 合 ス ー パ ー

(6)部会長、副部会長、推進幹事

A 製造・金属・物流部会

役 名	氏 名	企 業 名	役 職	業 種
部 会 長	水 谷 眞 啓	(株) タ ニ コ ー	代 表 取 締 役	輸 送 用 部 品 製 造
副 部 会 長	松 下 晴 彦	(株) 松 下 工 業	専 務 取 締 役	鑄 造
〃	芝 原 利 幸	芝 原 工 業 (株)	代 表 取 締 役 社 長	制 御 配 電 盤 製 造
〃	寺 田 勇	浜 松 鉄 工 (株)	代 表 取 締 役	輸 送 用 部 品 製 造
〃	吉 田 昭 文	高砂香料工業(株)磐田工場	工 場 長	香 料 製 造
〃	佐々木敏行	(株) ア ド バ ン ス	代 表 取 締 役	労 働 者 派 遣 事 業
〃	山 中 大 介	(株) ヤ マ 鋌 螺	代 表 取 締 役	産 業 用 機 器 部 品 の 製 造 販 売
〃	安 藤 正	(株) M A R U H A C H I	代 表 取 締 役 社 長	輸 送 用 機 器 製 造
〃	仙 道 洋 一	仙 道 合 成 工 業 (株)	代 表 取 締 役 社 長	プ ラ ス チ ッ ク 部 品 製 造
〃	矢 崎 尚 行	(株) ヤ ザ キ	代 表 取 締 役	プ ラ ス チ ッ ク 部 品 製 造
〃	賀 茂 邦 男	N T N (株) 磐 田 製 作 所	常 務 理 事 自 動 車 事 業 本 部 副 本 部 長 磐 田 製 作 所 長	ベ ア リ ン グ 製 造
〃	大 西 謙 一	東 海 精 機 (株)	取 締 役 社 長	輸 送 用 部 品 製 造
〃	井 上 繁	大 日 精 化 工 業 (株) 東 海 製 造 事 業 所	事 業 所 長	顔 料 製 造
〃	田 中 貞 裕	D O W A メ タ ニ ク ス (株)	代 表 取 締 役	電 子 部 品 材 製 造
〃	松 原 正 基	大 弥 精 機 (株)	代 表 取 締 役	工 作 機 械 部 品 製 造
〃	野 原 勉	ス ズ キ (株) 磐 田 工 場	工 場 長	輸 送 用 機 器 製 造
〃	鈴 木 順 一	遠 菱 ア ル ミ ホ イ ール (株)	代 表 取 締 役 社 長	ア ル ミ 鑄 造
〃	宇 佐 美 寿 男	(株) メ イ ジ フ ロー シ ス テ ム 磐 田 工 場	取 締 役	自 動 車 専 用 ゴ ム ホ ー ス 製 造
〃	池 間 健 二	(株) 丸 武 部 品	代 表 取 締 役 社 長	輸 送 用 機 器 製 造

役名	氏名	企業名	役職	業種
副部長	光部泰孝	東豊運輸(株)	代表取締役	貨物輸送
〃	石原信一	ヤマハ発動機(株)	総務部	輸送用機器製造
〃	小泉禎剛	(株)ツカサ	代表取締役社長	貨物輸送・倉庫
〃	鈴木富作	鈴和製作所(株)	代表取締役社長	輸送用部品製造
〃	柳澤伸光	エージーエス(株)	代表取締役	貨物輸送
〃	鈴木正美	北勢運送(株)磐田支店	部長	貨物輸送
〃	鈴木紳一郎	(株)デイトナ	取締役会長	輸送用機器製造
〃	澁川裕一	みたか工業(株)	代表取締役社長	金属プレス加工
〃	大石容紫子	(株)オキソ	代表取締役	精密ショットピーニング
〃	鈴木将弘	(株)プラミック	代表取締役	プラスチック加工製品検査
〃	中山貴善	(株)市川板金工業所	営業課長	試作板金製造
推進幹事	森岡弘記	(株)三和製作所	代表取締役社長	金属加工
〃	村上貴嗣	(株)村上商店	代表取締役	鉄・非鉄金属リサイクル

B 生活文化部会

役名	氏名	企業名	役職	業種
部長	山崎誠司	電器堂(株)	代表取締役(CEO)	家電販売
副部長	山下貢史	磐田市商店会連盟	会長	商業団体
〃	鈴木一功	ユニー(株)アピタ磐田店	店長	総合スーパー
〃	石山賢	東海自動車整備(株)	代表取締役	自動車整備・販売
〃	杉浦隆	杉浦石油(株)	代表取締役	石油製品販売
〃	鈴木隆之	(株)大進堂	代表取締役社長	印刷
〃	森義昭	(株)遠州日石	常務取締役	石油製品販売
〃	磯部直樹	(株)クリタ	代表取締役会長	事務用品販売
推進幹事	大橋眞吾	大橋活版所	事業主	印刷
〃	磯田達彦	(株)ルマンオート	代表取締役	自動車整備・販売

C 建設部会

役名	氏名	企業名	役職	業種
部会長	寺田克元	(有) 寺田塗装工業	取締役会長	塗装工事
副部会長	堀内豊	(株) 堀内土木	代表取締役会長	土木
〃	岡本三男	サーラエナジー(株) 浜松支社磐田営業所	浜松支社長兼 磐田営業所長	ガス供給
〃	石川修	石川建設(株)	代表取締役会長	総合建設
〃	鈴木裕益	小林建設(株)	取締役副社長	総合建設
〃	石川和彦	(株) 三和商会	代表取締役	管工事
〃	鈴木和男	(株) 鈴恭組	代表取締役	土木
〃	秋山萬之介	(株) アキヤマ	代表取締役	総合建設
〃	岡本正	(株) 植勘	代表取締役社長	造園
〃	山中久仁彦	磐田建築工業組合	組合長	建築
副部会長 兼推進幹事	前嶋優吾	前島電気工事(株)	常務取締役	電気工事
〃	木下光晴	中部電力パワーグリッド(株) 磐田営業所	営業所長	電力供給

D 観光・生活部会

役名	氏名	企業名	役職	業種
部会長	安部寛	東海環境整備(株)	代表取締役	廃棄物処理
副部会長	永野容子	(株) 永勝	マネージャー	ビジネスホテル
〃	松本友博	遠鉄タクシー(株) 磐田営業所	所長	タクシー事業
〃	太田好洋	遠州鉄道(株)磐田営業所	磐田営業所長	バス事業
〃	鈴木雅之	(株) 遠鉄自動車学校 遠鉄磐田自動車学校	代表取締役	自動車運転教習
〃	鷹野晶一	(株) いわきゆう	取締役	給食
〃	青島邦信	(株) コーシンサービス	代表取締役社長	産廃処理
〃	福田竜太	東海開発観光(株)	代表取締役	ゴルフ場
〃	桑原孝祉	(有) 丸栄産業	代表取締役	衛生リース
〃	三輪佳史	(有) ぶんぶく	代表取締役	飲食
〃	赤坂智樹	総合警備保障(株) 浜松支社磐田営業所	磐田営業所長	警備
〃	河嶋康弘	アカデミー美容室	事業主	美容
〃	甲賀進一	(有) 沖之寿司	事業主	寿司
〃	野口丈雄	寿司割烹鳥善	事業主	飲食

役名	氏名	企業名	役職	業種
副部長	大石敦也	本多屋本店	店長	飲食
〃	加藤真史	(株) ジュピロ	取締役	プロサッカー球団の運営
〃	三浦哲治	(一社) 静岡スポーツユナイテッド	代表理事	スポーツクラブの運営
推進幹事	角一幸	(株) 磐田グランドホテル	代表取締役社長	料理・ホテル
〃	江間治人	(株) エマ観光	代表取締役	旅行業

E 食品部会

役名	氏名	企業名	役職	業種
部長	高梨謙太郎	(有) 高梨米穀	代表取締役	米穀販売
副部長	柴田勝司	西静岡ヤクルト販売(株) 磐田出張所	営業二部次長兼 磐田営業所長	乳酸菌飲料販売
〃	益子弘道	磐田化学工業(株)	取締役 食品事業部長	有機酸・発酵品等製造
〃	小池光弘	(有) 小池酒店	代表取締役	酒類販売
〃	鈴木繁希	千寿酒造(株)	取締役本部長	酒造・販売
〃	小林麗子	磐田青果市場(株)	代表取締役	青果卸
〃	宮地浩	(有) 宮地養蜂場	取締役	食品製造販売
〃	鈴木康元	(有) 又一庵総本店	相談役	和洋菓子製造販売
〃	鈴木良宜	(株) 玉華堂	代表取締役	菓子製造販売
〃	山下和記	遠州中央農業協同組合	磐田統括 統括部長	協同組合
〃	田代幹二	(株) 光コーポレーション	代表取締役	食に係る情報処理・ 提供サービス業
〃	山下貢史	やまひち食品店	代表	食料品小売業
〃	松下公彦	松下製茶	代表	製茶業
〃	磯村和佳恵	扇月	代表	和生菓子製造販売
推進幹事	鈴木良一	(有) 上下屋	代表取締役	酒類販売
〃	大石義典	(株) 加登屋 いとこまんぢゅう	代表取締役	食料品販売

F 金融部会

役名	氏名	企業名	役職	業種
部長	山越弘晃	(株) 静岡銀行磐田支店	支店長	銀行
副部長	塚中丈久	浜松磐田信用金庫 磐田本店営業部	部長	信用金庫

役名	氏名	企業名	役職	業種
推進幹事	渥美寿信	(株)清水銀行磐田支店	支店長	銀行
〃	竹沢栄一	島田掛川信用金庫 磐田支店	支店長	信用金庫

G ファッション繊維部会

役名	氏名	企業名	役職	業種
部会長	青島公悦	(株)サンセブン	代表取締役社長	ファッション関連ビル
副部会長	金原一平	キンパラ(株)	代表取締役相談役	制服類製造販売
副部会長兼 推進幹事	大石徹	ソニック(株)	取締役	輸入・輸出業
推進幹事	安間政雄	天龍社織物工業(協)	理事長	繊維組合
〃	名倉正夫	(有)福助屋	代表取締役	衣料品、祭用品販売

H 情報サービス部会

役名	氏名	企業名	役職	業種
部会長	高橋修	(有)富士見不動産	代表取締役	不動産業
副部会長	森上達幸	森上総合設計(株)	取締役会長	測量・建設コンサルタント
〃	古田潤	(有)トータル開発測量	代表取締役	測量
〃	田中誠	田中誠税理士事務所	所長	税理士事務所
〃	天野勝博	天野勝博司法書士事務所	所長	司法書士
〃	栗山恵	アトリエWALK	代表	建築設計監理業務
〃	飯田明弘	(名)飯田商店	代表社員	不動産管理
〃	浅野真人	浅野不動産鑑定	代表	不動産鑑定
推進幹事	桜井俊文	桜井行政書士 社会保険労務士事務所	所長	行政書士事務所
〃	高田ちはや	高田経営労務管理事務所	所長	社会保険労務士事務所

(7)委員会

A 磐田国際ビジネス交流委員会

役名	氏名	企業名	役職
委員長	村上貴嗣	(株) 村上商店	代表取締役
副委員長	清水聖也	第一商事(株)	代表取締役社長
委員	芝原利幸	芝原工業(株)	代表取締役社長
〃	堀内豊	(株) 堀内土木	代表取締役会長
〃	林融	I - B S (株)	代表取締役社長
〃	森岡弘記	(株) 三和製作所	代表取締役社長
〃	松下隆彦	(株) 松下工業	代表取締役社長
〃	水谷眞啓	(株) タニコ	代表取締役
〃	塚中丈久	浜松磐田信用金庫部 磐田本店営業部	部長
〃	秋山萬之介	(株) アキヤマ	代表取締役社長
〃	岡村文芳	(有) プレイズ	代表取締役

B 磐田コミュニティサークル委員会

役名	氏名	企業名	所属
委員長	青島公悦	(株) サンセブン	ファッション繊維部会長
副委員長	山崎誠司	電器堂(株)	生活文化部会長
〃	安部寛	東海環境整備(株)	観光・生活部会長
委員	高梨謙太郎	(有) 高梨米穀	食品部会長
〃	高橋修	(有) 富士見不動産	情報サービス部会長
〃	山下貢史	やまひち食品店	磐田市商店会連盟会長

C 経営改善資金審査会

役名	氏名	企業名	役職
委員長	松下隆彦	(株) 松下工業	代表取締役社長
委員	青島公悦	(株) サンセブン	代表取締役社長
〃	金原一平	キンパラ(株)	代表取締役相談役
〃	長尾仁	長尾仁税理士事務所	所長

役名	氏名	企業名	役職
委員長	鈴木一平	浜松磐田信用金庫	磐田中央エリア 部長補佐 副支店長
〃	中沼新	中沼新税理士事務所	所長
〃	平谷均	磐田商工会議所	専務理事

D 磐田商工会議所会館建設推進委員会

役名	氏名	企業名	役職
委員長	高橋あや子	磐田化学工業(株)	代表取締役会長
委員	長尾仁	長尾仁税理士事務所	所長
〃	森上達幸	森上総合設計(株)	取締役会長
〃	松下隆彦	(株)松下工業	代表取締役社長
〃	水谷眞啓	(株)タニコ一	代表取締役
〃	古田潤	(有)トータル開発測量	代表取締役
〃	鈴木良宜	(株)玉華堂	代表取締役社長
〃	清水聖也	第一商事(株)	代表取締役社長
〃	山下貢史	磐田市商店会連盟	会長
〃	高橋修	(有)富士見不動産	代表取締役
〃	平谷均	磐田商工会議所	専務理事

E 長期ビジョン検討会

役名	氏名	企業名	役職
委員長	松下隆彦	(株)松下工業	代表取締役社長
委員	森岡弘記	(株)三和製作所	代表取締役社長
〃	磯田達彦	(株)ルマンオート	代表取締役
〃	石川有造	石川建設(株)	代表取締役社長
〃	安部寛	東海環境整備(株)	代表取締役
〃	山下貢史	やまひち食品店	代表
〃	山越弘晃	(株)静岡銀行磐田支店	支店長
〃	大石徹	ソニック(株)	取締役
〃	高橋修	(有)富士見不動産	代表取締役
〃	清水聖也	第一商事(株)	代表取締役社長

役名	氏名	企業名	役職
アドバイザー	西畑隆久	マーケティング経営研究所	代表
オブザーバー	平谷均	磐田商工会議所	専務理事

F 青年部会(むすびの会)

役名	氏名	企業名	役職
会長	清水聖也	第一商事(株)	代表取締役社長
副会長	平野弘和	平野建設(株)	代表取締役
副会長	村松正浩	(株)村松商会	代表取締役
副会長	川島大和	(株)環吉	取締役
副会長	松野裕貴	(株)ユニオントレード	代表取締役
資質向上 委員長	前田朗良	(株)前田商店	代表取締役
会員拡大 委員長	八木慎也	(株)福田建材	代表取締役
総務 委員長	中村哲二	松本さく泉(有)	代表取締役
政策提言 委員長	金田聡	(株)えんむすび	代表取締役
監事	澤村孝幸	人形の天世	代表
顧問	中村多希留	(株)キャリスター	代表取締役

G 次世代産業プロジェクト

役名	氏名	企業名	役職
委員長	松下隆彦	(株)松下工業	代表取締役社長
委員	水谷眞啓	(株)タニコー	代表取締役
〃	芝原利幸	芝原工業(株)	代表取締役社長
〃	森岡弘記	(株)三和製作所	代表取締役社長
〃	池間健二	(株)丸武部品	代表取締役社長
〃	山田善彦	山田金属(株)	代表取締役社長
〃	澁川裕一	みたか工業(株)	代表取締役社長
〃	山中大介	(株)ヤマ鋳螺	代表取締役
〃	中山貴善	(株)市川板金工業所	営業課長
コーディネーター	長谷川徹	静岡県	ふじのくにロボット技術アドバイザー

(8)顧問・参与

役名	氏名	備考
顧問	金原繁廣	元会頭
	高木昭三	前会頭
	高木重義	企業懇話会座長

3. 選挙及び選任

(1)議員

1. 令和5年7月27日通常議員総会において次の議員が報告された。

議員	エーjeeエス株式会社	代表取締役	柳澤 伸光
議員	遠州鉄道株式会社磐田営業所	所長	太田 好洋
議員	スルガ銀行株式会社磐田支店	支店長	鈴木 宏誌

2. 令和6年3月28日通常議員総会において次の議員が報告された。

議員	遠鉄タクシー株式会社磐田営業所	営業所長	頼母木 成彦
議員	株式会社清水銀行磐田支店	支店長	渥美 寿信
議員	北勢運送株式会社磐田支店	部長	鈴木 正美
議員	ユニー株式会社 アピタ磐田店	店長	鈴木 一功

(2)役員

1. 令和5年7月27日通常議員総会において次の役員が選任された。

副会頭	遠州中央農業協同組合	経営管理委員会会長	大槇 照弘
常議員	大日精化工業株式会社 東海製造事業所	事業所長	井上 繁
常議員	東海精機株式会社	取締役社長	大西 謙一

2. 令和6年3月28日通常議員総会において次の役員が選任された。

常議員	サーラエナジー株式会社 浜松支社磐田営業所	浜松支社長兼 磐田営業所長	岡本 三男
-----	--------------------------	------------------	-------

4. 事務局

(1) 事務局機構

() 内嘱託、雇人

課名	所掌事務の概要	職員数
総務・業務課	常議員会、議員総会、庶務、経理、人事、会員関係、会館運営、法定台帳、広報、部会・委員会、共済事業、証明業務、商工技術普及・人材育成事業、委託団体事業、調査事業、企業懇話会ほか	6(1)
中小企業相談所	経営改善普及事業（税務、金融、経営、経理、労働、取引、創業経営革新）、窓口・巡回相談、定例相談、経営安定相談、中小企業支援センター、委託団体事業、部会・委員会ほか	6

(2) 事務局職員

区分	専任職員	経営指導員	補助員	嘱託	計
男	1	4	1	1	7
女	4	0	1	-	5
計	5	4	2	1	12

5. 庶務

(1) 文書

発信件数 121 件 (6,418通) 受信件数 896件

(2) 表彰

■ 関東商工会議所連合会長賞・ベストアクション表彰 伝達令和5年7月6日
いわた夏祭inジュビロード実行委員会

■ 日本商工会議所会頭感謝状 伝達令和6年2月27日

事業所名	役職	氏名	備考
(有) 又一庵 総本店	取締役	鈴木 康元	役員30年
中野純公認会計士 ・税理士事務所	所長	中野 純	役員20年
磐田商工会議所	総務・業務課長	渡辺 和美	職員30年

(3)慶弔

①慶事 0件 ②弔意 7件

6. 会議

(1)議員総会

A 第139回通常議員総会

1. 開催日時 令和5年7月27日 16時開会
2. 会 場 ラトリエ・ドゥ・マリエ
3. 出席者 議員総数81名 出席者73名(うち委任状提出者32名)
4. 議 題 第1号議案 役員3名(副会頭1名・常議員2名)の補選について
第2号議案 令和4年度事業報告の承認について
第3号議案 令和4年度一般会計並びに特別会計収支決算の承認について

5. 議事の経過概要

定款第40条第1項の定めるところにより、鈴木会頭が議長となり議事に入る。

- ・第1号議案 役員3名(副会頭1名・常議員2名)の補選について

専務理事より、副会頭の補選について、人事異動により 遠州中央農業協同組合 経営管理委員会会長 大橋照弘氏の補選、常議員補選について、人事異動により 大日精化工業株式会社東海製造事業所 事業所長 井上繁氏、東海精機株式会社 取締役社長 大西謙一氏の補選をお願いしたい旨を説明した。

議長は第1号議案について全員に諮ったところ、全員異議なく拍手をもって承認された。

- ・第2号議案 令和4年度事業報告書の承認について

- ・第3号議案 令和4年度一般会計並びに特別会計収支決算の承認について

専務理事より令和4年度事業報告、令和4年度一般会計並びに特別会計収支決算について詳細に説明した。また、監事を代表して長尾仁氏より6月20日に実施した監査会の報告を行い、業務処理並びに経理処理が適正になされている旨を併せて報告した。

議長は、第2号議案・第3号議案について全員に諮ったところ、全員異議なく拍手をもって承認された。

6. 報告事項

議長は、報告事項について 事務局長より①規程等の一部改正について ②新入会員の承認について ③令和6年度県行政に関する要望について、専務理事より④磐田商工会議所会館整備事業の経過について、事務局長より⑤議員事業所職務執行者3名の変更について ⑥第31回会頭杯ゴルフコンペについて ⑦「2023いわた夏まつり花火大会」の実施について ⑧令和6年新春会員賀詞交歓会[令和6年1月18日]について詳細に説明させた。

B 第140回通常議員総会

1. 開催日時 令和6年3月28日 16時開会
2. 会 場 ラトリエ・ドゥ・マリエ
3. 出席者 議員総数81名 出席者74名(うち委任状提出者31名)
4. 議 題 第1号議案 令和5年度会計補正予算(案)承認について
第2号議案 役員1名(常議員1名)の補選について

第3号議案 令和6年度事業計画(案)承認について

第4号議案 令和6年度一般会計並びに特別会計収支予算(案)承認について

5. 議事の経過概要

定款第40条第1項の定めるところにより、鈴木会頭が議長となり議事に入る。

・第1号議案 令和5年度会計補正予算(案)承認について

専務理事より、令和5年度会計補正予算(案)承認について詳細に説明した。

議長は、第1号議案について全員に諮ったところ、全員異議なく拍手により承認した。

・第2号議案 役員1名(常議員1名)の補選について

専務理事より、常議員補選について、人事異動により サーラエナジー株式会社浜松支社磐田営業所 浜松支社長兼磐田営業所長 岡本三男氏1名が代わられたため、補選をお願いしたい旨を説明した。

議長は、第2号議案について全員に諮ったところ、全員異議なく拍手により承認した。

・第3号議案 令和6年度事業計画(案)承認について

・第4号議案 令和6年度一般会計並びに特別会計収支予算(案)承認について

専務理事より令和6年度事業計画(案)、令和6年度一般会計並びに特別会計収支予算(案)について詳細に説明した。

議長は、第3号議案・第4号議案について全員に諮ったところ、全員異議なく拍手によりこれを承認決定した。

6. 報告事項

議長は、(1)規程の一部改正について (2)新入会員承認について (3)議員事業所職務執行者4名の変更について (4)磐田商工会議所会館整備事業についての4項目につき、事務局より詳細に説明させた。

(2)常議員会

A 第1回常議員会

1. 開催日時 令和5年7月20日 11時開会
2. 開催会場 ワークピア磐田 視聴覚室
3. 出席者 役員総数31名 出席者17名
4. 議題
 - ①役員3名(副会頭1名・常議員2名)の補選について
 - ②令和4年度事業報告の承認について
 - ③令和4年度一般会計並びに特別会計収支決算の承認について
 - ④第139回通常議員総会開催について
 - ⑤規程等の一部改正について
 - ⑥新入会員の承認について
5. 報告事項
 - ①令和6年度県行政に関する要望について
 - ②磐田商工会議所会館整備事業の経過について
 - ③議員事業所職務執行者3名の変更について
 - ④第31回会頭杯ゴルフコンペについて
 - ⑤「2023いわた夏まつり花火大会」の実施について
 - ⑥令和6年新春会員賀詞交歓会[令和6年1月18日(木)]について

B 第2回常議員会

1. 開催日時 令和6年2月2日 10時30分開会
2. 開催会場 磐田商工会館 3階大会議室
3. 出席者 役員総数30名 出席者20名
4. 議題 ①令和5年度商工会議所会館建設特別会計補正予算について
②新会館会議室使用料について
5. 報告事項 ①磐田商工会議所会館整備事業の経過について
6. その他 「令和6年度税制改正について」
日本商工会議所 産業政策第一部 主査 大内啓介 氏

C 第3回常議員会

1. 開催日時 令和6年3月9日 10時30分開会
2. 開催会場 磐田商工会館 3階大会議室
3. 出席者 役員総数30名 出席者20名
4. 議事 ①令和5年度会計補正予算(案)承認について
②役員1名(常議員1名)の補選について
③令和6年度事業計画(案)の承認について
④令和6年度一般会計並びに特別会計収支予算(案)承認について
⑤規程の一部改正について
⑥第140回通常議員総会開催について
⑦新入会員承認について
5. 報告事項 ①磐田商工会議所会館整備事業について
②議員事業所職務執行者4名の変更について
6. その他 磐田商工会議所会館見学

(3)磐田商工会議所新春の集い

1月1日に発生した石川県能登半島地震の発生により、新春賀詞交歓会を新春の集いとして開催した。

1. 開催日時 令和6年1月18日 16時開会
2. 開催会場 ラトリエ・ドゥ・マリエ
3. 内容 行政・会員事業所・各種団体等との情報交換交流
4. 出席者 74名

(4)監査会

1. 開催日時 令和5年6月20日
2. 開催会場 磐田商工会館役員室
3. 出席者 監事3名、専務理事、事務局長、渡辺課長、大高職員、富永職員、小野田職員、藤田職員
4. 議事 令和4年度事業並びに各会計の監査

(5)正副会頭会議

出席者 会頭、副会頭、専務理事、事務局長、総務課長

開催会場 磐田商工会館役員室他

回数	開催日	内容
1	4月12日	① 磐田商工会議所会館建設工事について ② 磐田商工会議所会館建設協力金について ③ 令和4年度末磐田商工会議所会員事業所数について
2	5月10日	① 磐田商工会議所会館建設協力金について ② 令和4年度会計の仮決算について ③ 磐田花火大会について ④ 第31回会頭杯ゴルフコンペの日程等について
3	6月13日	① 令和4年度事業報告「総括的概要」について ② 令和5年度県商工会議所連合会通常総会について ③ 県行政に関する要望（令和6年度）について ④ 国土交通省中部地方整備局との意見交換会発言について ⑤ 磐田花火大会について
4	7月11日	① 令和5年度第1回常議員会及び第139回通常議員総会について
5	9月12日	① 第13回産業振興フェア in いわたについて ② 磐田商工会議所会館建設協力金芳名板の設置について ③ 会員事業所人材確保事業について ④ 令和6年度市行政に関する要望について
6	10月11日	① 第13回産業振興フェア in いわたについて ② 長期ビジョンの策定状況について
7	11月14日	① 令和6年度新春会員賀詞交歓会の開催について ② 令和6年度正副会頭会議等の日程（案）について
8	12月12日	① 磐田商工会議所会館建設事業の推進について ② 令和6年度新春賀詞交歓会の開催について
9	1月18日	① 臨時常議員会の開催について ② 磐田商工会議所会館建設事業について ③ 第14回産業振興フェアキックオフについて ④ 2024 磐田花火大会の開催について
10	2月13日	① 令和6年度事業計画について ② 規則制定、規程改正 ③ 磐田商工会議所会館建設事業について ④ 令和6年度役員会議等日程について
11	3月12日	① 令和5年度会計補正予算（案）について ② 令和6年度事業計画（案）について ③ 令和6年度一般会計並びに特別会計収支予算（案）について ④ 第3回常議員会並びに第140回通常議員総会について ⑤ 磐田商工会議所会館建設事業について

(6) 県西部地域四商工会議所正副会頭連絡会議

1. 開催日 令和6年2月1日
2. 開催会場 ホテルコンコルド浜松
3. 出席者 会頭、副会頭、専務理事、事務局長
4. 議 事 県西部地域商工会議所事業活動と課題について

(7) 部 会

A 製造・金属・物流部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月12日	『令和5年度経済産業省補助金セミナー』 講師：マーケティング経営研究所 西畑隆久氏 金融部会との合同開催	磐田商工会館	37名 (内21名オンライン)
2	4月25日	磐田南高定時制授業見学会	磐田南高校	9名
3	5月24日	磐田南高定時制 企業説明会 1社20分×3回 企業説明会を実施	磐田南高校	22名
4	10月20日～ 10月21日	長崎視察 (榊小出製作所 FA・AIラボ 等)	長崎市	8名
5	11月15日	浜松工業技術支援センター見学会	浜松工業技術支援センター	17名
6	12月5日	中小企業のデジタル化セミナー 講師：一般社団法人 静岡経済研究所 特任研究員 阪口 瀬理奈 氏	ワークピア 磐田	29名
7	3月14日	役員会 ①令和5年度事業報告について ②令和6年度事業計画について ③令和7年度行政要望について	磐田商工会館	8名

B 生活文化部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	5月12日	役員会 ①視察研修について ②行政要望について ③情報交換会	バーンテーブル	7名
2	7月4日	推進幹事会 名古屋視察について	磐田商工会館	3名
3	7月21日	視察研修 ①JAPAN IT WEEK名古屋 ②トヨタ産業技術記念館	名古屋市	15名

回数	開催日	内容	場所	出席者数
4	8月10日	合同視察検討会（4団体合同視察会） ①視察研修の内容・日程について（詳細決定）	サンセブン	3名
5	10月24日	合同視察検討会（4団体合同視察会） ①視察研修について（日程の都合により延期） ②防災セミナーについて	サンセブン	3名
6	12月12日	防災セミナー（ファッション繊維部会と合同） ①防災のプロに教わる、命を守る備蓄と被災後の生活テクニック 講師:ククデココ企業組合 代表理事 高橋竜二氏 ②防災用のパンの缶詰を使用したインテリアにもなる防災グッズケーキの製作 講師:honeytime 山田 可奈子氏	磐田商工会館	8名
7	2月26日	役員会（ファッション繊維部会と合同） ①令和5年度部会事業報告について ②令和6年度部会事業計画について ③令和7年度に向けた行政要望について	磐田商工会館	11名

C 建設部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月7日	推進幹事会 ①役員視察研修について ②建設業者向けインボイスセミナーについて ③令和6年度行政要望について	磐田商工会館	5名
2	5月26日～ 5月27日	松下幸之助博物館 役員視察研修会	大阪府・ 京都府	10名
3	6月14日 6月21日	建設業に特化したインボイスセミナー	ワークピア 磐田	24名
4	7月24日	推進幹事会 ①事業報告 ②中部電力発電所視察研修について	磐田商工会館	5名
5	9月28日	推進幹事会 ①中部電力発電所視察研修について ②今後の部会活動の確認	磐田商工会館	5名
6	11月21日	碧南火力発電所/中電ウイング 視察研修	碧南市	9名
7	1月22日	推進幹事会 ①令和5年度部会事業報告について ②令和6年度部会事業計画について	磐田商工会館	5名
8	2月20日	役員会 ①令和5年度部会事業報告について ②令和6年度部会事業計画について ③令和7年度に向けた行政要望について	磐田商工会館	9名

D 観光・生活部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月14日	食品部会と合同 地域資源を活用した商品開発の進め方 講師：ビーズトーク株式会社 代表取締役社長 武田明子氏	磐田商工会館	12名
2	4月23日	静岡ブルーレヴズホストゲーム戦 ブース出店	ヤマハスタジアム	16名
3	6月16日	食品部会と合同 商品開発・販路拡大の個別相談会 相談員：ビーズトーク株式会社 代表取締役社長 武田明子氏	磐田商工会館	2名
4	8月8日	HPなんでも相談会 講師：MP株式会社 高木速人氏、大橋晃氏	磐田商工会館	11名
5	9月14日	役員会 視察について、今後の部会予定について	磐田商工会館	4名
6	11月13日	自社・商品PR個別相談会 講師：株式会社DriveD 島津健吾氏	磐田商工会館	8名
7	12月6日	スマホでも使える写真撮影セミナー 講師：Happy Graph 大西桂介氏	磐田商工会館	10名
8	2月16日	役員会 ①令和5年度事業計画書について ②令和6年度事業計画について ③令和7年度行政要望について	磐田商工会館	5名

E 食品部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月14日	観光・生活部会との合同勉強会 テーマ：地域資源を活用した商品開発の進め方 講師：ビーズトーク株式会社 代表取締役社長 武田明子氏	磐田商工会館	12名
2	6月16日	商品開発・販路拡大・個別相談会 相談員：ビーズトーク株式会社 代表取締役社長 武田明子氏	磐田商工会館	2名
3	6月26日	部会長・推進幹事会 ①部会視察会の内容について ②意見交換会	磐田商工会館	3名
4	6月27日	セミナー お客様を呼び込むメニュー表・POP作成講座 講師：ハッピーグラフ 代表&フォトグラファー 大西桂介氏	ワークピア 磐田	15名
5	7月7日	見学会 株式会社メイカングループ2023年夏季総合食品展示 商談会	アクトシティ 浜松	4名
6	9月15日	視察会 ①株式会社テクノスルガ・ラボ ②はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区	12名

回数	開催日	内容	場所	出席者数
7	10月25日	部会長・推進幹事会 ①後期部会活動について ②意見交換会	磐田商工会館	3名
8	2月7日	いわた農業を考えるとの会合同視察会 うなぎいも協同組合理事長講演&工場視察	浜松市	11名
9	2月15日	役員会 ①令和5年度部会事業報告について ②令和6年度部会事業計画について ③令和7年度に向けた行政要望について ④その他連絡事項	磐田商工会館	8名

F 金融部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月12日	合同部会セミナー(製造・金属・物流部会) 「令和5年度 経済産業省補助金」 講師：マーケティング経営研究所 代表 西畑 隆久 氏	磐田商工会館	38名
2	5月16日	セミナー 「令和5年度 中小企業支援策と雇用促進」 説明者：磐田市 経済産業部 産業政策課 産業振興G 経済観光課 雇用促進G	ワークピア 磐田	23名
3	6月21日	役員会 ①今年度事業の中間報告 ②今年度事業内容 ③会員紹介連絡票	磐田商工会館	4名
4	9月13日	セミナー 「伝えたいことが伝わるセミナー」 講師：話し方教室きいちご 海野 くじら 氏	磐田商工会館	18名
5	11月16日	セミナー 「メンタルヘルスセミナー」 講師：保健師 村上 江利香 氏	磐田商工会館	16名
6	11月27日	臨時総会 ①2号議員及び副部会長の選任 ②推進幹事の指名 ③次年度事業について	磐田商工会館	7名 (委任状18名)
7	2月5日	役員会 ①令和5年度事業報告について ②令和6年度事業計画について ③令和7年度に向けた行政要望について	磐田商工会館	4名

G ファッション繊維部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月11日	合同視察検討会（4団体合同視察会） ①各団体紹介 ②視察研修の内容・日程について	磐田商工会館	8名
2	5月8日	部会長・推進幹事会 ①行政要望について ②視察について	磐田商工会館	3名
3	8月10日	合同視察検討会（4団体合同視察会） ①視察研修の内容・日程について（詳細決定）	サンセブン	3名
4	10月24日	合同視察検討会（4団体合同視察会） ①視察研修について（日程の都合により延期） ②防災セミナーについて	サンセブン	3名
5	10月28日	「第8回いわたでハロウィン」に協力 スタンプラリー、仮装コンテスト	磐田駅前 北口広場	2名
6	12月12日	防災セミナー（生活文化部会と合同） ①防災のプロに教わる、命を守る備蓄と被災後の生活テクニック 講師：ククデココ企業組合 代表理事 高橋竜二氏 ②防災用のパンの缶詰を使用したインテリアにもなる防災グッズケーキの製作 講師：honeytime 山田 可奈子氏	磐田商工会館	8名
7	2月26日	役員会（生活文化部会と合同） ①令和5年度部会事業報告について ②令和6年度部会事業計画について ③令和7年度に向けた行政要望について	磐田商工会館	11名

H 情報サービス部会

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月14日	役員会 ①令和5年度事業検討 ②行政要望について	磐田商工会館	4名
2	5月31日	インボイスセミナー 「個人事業者向けインボイス制度説明」 講師：東海税理士会 磐田支部 竹内あけ美 氏	磐田商工会館	10名
3	7月26日	インボイスセミナー 「個人事業者向けインボイス制度説明」 講師：東海税理士会 磐田支部 瀬崎浩史 氏	磐田商工会館	14名
4	10月5日	役員会 下半期事業計画について	磐田商工会館	8名

回数	開催日	内容	場所	出席者数
5	11月28日	ChatGPT超入門編セミナー 「ChatGPT活用方法」 講師：ブロックワークス 兼子健一 氏	磐田商工会館	27名
6	11月28日	部会交流会	凜喜桜変	15名
7	2月19日	役員会 ①令和5年度事業報告 ②令和6年度事業計画	磐田商工会館	9名

I 部会長会議

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	6月13日	①令和4年度事業報告「総括的概要」について ②令和5年度県商工会議所連合会通常総会について ③県行政に関する要望（令和6年度）について ④磐田花火大会について ⑤今後の行事予定について	磐田商工会館	9名
2	10月11日	①産業振興フェアinいわたについて ②長期ビジョンの策定状況について ③正副会頭と部会長等との意見交換	磐田商工会館	9名

(8)委員会

A 磐田国際ビジネス交流委員会

視察交流事業を通じて、「グローバルな視点」でこれからのビジネスや働き方を考えるべく、調査研究・情報交換を行い会員企業の資質向上を目指して活動を行った。

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	5月17日	令和5年度 視察について	磐田商工会館	8名
2	12月7日	タイ・バンコク視察について	磐田商工会館	7名
3	2月6日	タイ・バンコク視察最終打合せ	磐田商工会館	7名
4	2月15日 ～18日	タイ・バンコク視察 視察先：(株)遠州 タイ工場、(株)オキソ タイ工場 浜松磐田信用金庫 バンコク駐在員事務所	タイ バンコク	7名

B 磐田コミュニティ・サークル委員会

磐田駅周辺を中心とした商店街の活性化及び磐田市内の商業の活性化を図るべく、情報収集・分析を行い、企画会議・軽トラ市事業へ参加。

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月4日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市 実行委員会への参加	磐田商工会館	1名
2	5月14日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市への参加	ジュビロード	1名
3	8月8日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市 実行委員会への参加	磐田商工会館	1名
4	9月10日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市への参加	ジュビロード	1名
5	11月7日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市 実行委員会への参加	磐田商工会館	1名
6	12月10日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市への参加	ジュビロード	1名
7	2月6日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市 実行委員会への参加	磐田商工会館	1名
8	3月10日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市への参加	ジュビロード	1名

C いわたの農業を考える会

農業技術の向上、新たな加工食品の開発等新たな挑戦を誘発し、地域農業の活性化及び地元農産物の販路拡大を図るべく、農業関係者を対象に勉強会を実施。

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	11月15日	セミナー 茶業界を取り巻く環境と今後の発展性について 講師：カワサキ機工株式会社 営業本部 顧問 久保 孝則 氏	浜松市	24名
2	2月7日	食品部会といわた農業を考える会合同視察会 うなぎいも協同組合理事長講演&工場視察	浜松市	11名
3	3月5日	セミナー いちご玉露開発から学ぶ異業種連携について 講師：いちご玉露開発チーム (松下製茶場、ICHIGOYA, 福茶会おんりーわん)	磐田商工会館	39名

D 磐田青年部会(むすびの会)

『いい会社をつくろう・暮らしやすい地域をつくろう』をスローガンに掲げ、経営者としての資質向上を目的とし、事業に携わる個々の人間力を高め、繋がることで豊かな地域をつくる「青年部会」として事業を実施。

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月17日	通常総会 令和4年度事業・決算報告承認 令和5年度事業計画・予算(案) 会員交流会交流会	ラトリエ・ ドゥ・マリエ	51名
2	5月16日	新規会員入会式及び交流会	醍醐荘	47名
3	7月18日	講演会 「忙しい経営者の“心と身体を『整える』”」 講師：flow4yoga インストラクター 森本直波 氏 メディカルアロマeM代表 熊谷詠美子氏	磐田南交流 センター 体育館	35名
4	9月19日	講演会 デジタル化が描く地域の未来 第一部 基調講演 地方自治体&地域企業が未来に向けて「今」やるべきDX化とは 講師：静岡大学情報学部行動情報学科 学長 遊橋裕泰氏 第二部 パネルディスカッション 磐田市のDXを加速させる地元企業&大学のあるべき姿 パネラー：磐田市長 草地博昭 氏 静岡大学情報学部 学長 遊橋裕泰氏 静岡産業大学キャリア支援課長 池ヶ谷雅一氏 遠州スプリング有限公司 代表取締役 栗屋紘介氏 ファシリテーター：大庭奈々氏	ワークピア 磐田	47名
5	10月27日	役員選考委員会 次年度役員選考	菜月	7名
6	11月20日	お笑いを通じたコミュニケーション能力向上 講師：有限会社永田石油ガス 代表取締役 永田敬壺氏 ラジバンダリ 西井氏	ラトリエ・ ドゥ・マリエ	68名
7	1月23日	パネルディスカッション ゴルフマネジメントを経営に生かすコツ パネラー 株式会社ツカサ 代表取締役 小泉禎剛氏 インドアゴルフ磐田 代表 藤原健氏 浜松シーサイドゴルフクラブ 支配人 加藤広俊氏 資質向上委員会 委員長 前田朗良氏	浜松 シーサイド ゴルフクラブ	54名

回数	開催日	内容	場所	出席者数
8	3月12日	政策提言報告会・卒業式 第一部 政策提言書発表 『磐田市版DX推進認定企業』の制度化 第二部 卒業式	バーン テーブル	73名
9	3月25日	市長 政策提言書提出	磐田市役所	3名
10	毎月	正副会長会議	磐田商工会館	5名
11	第1週火曜日	役員会	磐田商工会館	11名

E 磐田商工会議所会館建設推進委員会

磐田商工会議所会館建設に関する調査研究及び情報交換を行い、円滑な建設運営を図った。

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月25日	①新会館建設に係る協力金について ②その他	磐田商工会館	8名
2	9月7日	①芳名板の設置について ②建設協力金協力者への御礼（返礼品）について ③新会館建設工事の進捗状況について ④建設協力金の申込状況について ⑤セキュリティについて ⑥クラウドファンディングの実施について	磐田商工会館	10名
3	2月7日	①新会館建設現場見学 ②新会館建設協力事業者に係る芳名の掲載について ③新会館竣工記念・創立75周年記念事業（R6年度）について ④新会館竣工式の記念品について ⑤クラウドファンディングの実施について ⑥新会館建設予算について ⑦その他	磐田商工会館	7名

F 次世代産業プロジェクト

磐田地域には意欲的なモノづくりがあり、優れた技術ノウハウ等を応用して「次世代産業」への進出を支援した。

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	8月24日	視察 株式会社丸武部品	(株)丸武部品	12名
2	10月25日～ 27日	ロボデックス名古屋 (ロボットの開発と活用展) 見学	オンライン	12名
3	11月29日～ 12月2日	2023国際ロボット展 見学	オンライン	12名

回数	開催日	内容	場所	出席者数
4	12月5日	製造・金属・物流部会との合同開催 中小企業のデジタル化セミナー 講師 一般社団法人 静岡経済研究所 特任研究員 阪口 瀬理奈 氏	ワークピア磐田	29名

G 長期ビジョン検討会

磐田商工会館創立100周年に向けた「長期ビジョン」を策定するべく検討会を立ち上げた。

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	5月25日	磐田商工会議所の現状について	磐田商工会館	11名
2	7月27日	磐田商工会議所 部会・委員会の活動状況について	磐田商工会館	8名
3	10月4日	磐田商工会議所に望むこと、求めることについて	磐田商工会館	9名
4	11月24日	磐田商工会議所に望むこと、求めることについて	磐田商工会館	6名
5	1月25日	今までの現状を踏まえて「会議所に何を望むか、求めるか」	磐田商工会館	11名
6	3月27日	未来の磐田はどんな町がいいか？ 未来の磐田のために企業として、市民として取り組めること	磐田商工会館	11名

7. 事業

(1) 磐田市地域の産業構造の転換をリードする事業

A 産業振興フェアinいわた

1. 開催日 令和5年11月10日～11日
2. 会場 アミューズ豊田
3. 概要

「次世代技術で産業構造を転換」をテーマに、磐田・県西部地域を中心に県内外の事業者を対象に「第13回産業振興フェアinいわた」を開催。「光・DX・モノづくり」の分野に加え、脱炭素に有効な手段とされる資源環境やリサイクル技術にも力を入れるとともに、自社開発商品の紹介や首都圏まで広げた広域連携コーナーを設けることで、新分野への進出や新たな事業の創出に貢献した。また、出展者と来場者、出展者同士の交流の中から時代の動向を感じ取り、自社の将来ビジョンや事業テーマを探る機会として、連携、異業種交流、地域及び広域での企業交流が進むべく企業間の有益な出会いの場を提供した。

4. 開催内容

(1) 企業展示・交流会

本年は、カーボンニュートラル/DX・光技術/固有技術・次世代輸送機器産業/CNF(セルロースナノファイバー)/資源循環(リサイクル技術)を重点テーマに、グローバル展開する大手企業や市内外の中小企業、研究期間等186社より出展協力を頂き、企業の商品戦略・企業技術の提案・新素材を使った製品開発技術や自動化の提案、支援プロ

グラムの提案等実物展示を行った。また、企業懇話会と連携した討論会、講演会の開催も行った。

①出展企業及び団体 186企業/団体

<業 種> 民間企業 141社 研究機関/支援機関 31機関 大学研究室 14研究室

<地 域> 磐田市66社 浜松市62社 県内43社 県外13社 (飯田・駒ヶ根・京都)

②来場者数 8,300名

③マッチング件数 8件

(2)講演会等開催行事

①討論会「起業家が語る新事業創成とその支援策」

11月10日 10時30分～12時 アミューズ豊田ゆやホール

参加者 150名

②DXセミナー「中小企業における製造業DXの成功事例」

11月10日 14時00分～15時30分 アミューズ豊田ゆやホール

参加者 68名

③現地レポート「シリコンバレーの今」 ※オンライン

11月10日 14時15分～14時45分 アミューズ豊田ゆやホール

参加者 45名

④GXセミナー「中小企業のための脱炭素化支援セミナー」

11月10日 14時30分～16時30分 アミューズ豊田

参加者 43名

⑤講演会「心豊かなライフスタイル：エシカル消費」

11月11日 14時30分～16時30分 アミューズ豊田ゆやホール

参加者 70名

⑥企業対抗eスポーツ交流戦

11月11日 9時30分～15時00分 磐田かたりあ大ホール

参加者 50名

⑦障がい者バザー

11月11日 13時30分～15時 アミューズ豊田

出展者 えひめ、福茶会

⑧静岡県工業技術研究所見学会

11月15日 14時～16時 浜松工業技術支援センター

参加者 18名

⑨小中学生向け学習ツアー「産業振興フェアオモシロ科学教室」

11月11日 9時～15時

小中学生向けに県内で活躍する企業の技術をやさしく解説

参加者 350名

⑩学生向け企業ブース訪問ツアー

11月11日 9時45分～13時

学生をグループに分け、コーディネーターが訪問企業を案内

参加者 21名

B 企業懇話会

地元大企業等にグローバルな業界情報や企業情報を開示願ひ、中小企業の事業展開に活かすべく事業をハイブリットで実施。

回数	開催日	内容	出席者数
1	5月25日	【1部】「カーボンニュートラル進捗とLCAに向けた取り組み」 ヤマハ発動機(株) 取締役常務執行役員 丸山 平二 氏 【2部】「丸源竹内組の新しい挑戦「もの・事」作り」 (株)丸源竹内組 代表取締役 竹内 隆介 氏	37名 (27名)
2	7月27日	【1部】「産学連携による基礎研究から新規事業創成へのアプローチ」 ASTI (株) メディカル開発部 部長 小粥 教幸 氏 【2部】「小規模製造業における新事業創成事例」 (株)内山刃物 代表取締役社長 内山 文宏 氏	29名 (15名)
3	10月2日	【1部】「温室効果 CO2ガスの削減と利用(CCUS)を図る革新的な触媒反応技術」 静岡大学 工学領域 化学バイオ工学系列 教授 福原 長寿 氏 【2部】「次世代 X 線カメラを活用した非破壊検査技術」 (株) ANSeeN 代表取締役 小池 昭史 氏	24名 (15名)
4	11月10日	産業振興フェアinいわた パネル討論会 【司 会】磐田商工会議所 顧問 高木 重義 氏 【パネラー】パイフォトニクス(株) 代表取締役 池田 貴裕 氏 (株)Magic Shields CEO代表取締役 下村 明司 氏 S-Bridges(株) 取締役副社長 佐野 吉彦 氏 静岡県経済産業部 部長代理兼デジタル推進官 田中 伸弘 氏 静岡県磐田市 市長 草地 博昭 氏	150名
5	11月11日	産業振興フェアinいわた 講演会 【1部】「SDGs達成に向けたエンカル消費 -つくる責任、つかう責任-」 静岡県暮らし・環境部 消費者支援班 班長 楠 眞季子 氏 【2部】「共和レザーがSobagniを通じて実現したいこと」 共和レザー(株) Sobagni推進部 部長 中村 美由紀 氏	70名
6	1月22日	【1部】「アフターコロナにおけるスズキ海外事業の状況」 スズキ(株) 取締役専務役員 齊藤 欽司 氏 【2部】「そうだったのかインドって」 NTECK AUTOMOTIVE PRIVATE LIMITED 社長 神原 由貴 氏	83名 (67名)
7	3月12日	【1部】「浜松いわた信用金庫の伴走型支援活動」 浜松いわた信用金庫 専務理事 三輪 久夫 氏 【2部】「IT担当者がいなくても取り組めるDX」 codeless technology(株) 代表取締役 猿谷 吉行 氏	35名 (21名)

※() 内オンライン参加人数

C 磐田市雇用創造事業

モノ作り企業の現場力強化を図る講座を開催。産業構造が変化しても重要性が変わらない「組織運営の基本」や「加工技術の基礎」を学ぶ。

回数	開催日	内容	出席者数
1	5月19日	第1回職場のリーダーに求められる統率力の向上 講師：HSE人材・組織開発研究所代表 中井雅夫 氏	23名
2	6月2日	第2回職場のリーダーに求められる統率力の向上 講師：HSE人材・組織開発研究所代表 中井雅夫 氏	19名
3	7月6日	第1回ものづくりの仕事のしくみと生産性向上 講師：HSE人材・組織開発研究所代表 中井 雅夫 氏	18名

回数	開催日	内容	出席者数
4	7月20日	第2回ものづくりの仕事のしくみと生産性向上 講師：HSE人材・組織開発研究所代表 中井 雅夫 氏	14名
5	10月12日	第1回原価管理とコストダウン 講師：ヤマハ発動機ビズパートナー 小林 武 氏	16名
6	10月26日	第2回原価管理とコストダウン 講師：ヤマハ発動機ビズパートナー 小林 武 氏	17名
7	12月7日	ハラスメント防止 講師：HSE人材・組織開発研究所代表 中井 雅夫 氏	16名
8	1月25日	生産管理の基本 講師：磐田商工会議所 顧問 高木 重義 氏	18名
9	2月21日	設備管理の基本 講師：ヤマハ発動機ビズパートナー 小林 武 氏	12名
合計			153名

(2)各種事業活動

A 雇用促進事業

1. いわた・ふくろいインターンシップフェア

- a. 開催日 令和5年6月10日
- b. 会場 Web開催（ZOOM使用）
- c. 参加企業数 24社
- d. 参加学生数 32名
- e. 主催 磐田商工会議所・磐田市商工会・袋井商工会議所・浅羽町商工会
磐田市・袋井市

2. いわた・ふくろい就職フェア

- a. 開催日 令和6年2月22日
- b. 会場 アミューズ豊田サブアリーナ
- c. 参加企業数 50社
- d. 参加学生数 58名
- e. 主催 磐田商工会議所・磐田市商工会・袋井商工会議所・浅羽町商工会
磐田市・袋井市

3. いわた仕事万博

- a. 開催日 令和6年2月29日
- b. 会場 静岡産業大学
- c. 参加企業数 37社
- d. 参加学生数 239名
- e. 主催 磐田就職支援実行委員会(RE:サーチ)

4. 高校生と企業を結ぶ合同企業説明会

- a. 開催日 令和6年3月19日
- b. 会場 さわやかアリーナ（袋井市総合体育館）
- c. 参加企業数 66社
- d. 参加学生数 219名
- e. 主催 磐田商工会議所・磐田市商工会・袋井商工会議所・浅羽町商工会
磐田市・袋井市

5. 助成金を活用した会員事業所人材確保支援事業（転職フェア）

a. 目的

継続的な企業活動・事業を行っていく上で、人材確保・育成に課題を抱える会員企業への自立的かつ継続的な人材確保支援として、より効果的な企業の人材確保に向けた取り組みを支援し、地域における若年層の定着・定住による地域創生を図る。

b. 内容

厚生労働省（静岡県労働局）の「雇用・労働働き方改革推進支援助成金（団体推進コース）」を活用し、人材確保に課題を抱える会員企業に対し、「マイナビ転職フェア浜松」への参加費補助や、転職求人募集サイト「マイナビ転職」への掲載料補助の支援を実施。

〔日 時〕 令和5年11月25日

〔場 所〕 アクトシティ浜松 展示イベントホール

〔支援内容〕 ①「マイナビ転職フェア浜松」へ磐田商工会議所会員事業所が出展し、社会人等を対象とした合同企業説明会へ参加（対面形式）
②転職求人情報サイト「マイナビ転職」へ求人情報掲載

〔対象企業〕 当所会員事業所10社

B 磐田中小企業支援センター事業

経営革新計画作成支援業務委託契約として次の事業を実施

1. 経営革新計画作成支援 5件
2. 経営革新計画作成に関する専門家派遣業務 9件
3. 経営革新を目指す中小企業を対象とした研修会業務 0件
4. 経営革新計画のフォローアップ調査に関する業務 22件
5. 経営革新計画のフォローアップに関する専門家派遣業務 0件

令和5年度中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画承認企業

NO.	事業所名	テーマ名
1	やまひち食品店	リサイクル可能なSDGsを実現した籠盛カゴの開発と販売
2	Healthcare Ecosystem(株)	遠隔用患者のバイタルデータ監視システムの開発
3	(株)クレスト・ジャパン	企業の防災倉庫管理のサブスクリプション型トータルサービスの開発と展開
4	(有)イマイ製作所	EV試作市場への参入
5	(株)松下工業	マイコンを利用した低コストIoTシステムの開発

※承認順

C 第24回ステップアップゼミナールの開催

開催時間 延11時間、参加者数 延142人、会場 ワークピア磐田

NO.	開催日	テーマ・講師	参加者数
1	4月3日	テーマ：新入社員の心構え「明日から使えるビジネスマナー」 講 師：話し方教室きいちご 元アナウンサー 海野くじら 氏	63名
2	4月25日	テーマ：ビジネスマナー講習会（基礎編） 講 師：Voice Clap 代表 太田まなみ 氏	19名
3	5月22日	テーマ：ビジネスマナー講習会（応用編） 講 師：フリーアナウンサー 内田順子 氏	14名

NO.	開催日	テーマ・講師	参加者数
4	8月23日	テーマ：脱マスク美容セミナー 講師：イメージアップスペシャリスト 青木美香 氏	16名
5	12月4日	テーマ：改正電子帳簿保存法対策セミナー 講師：税理士法人坂本&パートナー 所長 山尾秀則 氏	30名

D みんなで軽トラ市いわた☆駅前楽市

1. 開催実績 会場：磐田駅前商店街ジュビロード 時間：9:00～12:00

回数	開催日	台数	来場者数	総売上金額※	本部イベント
50	5月14日	94台	約6,000名	約233万円	母の日特別企画 ベン立て、キーホルダーワークショップ、スズキ自販×静岡ダイハツ車両展示イベント
51	9月10日	93台	約7,000名	約242万円	—
52	12月10日	91台	約10,000名	約446万円	しっぺい感謝祭、いわたぬくまるマーケット、消防車両展示
53	3月10日	93台	約10,000名	約463万円	年間スタンプラリー抽選会

※出店者アンケート結果

2. 委員会・協力団体名簿

No.	所 属	役 職	氏 名
1	やまひち食品店	代表幹事	山下貢史
2	炭火焼肉あくり	代表幹事	松井浩二
3	株式会社ほけんの匠浜松支店	代表幹事	元場健一
4	株式会社大進堂	代表幹事	山田典嗣
5	いなりや	委員	原川由光
6	本多屋	委員	大石敦也
7	電器堂株式会社	委員	山崎 誠
8	磐田二之宮郵便局	委員	鈴木康仁
9	磐田市経済観光課	委員	大野寛達
10	磐田市農林水産課	委員	高柳美月
11	磐田市産業政策課	委員	和田 裕
12	磐田商工会議所	事務局	藤田佳宏
13	磐田商工会議所	事務局	平野碧梨

3. 協力団体

No.	団体・事業所名	No.	団体・事業所名
1	浜松磐田信用金庫	5	静岡産業大学学友会
2	スズキ株式会社	6	磐田スポーツボランティアクラブ
3	ヤマハ発動機株式会社	7	中部電力パワーグリッド株式会社磐田営業所
4	磐田二之宮郵便局	8	ユニー株式会社 アピタ磐田店

4. 会議等活動

回数	開催日	内容	場所	出席者数
1	4月4日	第50回軽トラ市出店者決定	磐田商工会館	8名
2	4月11日	軽トラ市サイトについて	磐田商工会館	4名
3	4月25日	軽トラ市サイトについて	磐田商工会館	4名
4	6月19日	軽トラ市の今後の方向性について	磐田商工会館	9名
5	8月9日	第51回軽トラ市出店者決定	磐田商工会館	8名
6	9月8日	第51回軽トラ市事前準備	磐田商工会館	8名
7	11月7日	第52回軽トラ市出店者決定	磐田商工会館	9名
8	11月28日	第52回軽トラ市出店者説明会	ワークピア磐田	8名
9	12月8日	第52回軽トラ市事前準備	磐田商工会館	9名
10	12月14日	軽トラ市市長報告	磐田市役所	5名
11	1月16日	第53回軽トラ市について	磐田商工会館	9名
12	1月30日	第53回軽トラ市について	磐田商工会館	8名
13	2月6日	第53回軽トラ市出店者決定	磐田商工会館	8名
14	3月8日	第53回軽トラ市事前準備	磐田商工会館	8名

E 商工振興事業

1. 協力連携推進事業

開催日	内容	主催者
4月11日～10月13日	2023年度 静岡産業大学 宅地建物取引士講座 (磐田キャンパス)	静岡産業大学
4月29日	遠州大名行列・舞車	いわた大祭り実行委員会
6月1日～11月3日	2023磐田検定	磐田市観光協会
6月22日～1月25日	「レーザーによるものづくり」中核人材育成講座	光産業創成大学院大学
7月3日～2月17日	高校生『ものづくり・ことづくり』プランコンテスト 2023	静岡理工科大学・浜松市
7月3日～2月17日	2023年度 静岡産業大学 FP3級講座	静岡産業大学総合研究所
7月14日	スポーツ×地域創成地域企業と創る静岡県内スポーツの未来	(一社)ブレス浜松
7月19日～7月20日	第16回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2023	浜松いわた信用金庫
7月29日～7月30日	2023年度 磐田キャンパス 第25回パソコン講座	静岡産業大学 総合研究所
7月30日	山田邦子講演会「いつも心の中に微笑みを」	(公財)静岡県西部しんきん 地域振興財団
8月1日	「会議所ニュース」夏季特別号 紙上名刺交換会	日本商工会議所

開催日	内容	主催者
8月1日～9月16日	2023年度「ロボットアイデア甲子園」静岡西部大会	株式会社日本設計工業
9月1日～9日3日	第3回Startup Weekend磐田	静岡産業大学総合研究所
9月25日～12月5日	2023年度 静岡産業大学 MosExcel講座・MosWord講座	静岡産業大学総合研究所
11月14日	静岡理工科大学地域創成フォーラム	静岡理工科大学・静岡理工科大学産学コラボネット
11月5日	第30回蒼樹祭	静岡産業大学磐田キャンパス学友会
12月10日	第30回夢に追いかぜコンサートin磐田	浜松いわた信用金庫
12月24日	令和5年度宝くじドリームフェアドリーム・ベースボール	静岡県・磐田市・(一財)自治総合センター
1月1日	「会議所ニュース」新年号 紙上名刺交換会	日本商工会議所
2月1日	第11回HEPTコンソーシアムフォーラム	浜松市・組込みソフトウェア技術コンソーシアム・国立大学法人静岡大学
2月3日	劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」磐田公演	磐田文化振興会
2月22日～25日	令和5年度児童かきぞめ席書作品展	東海書道会
3月3日	2024磐田観光大使選考会	磐田市観光協会
3月6日	第28回ポリテクビジョンin浜松	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 静岡支部 東海職業能力開発大学校附属 浜松職業能力開発短期大学校

2. 活性化対策事業

開催日	内容
4月1日～3月31日	ジュビロ磐田スタジアム応援事業
4月29日	いわた大祭り『遠州大名行列舞車』
9月15日	赤い羽根共同募金協力に係る商工会議所連名挨拶状
11月18日	2024ジュビロ磐田カレンダー販促協力事業
11月19日	第26回ジュビロ磐田メモリアルマラソン
3月3日	2024磐田市観光大使協賛

F 経営安定特別相談事業

商工調停士の協力を得て、中小企業者のための経営安定特別事業を実施した。

1. スタッフ

①商工調停士 北川裕章氏、西畑隆久氏、坂下太一氏

2. 企業診断・経営指導

①前年(期)からの繰越 0件

②当期中の受付件数 6件

〔業種別〕		〔規模別〕		〔原因別〕	
製造業	0件	中小企業	0件	受注販売不振	6件
卸売業	0件	小規模企業	6件	既往のしわよせ	0件
小売業	0件	計	6件	その他	0件
建設業	0件	〔個人・法人別〕		計	6件
サービス業	6件	法人	6件		
その他	0件	個人	0件		
計	6件	計	6件		

〔指導・処理方法〕 新ビジネス展開、資金繰り改善他
 ③当期処理終結分 6件（危機回避 6件、来室なきため相談途絶 0件）
 ④次年（期）への繰越 0件

3. 連絡会議等

- ①相談室担当者研修会及び連絡会議
 第1回 9月22日 場所：沼津商工会議所
 第2回 2月9日 場所：伊東商工会議所

4. その他専門家派遣事業

- ①旧金融円滑化相談関連事業 延べ6件
 ②小規模企業ビジネスパワーアップ支援事業 延べ0件

G 磐田税務連絡協議会

納税思想の高揚を図り、広報、PRなど啓蒙宣伝に関する事業を実施した。

会長 大場謙二（東海税理士会磐田支部 支部長）

会員数 9団体

1. 会議

開催日	内容	場所	出席者数
6月16日	総会 令和4年度事業報告・決算報告令和5年度事業計画 他	浜松磐田信用金庫 あいホール	21名
8月31日	定例会 令和5年度「税を考える週間」行事について	ワークピア磐田	22名
10月19日	定例会 令和5年度「税を考える週間」行事について	磐田商工会館	19名
2月1日	定例会 令和5年確定申告期事業について	磐田商工会館	23名

2. 広報・PR事業

- ①電柱・消火栓標識による広報・PR
 ②各会員団体の広報事業の活用

3. 納税思想の高揚等に関する事業

- ①「税を考える週間」事業における広報活動の実施
 ・税に関する作品表彰式による広報活動
 ・ジュビロ磐田ホームゲームでの横断幕パレード
 ・遠鉄バス・電車「ストリーマー」広告
 ②その他会の目的に沿った事業の実施
 ・確定申告期における広報PR活動の実施遠鉄バス・電車「ストリーマー」広告
 ・租税教育推進協議会への協力

H ジュビロ磐田ホームタウン推進協議会

磐田地域を核として周辺地域との連携を図りながら、地域に根ざしたスポーツ文化を創り上げ、全国へ情報発信し、地域の誇りを生み、地域を活性化し、次代を担う子どもたちの夢を育てることを目的とした事業を実施した。

会 長 高橋一良 (NPO法人磐田市スポーツ協会 会長)

副会長 鈴木裕司 (磐田商工会議所 会頭) 深田研典 (自治会連合会 会長)

団体数 25団体

1. 会議

回数	開催日	内 容	場 所	出席者数
1	5月9日	アシストクラブ	磐田商工会館	11名
2	5月30日	令和5年度総会	ワークピア	27名
回数	開催日	内 容	場 所	出席者数
3	8月22日	アシストクラブ	茶間亭	13名
4	9月12日	アシストクラブ	磐田商工会館	6名
5	10月11日	アシストクラブ	磐田商工会館	6名

2. 事業

ジュビロ磐田ホームタウン推進に関する似顔絵コンテスト、ジュビロ磐田応援事業の実施

回数	開催日	内 容	場 所	出席者数
1	5月13日	ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦応援フラッグアトラクション	ヤマハスタジアム	6名
2	7月15日 ～9月4日	似顔絵コンテスト作品募集 (370点応募)	—	—
3	9月19日	似顔絵コンテスト審査会	磐田商工会館	17名
4	10月28日	似顔絵コンテスト表彰式	ヤマハスタジアム	4名
5	11月28日	ジュビロくんお誕生日デコレーションイベント	磐田なかよしこども園	—

I 2023磐田U-12国際サッカー大会実行委員会への参画

ジュビロ磐田のホームタウンである磐田市に、4年ぶりに海外チームを招聘し、国内外のU-12世代の少年を対象とした国際大会を実施した。磐田市、(株)ジュビロ、NPO法人磐田市スポーツ協会等で構成する大会実行委員会に参画し、地域・市民・企業の協力を得て磐田市の誇れる魅力を多いに発信することができた。

1. 大会期間 令和5年7月27日～7月30日(4日間)

2. 参加チーム 海外3チーム 国内9チーム

3. 優勝チーム ムアントンユナイテッドアカデミー

J 静岡SSUボニータ応援プレゼンター事業

女子サッカーなでしこチャレンジリーグで活躍中の静岡SSUボニータの応援事業として試合開始前に、両チーム及び審判に磐田商工会議所より花束を贈呈した。本事業により、静岡SSUボニータが磐田の誇れる宝であることを発信し、地域とともに支援することで、活気ある地域を創造し、郷土愛の醸成を図ることができた。（全11回）

K 静岡ブルーレヴズ応援事業

会員企業の中に地元プロスポーツチームである静岡ブルーレヴズを活用した販促促進や企業PRを希望する声があり、当所が窓口となって連携事業を実施した。メディアへの発信もあわせて行い、事業及び知名度の向上に繋げることができた。

1. リーグ開幕戦激励会
開催日 令和5年11月21日
会場 大久保グランド
参加企業 会員25社
2. 企業マッチング事業
参加企業 会員 3社（お茶のかねまつ、特定非営利活動法人福茶会、ICGIGIYA）

L 農福連携事業(いちご玉露)

会員事業所のお茶のかねまつ、特定非営利活動法人福茶会、ICGIGIYAが農作業に携わる障がいを持つ方の賃金向上を図るため、磐田茶と磐田産イチゴを活用した六次産業化商品を企画開発・販売した。

今年度は、障がい者支援や地産地消に乗り出していた静岡ブルーレヴズと協力し、試合会場での販売や製品のPRなどを行った。

回数	開催日	場所
1	6月25日	天竜愛俱里ふぁーむ碾茶工場、お茶のかねまつ 角打ち茶屋
2	12月17日	ヤマハスタジアム
3	1月27日	ヤマハスタジアム
4	3月2日	ヤマハスタジアム
5	3月10日	みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市
6	3月23日	エコパスタジアム

M いわたまちめぐりゼミナール事業

商店主が講座を企画し講師となり、専門知識やプロだから知るコツを受講者（市民）に無料で教えるミニ講座の開催

回数	開催期間	参加店舗	講座数	参加者数
第18回	7月15日～8月31日	37	84	359
第19回	2月5日～3月24日	37	168	323

協力団体 磐田市商店会連盟

N 磐田日華友好親善交流協会

経済のグローバル化に伴い、地区内の中小企業者も事業機会の拡大を図るため、台湾での事業展開を模索する事業者を支援する事を目的に設立。会員同士の交流や資質向上を図るとともに、静岡県台湾駐在員事務所の協力のもと台湾企業をはじめ幅広い交流を深め、新たなビジネスチャンスの機会創出を図っていく。

1. 会 員 27社
2. 会 長 三ツ谷金秋（磐田市商工会長）
3. 関係団体 磐田商工会議所・磐田市商工会・磐田市
4. 視察事業 9月21日台北駐日経済文化代表処横浜分処へ訪問（会頭、専務理事他）

O 磐田地区総務担当者連絡会事業

磐田地区大手企業の総務担当者による、情報交換及び連携事業
 会 長 名波篤（NTN(株)磐田製作所）
 企業数 11社

回数	開催日	内容	会場	出席者数
1	4月20日	定時総会	磐田商工会館	10名
2	5月16日	令和5年度磐田市の施策について 磐田市経済産業部長 鈴木一洋氏	磐田商工会館	8名
3	6月22日	運送業と建設業の2024年問題について 磐田労働基準監督署 第2方面主任監査官 尾藤秀行氏	磐田商工会館	8名
4	7月26日	カーボンニュートラルの取組 株式会社丸源竹内組 代表取締役 竹内隆介氏	磐田商工会館	7名
5	8月24日	労働安全衛生法の改正について 社会保険労務士法人大杉労務管理事務所 所長 飯田修司氏	磐田商工会館	8名
6	9月26日	どうする家康ゆかりの地～中泉・御殿～ 磐田市教育委員会教育部 歴史文書館 佐藤清隆氏	ワークピア磐田	5名
7	10月19日	労働供給制約時代の人材確保戦略 株式会社就職情報センター 山田千夏子氏	磐田商工会館	7名
8	11月10日	視察会 産業振興フェア in いわた 「企業家が語る新事業創成とその支援策」	アミューズ豊田	6名
9	12月5日	生成系AIの時代と中小企業 一般財団法人静岡県経済研究所 特任研究員 阪口瀬理奈氏	ワークピア磐田	4名
10	1月25日	新年情報交換会	辰味家	7名
11	2月21日	2024年に施行される労務関係の法改正について 社会保険労務士法人ひらのローム 社会保険労務士 平野達彦氏	磐田商工会館	8名

回数	開催日	内容	会場	出席者数
12	3月21日	防災セミナー「製造業の防災対策」 株式会社クレスト・ジャパン 代表取締役 西片太郎氏	磐田商工会館	8名

P しずおか子育て優待カード協賛事業

しずおか子育て優待カード事業に積極的に取り組み、実施・協賛加盟店の募集と勧誘、事業のPRを実施し、継続して本事業の推進に協力した。

- ・協賛事業所数 296事業所

Q 労働保険事務組合事業

事業主に代わって公共職業安定所、労働基準監督署などへの事務手続き（①概算保険料・確定保険料などの申告及び納付 ②保険関係成立届、雇用保険の事業所設置届の提出 ③労働保険の特別加入申請書 ④雇用保険の被保険者に関する届け出等）、相談・指導を行った。

1. 事務事業所数 134（内4年度新規分 6件）
2. 対象従業員数 912（内4年度新規分 42人）
3. 労働災害共済 9

R 公害健康被害補償汚染負荷量賦課金委託業務事業

1. 委託事業所数 45件（磐田市 17件、袋井市 7件、掛川市 12件、森町 2件、浜松市 1件、御前崎市 4件、菊川市 2件）
2. 申告状況 45事業所 17,125千円

S 容器包装リサイクル法事業

1. 対象事業所数 25件
2. 契約締結件数 3件

(3)磐田商工会議所会館建設事業

平成29年度に会員企業からなる磐田産業会館建設検討委員会が発足し、新会館建設について議論を始めた。令和5年度には、磐田商工会議所会館建設推進委員会となり、豊かな地域づくりと更なる地域産業振興を図る為の新たな商工会議所会館として、「まちと人をつなぐ開かれた商工会議所」をテーマとし、新会館の1階部分には「交流スペース」を設置し、営業時間も週2日は2時間延長する事で、多くの会員企業や市民の方が利用できるようにした。

また、新会館サインデザインについても地域の人々のシンボルとして、長く愛される会館を目指し、磐田市の歴史的建造物にみられるようなディティールをモチーフにしたサインへ刷新した。

A 磐田商工会議所会館

1. 建築工事期間 令和5年6月15日～令和6年3月29日
2. 延べ床面積 1299.61㎡（1階 670.43㎡ 2階 629.18㎡）
3. 総建築費用 約435,000,000円
4. 補助金 100,000,000円（静岡県及び磐田市より）
5. 協力金 約71,700,000円 333社（令和6年3月末現在）
6. 設計者 株式会社渡辺隆建築設計事務所
7. 施工者 石川建設株式会社

B 起工式/安全祈願祭

1. 開催日 令和5年8月1日
2. 参加者人数 106名

C 上棟式

1. 開催日 令和5年12月12日
2. 参加者 15名

D 磐田商工会議所会館建設推進委員会

会員企業だけでなく多くの人に利用してもらえるように新会館の機能や活用について、他施設への視察等を含め計3回開催した。また、建設費用高騰等により募集を行った建設協力金について検討をした。

E 磐田商工会議所会館建設 定例工程会議

1. 参加者
株式会社渡辺隆建築設計事務所、株式会社後藤周平建築設計事務所、石川建設株式会社、前島電気株式会社、株式会社永井設備商会、磐田商工会議所
2. 主な検討内容
マスター工程表、工事に伴う騒音・振動の近隣住宅への対応、外壁・デッキ材選定
造作家具（県産材使用）、新しい会議所サイン・看板類、フロアマップ等について
3. 開催回数 33回（7月13日～3月27日）

(4)意見活動

A令和6年度県行政に関する要望

1. 提出先 静岡県知事

2. 提出日 令和5年10月12日

地域経済の発展と小規模事業者の円滑な事業運営に資するため、各種補助金の確保やまちづくり、インフラ整備など以下の事項を要望した。

①パートナーシップ構築宣言の実効性向上

本制度の周知と未宣言企業への働きかけ、宣言企業への優遇措置・補助金等を要望する。

【県回答】引き続き県のホームページや各種会議等を通じて、制度の周知を図っていく。

②建設業の担い手確保・育成等に係る施策の新設

建設業への入職や定着の促進、人材確保・育成等に係る各種支援策を要望する。

【県回答】若年層を対象とした業界イメージアップ、定着促進のため各種事業を進めていく。

③市街化調整区域の再検討

区域の再検討、有効的な土地利用、人口増加や積極的な企業誘致を要望する。

【県回答】市と連携を図りながら、適時適切に見直し・検討をしていく。

B 令和6年度市行政に関する要望

1. 提出先 磐田市長

2. 提出日 令和5年10月13日

中小企業、並びに小規模事業者の支援を図るべく、産業振興をはじめ、地域・観光振興策の充実など、以下の事項を要望した。

①中小企業者向け各種補助金・金融支援策の拡充について

企業ニーズ並びに時代に即した市独自の補助金制度・金融支援策を要望する。

【市回答】国・県と連携を図りながら、申請条件の緩和・メニューの拡充に取り組んでいく。

②新たな賑わい創出と推進に向けた観光施策の立案について

街中の賑わい・市内の観光流入を図るべく、イベントの拡充等の観光振興策を要望する。

【市回答】引き続き、観光協会とも連携し、市内への誘客・観光支援策を進めていく。

③市街化調整区域の再検討について

区域の再検討、有効的な土地利用、人口増加や積極的な企業誘致を要望する。

【市回答】本市に必要な土地利用規制の緩和に向け、国や県に積極的に働きかけていく。

④外国人労働者向け空き家・空き室の利活用促進に向けた新制度の創設について

外国人労働者の居住に必要な居住支援やセーフティネット制度の創設を要望する。

【市回答】空き家と外国人労働者がマッチングできる各種支援策を検討していきたい。

(5)調査研究事業

A 広報

1. 定期刊行 磐田商工会議所会報「磐田CHAMBER NEWS」

奇数月15日発行 1,600部 A4冊子 8頁

(全会員並びに各地商工会議所・諸官庁・関係団体へ郵送)

2. 会員現状調査及び会員名簿の刊行
(全会員対象、毎年1月1日現在の状況を調査)
3. 事業計画書、事業報告書作成
4. 日本商工会議所発行「会議所ニュース」役員配布
5. 日本商工会議所所報サービス「石垣」購読
6. SNS活用事業

種類		フォロワー数	
Instagram		1,691	(1,502)
内 訳	磐田商工会議所	1,244	(1,101)
	広報宣伝部	447	(401)
LINE公式アカウント		157	(128)

※()内令和4年度

B LOBO調査(毎月1回実施、対象8業種)

調査項目は業況、売り上げ、採算、仕入れ単価、従業員の状況等で調査対象数は338商工会議所、2,700企業、業種組合等

全産業業況D I の推移

	令和5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全国	△ 11.1	△6.2	△8.9	△9.8	△8.9	△9.0	△10.5	△9.7	△8.4
当地区	△ 12.6	△3.7	△6.3	△5.4	△4.7	△2.9	△8.9	△3.7	△3.7

	令和6年 1月	2月	3月	先行き見通し 4月～6月
全国	△ 11.4	△12.9	△12.9	△12.2
当地区	△ 6.4	△9.6	△12.5	△14.4

(6) 商工技術普及・人材育成支援事業

A 簿記検定試験

回数	施行日	人数	1級	2級	3級	合計
164 回	6月11日	受験者数	7	24	27	58
		合格者数	2	2	15	19
165 回	11月19日	受験者数	5	8	27	40
		合格者数	0	1	14	15
166 回	2月25日	受験者数	/	7	22	29
		合格者数		0	8	8

B 珠算検定試験

回数	施行日	人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
228回	6月25日	受験者数	20	14	24	3	0	1	62
		合格者数	6	6	10	1	1	0	24
229回	10月23日	受験者数	10	14	21	0	2	0	47
		合格者数	5	7	13	0	1	0	26
230回	2月11日	受験者数	7	21	16	2	0	2	48
		合格者数	3	11	11	2	0	2	29

C 珠算段位認定試験

回数	施行日	受験者数	認定者数
138回	6月25日	28名	18名
139回	10月23日	23名	16名
140回	2月11日	28名	18名

D そろばんコンクール2023磐田地区大会

開催日 令和5年12月16日
 会場 磐田商工会館 3階大ホール
 参加者数 83名

E 日商PC検定試験

開催日 随時
 会場 磐田商工会館パソコン教室

内容	級	受験者数	合格者数	内容	級	受験者数	合格者数
簿記	2級	5	3	データ活用	2級	1	1
	3級	7	5		3級	9	7
	初級	2	2		Basic	3	2
原価計算	初級	0	0	プレゼン資料作成	2級	0	0
文書作成	2級	0	0		3級	3	3
	3級	4	3	プログラミング		3	2
	Basic	2	2	リテールマーケティング	3級	2	0
電子会計	2級	1	1	ビジネス英語		1	0
実務	3級	0	0	合計		43	31

F 東京商工会議所検定

開催日 随時
会場 東商検定C B T会場

内容	級	受験者数	合格者数	内容	受験者数	合格者数
福祉住環境 コーディネーター	2級	15	6	環境社会 (eco)	18	10
	3級	4	2	カラーコー ディネーター	18	12
ビジネス法務	2級	6	3	B A T I C (国際会計)	0	0
	3級	10	4	ビジネス マネジャー	7	2
合計					78	39

G 磐田商工会議所パソコン講座業務委託

- 生徒数 98名
- 受講者数 延べ 10,634名
- 委託先 株式会社ミライフ
- 受付時間 平日 9時～18時
- 内容 ワード・エクセル・パワーポイント・日商PC検定・弥生会計講座 他

(7)証明

A 貿易証明

原産地証明	インボイス証明	サイン証明	その他	合計
1,115件	17件	49件	2件	1,183件

原産地証明 品目・地域別内訳

品名 国名(地域)	輸送用機器	金属及び 金属製品	その他	合計
アジア	989	85	53	1,183
バングラデシュ	1	0		
中国(香港含む)	916	52	27	
インド	40	0	4	
インドネシア	2	0	5	
韓国	5	22	8	
マレーシア	2	0		
台湾	9	10		
ベトナム	3	1	1	
シンガポール	1	0	6	
その他	10	0	2	

品名 国名（地域）	輸送用機器	金属及び 金属製品	その他	合計
中近東	7	0	0	
クウェート	3	0	0	
トルコ	0	0	0	
アラブ首長国連邦	0	0	0	
その他	4	0	0	
アフリカ	21	0	0	
エジプト	2	0	0	
南アフリカ	2	0	0	
その他	17	0	0	
ヨーロッパ	14	0	5	
ドイツ	10	0	0	
オランダ	0	0	0	
ロシア	0	0	0	
フランス	0	0	0	
イタリア	0	0	2	
イギリス	2	0	3	
その他	2	0	0	
北米	0	0	4	
カナダ	0	0	0	
アメリカ	0	0	4	
中南米	5	0	0	
メキシコ	0	0	0	
チリ	0	0	0	
その他	5	0	0	
合計	1,036	85	62	1,183

(8) 共済等事業

	契約事業所数	加入口数	加入者数	備考
生命共済加入状況	97 (99)	415 (377)	265 (236)	
特定退職金共済	54 (56)	293 (308)	—	
小規模企業共済	—	—	229 (223)	新規:6件
中小企業倒産防止共済	—	—	32 (30)	新規:2件
火災共済等	11 (10)	—	—	
中小企業PL保険	0 (0)	—	—	

	契約事業所数	加入口数	加入者数	備考
休業補償制度	—	—	14 (15)	
損害保険等	—	—	90 (88)	
業務災害補償プラン	—	—	132 (132)	

※()内令和4年度までの累計

(9) 会員事業所向け生活習慣病検診事業

A ミニドック

- 開催日 令和5年5月16日～令和6年3月31日新都市病院予防健診センター
- 会場 新都市病院予防検診センター

検診項目	受診人数	検診項目	受診人数
ミニドック	88	前立腺検査	23
胸部X線	54	視触診+乳房超音波	4
胃部X線	8	視触診+マンモグラフィ	5
胃部内視鏡	12	C型肝炎検査	9
腹部超音波	35	子宮がん検査	6
骨密度検診	8	合計	252

B PETがん検診

- 開催日 令和5年5月16日～令和6年3月31日
- 会場 (一社) 浜松光医学財団 浜松PET診断センター

検診項目	受診人数
PETがん検診	3
抗加齢オプション	1
脳オプション	5

(10) 各種行事

A いわた夏祭inジュビロード

- 開催日時 令和5年7月22日 16時00分～20時30分
(交通規制時間 15時00分～21時00分)
- 開催会場 磐田駅前商店街(ジュビロード一帯 天平のまち～電器堂(株))
- 来場者数 約45,000人
- 開催内容 ゆかたまつり大抽選会、夜店市、テント・移動販売車での物品販売、静岡県警音楽隊・磐田東高等学校吹奏楽部演奏、静岡県警車両・消防車両展・磐田ドリームプロジェクト号の展示、静岡ブルーレブスラグビー体験コーナー他

5. 実行委員会名簿

役 職	氏 名
実行委員長	名 倉 安 洋
副実行委員長	大 橋 眞 吾
副実行委員長	川 嶋 浩
実行委員	山 崎 誠
実行委員	高 梨 謙 太 郎
実行委員	鈴 木 良 宜
実行委員	山 下 貢 史
実行委員	松 井 浩 二
実行委員	大 石 敦 也
実行委員	加 藤 正 明
実行委員	小 栗 眞
実行委員	小 柳 貴 臣
顧 問	青 島 公 悦
顧 問	大 石 徹
オブザーバー	大 石 光 孝
事 務 局	芥 川 武 佐 志

6. 実行委員会開催日

開催日	内容
2月24日	①開催日の決定 ②協賛金の分担 ③イベント内容について
3月23日	①ポスターデザインについて ②協賛金の中間報告 ③ポスターデザインの決定
4月20日	①出店者募集について ②各エリアイベントの内容決定について ③ポスターデザインについて
5月25日	①イベント内容の確認 ②協賛金の中間報告 ③ポスターの決定
6月27日	①備品の配置調整 ②交通規制予告看板設置について ③各エリアのイベント内容決定 ④チラシの校正
7月13日	①チラシの完成 ②備品の最終確認 ③交通規制担当者の配置について ④当日のタイムスケジュール確認

開催日	内容
7月19日	①最終確認 ②備品の確認
8月3日	最終確認

B 見付あきんど組

全国各地の商店街は売上減少・高齢化問題に悩まされ低迷している。しかし、地域の交流の場・子供達の教育の場・「まち」を形成する核としての役割を果たしている。特に歴史的にも重要な見付という「まち」は磐田にとって大切な地域であり、その重要な場所に人通りを増やし活気ある「まち」とする為、各商店会の有志が集まり「あきんど組」を組織し、協議を重ね事業展開している。

1. 令和5年度加盟店舗数 41店舗

2. 役員会

- ・開催日時 毎月第1土曜日 19時00分～21時00分
- ・会場 宿町憩の家
- ・協議内容 重点事業・販促事業について
- ・参加者名簿

No.	店名	氏名
1	リビングショップとばのや（見付あきんど組会長）	戸塚佳信
2	やまひち食品店（磐田市商店会連盟会長）	山下貢史
3	株トバノヤ（見付本通商店街会長）	戸塚幸宏
4	高桑時計店（宿栄会会長）	高栗善美
5	有）フィラメント（じゅびら商店会会長）	金子貴正
6	キレートたねも	種茂清司
7	八百庄	梅葉龍次
8	スズヨシ	鈴木偉之
9	株大橋商店	大橋 剛
10	イサーム（あきんど組事務局）	清水 勇

3. 重点事業

- ・あきんどの日 しっぺいグッズを用いた販売促進（年12回開催）
- ・ブルーレヴズ応援フラッグ・ポスターの設置
- ・富士山の絵コンテスト
- ・いわた商店街de宝くじキャンペーンの参加

4. 継続事業

- ・ジュビロ磐田応援フラッグ
- ・町の特色を活かした地域づくり「かぼちゃ食堂」の開催（於：平成磐田文庫）
- ・見付写生大会の作品展示協力
- ・見付風鈴市としっぺい太郎の卓鈴 [7月15日～31日]
- ・御命講

5. 協力

- ・磐田の徳川財宝伝（磐田市観光協会）
- ・[富士山の日]周知（静岡県スポーツ・文化観光部富士山世界遺産課）

- ・空き店舗調査(磐田市)

C 第31回会頭杯親睦ゴルフコンペ

青年部会OB会に協力いただき、多くの参加者を得て開催した。会員相互の親睦を深めることが出来た。

1. 実施日 令和5年10月18日
2. 場 所 浜松シーサイドゴルフクラブ
3. 参加者 61名
4. 優 勝 水野雅之氏(はましんリース株式会社)

D 磐田市津波対策事業基金推進連絡会

1. 目的

南海トラフ地震による巨大津波への減災対策としての海岸防潮堤整備を進めるにあたり、市民、産業などの関係機関や団体、行政が連携した「オール磐田」の体制で、磐田市津波対策事業基金設立の趣旨を市民に周知するとともに、寄付等への機運の醸成を図ることを目的とする。

2. 構成団体

- ・磐田市自治会連合会
- ・磐田市
- ・遠州中央農業協同組合
- ・磐田商工会議所
- ・磐田市商工会

E 2023いわた夏まつり花火大会

磐田市商工会との共催。密を避けるために、会場を分散化し市内5カ所で打ち上げを実施。各会場にて小規模なイベントを実施し、観光施策の側面も取り入れ市内に波及効果のある取り組みとした。

1. 実施日 令和5年8月26日
2. 場 所 市内5カ所

地区	会場	イベント	打ち上げ時間
磐田	ららぽーと磐田 屋上駐車場	ららぽで花火と軽トラ市	19：30～
福田	はまぼう公園	夜店	19：30～
竜洋	竜洋海洋公園	いわた夏まつりマルシェ	19：30～
豊田	池田の渡し公園	光るブレスレット配布	19：45～
豊岡	天竜川ラブリバー公園	—	19：55～

(11)経営改善普及事業

A 経営指導の巡回相談・窓口相談

指導内容		業種							小計	創業	合計
		製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他				
巡回指導	指導企業数	97	162	173	7	230	103	772	10	782	
	経営革新	6	0	0	1	0	3	10	0	10	
	経営一般	92	112	143	7	176	66	596	9	605	
	情報化	0	0	1	0	1	0	2	0	2	
	金融	1	1	0	0	8	1	11	0	11	
	税務	1	0	4	0	7	0	12	0	12	
	労働	1	5	2	0	0	0	8	0	8	
	取引	2	0	2	0	0	2	6	0	6	
	環境対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	24	60	61	2	72	49	268	3	271	
	合計	127	178	213	10	264	121	(299) 913	12	(306) 925	
窓口・通信・電話等	指導企業数	135	1,003	147	5	195	125	1,610	27	1,637	
	経営革新	5	0	7	0	1	0	13	0	13	
	経営一般	54	65	184	3	110	55	471	10	481	
	情報化	2	1	4	0	0	0	7	0	7	
	金融	20	3	25	1	40	22	111	1	112	
	税務	7	57	21	0	68	48	201	15	216	
	労働	3	10	2	0	5	8	28	0	28	
	取引	0	0	1	0	1	0	2	0	2	
	環境対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	131	38	65	2	94	44	374	5	379	
	合計	222	174	309	6	319	177	(173) 1,207	31	(197) 1,238	

() 内非会員

B 商工振興委員制度の推進

1. 商工振興委員の氏名及び担当地域（11名）

氏名	担当地域	氏名	担当地域
大杉良則	笠梅、匂坂、寺谷	山下貢史	東町、七軒町、西町、栄町、久保町、中町、中央町
青島孝三	向笠、篠原、藤上原、大久保	磯田達彦	御殿、岡田、大原、大泉町、大之郷
松下公彦	城之崎、田原地区(※1)、岩井、東大久保、安久路	原川由光	天竜、西新町、坂上町、石原町、国府台
清水勇	宿町、二番町、地脇町、元宮町、元天神町、美登里町、北見町、東坂町、住吉町、権現町、富士見町	宮地浩	二之宮、大和田、今之浦、鳥之瀬
横井計昭	新通町、一番町、中川町、清水町、元倉町、天王町、西坂町、幸町、梅屋町、馬場町、河原町、加茂川通	八木久高	御厨・南御厨地(※2)、西貝塚、西之島
		白井正則	長野地区(※3)、豊島、北島、千手堂、万正寺、浜部、中野

(※1)田原地区・・・玉越・彦島・西島・明ヶ島・三ヶ野

(※2)御厨・南御厨地区・・・新貝・鎌田・東貝塚・稗原・大立野・東脇・新出・和口

(※3)長野地区・・・前野・長須賀・草崎・新島・白拍子・野箱・小島・鮫島・刑部島

2. 商工振興委員の相談取扱件数

区分	金融	税務	経理	経営	労働	取引	創業	その他	訪問配布	合計
巡回	35	251	49	274	33	52	8	204	82	988
窓口	43	77	42	190	27	64	27	90		560
合計	78	328	91	464	60	116	35	294	82	1548

3. 連絡会議及び情報交換

第1回 1. 開催日 令和5年5月29日

2. 場所 ワークピア磐田

3. 出席者 7名

4. 内容 ①令和5年度商工振興委員委嘱について
②令和5年度中小企業相談所事業計画について
③勉強会 磐田市の都市計画について

第2回 1. 開催日 令和6年2月19日

2. 場所 磐田商工会館

3. 出席者 11名

4. 内容 ①中小企業相談所事業及び動向報告について
②海外進出実践セミナー(輸出・輸入)初級編

C 集団指導・個別指導

1. 集団指導・個別指導の回数及び人員

	指導企業数		経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	その他	計
			回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
集団	企業	回数	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5
	42	人員	-	142	-	-	-	-	-	-	-	142
個別	企業	回数	-	24	-	24	22	-	-	-	6	76
	113	人員	-	13	-	24	71	-	-	-	10	118

2. 定例個別指導の内容

相談会名	開催日時	相談員	相談件数
金融相談	毎月 10 日	日本政策金融公庫浜松支店 国民生活事業	23
	13:00～15:00		
金融相談	毎月 20 日	静岡県信用保証協会 浜松支店	1
	10:00～12:00		
法律相談	隔月奇数月第 3 木曜日	石塚尚 弁護士	10
	13:00～16:00		
記帳指導・税務相談	後半第 2 木曜日	東海税理士会 磐田支部会員	11
	13:00～16:00		
事業承継相談 (静岡県事業引継ぎ支援センター)	毎月第 2 火曜日	小西兼幸コーディネーター 中小企業診断士	10
	9:00～16:00		
不動産相談	毎月第 2 水曜日	浅野真人 不動産鑑定士	3
	10:00～12:00		

D 施策普及用作成資料

内容	規格	作成部数	主な配布方法
小規模事業者向け利用 PR チラシ	A4 版 両面刷	1,000 部	<ul style="list-style-type: none"> ・会員事業所へ郵送 ・小規模事業者等へ窓口配布 ・巡回相談時に配布

E 金融の斡旋

区分		斡旋	貸付決定延べ件数			斡旋総額		
		延べ 件数	設備	運転	計	設備	運転	計
日本政策金融公庫	一般貸付	件 5	件 1	件 3	件 4	千円 23,700	千円 40,000	千円 63,700
	マル経融資	11	7	8	15	23,400	31,500	54,900
	環境改善資金等	0	0	0	0	0	0	0
	新創業融資	0	0	0	0	0	0	0
合計		16	8	11	19	47,100	71,500	118,600

区分		貸付決定総額			貸付額	
		設備	運転	計	最高	最低
日本政策金融公庫	一般貸付	千円 11,900	千円 40,000	千円 51,900	千円 40,000	千円 1,900
	マル経融資	23,400	31,500	54,900	10,000	1,400
	環境改善資金等	0	0	0	0	0
	新創業融資	0	0	0	0	0
合計		35,300	71,500	106,800	-----	-----

F 小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の斡旋

1. 審査額 54,900千円
2. 審査件数 11件
3. 場所 磐田商工会館役員室
4. 審査会

回数	開催日	出席 委員数	件数	回数	開催日	出席 委員数	件数
1	4月18日	6	3	4	8月9日	4	1
2	5月25日	4	2	5	10月17日	5	3
3	6月20日	5	1	6	11月17日	6	1

G 青色申告決算書・所得税及び消費税確定申告書作成個別相談

1. 場所 磐田商工会館
2. 開催日 令和6年2月1日～3月27日 延べ33日間
3. 開催時間 9時～16時

4. 相談件数

業種	製造	建設	小売	卸売	サービス	その他	計
事業所数	5	24	14	3	42	9	97

5. 相談内容

記帳	決算	所得税	消費税	その他	計
19	73	89	30	2	213

H 制度改正等の課題解決環境整備事業

【個別相談会】

1. 場 所 磐田商工会館
2. 開 催 日 9月～12月 延べ16日間
3. 相 談 員 当所会員 中小企業診断士・税理士・経営コンサルタント
4. 相談件数 32件
5. 相談内容 補助金や助成金の申請・活用、各種支援施策の活用、資金繰り改善、経営改善、経営計画策定、税制度、労務管理、デジタル化導入相談等

【セミナー】

1. 場 所 磐田商工会館
2. 開 催 日 8月3日、8月30日
3. テ ー マ 「コロナ融資返済猶予のための経営行動計画セミナー」
 1. 経営行動計画書の概要と経営行動計画書の説明
 2. 経営計画策定のエッセンス
4. 講 師 マーケティング経営研究所 代表 西畑隆久氏
5. 参加者 延べ 17名

I 事業環境変化対応型支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業・小規模事業者への経営相談や各種申請支援等の対応を行うため、経営なんでも個別相談会を開催した。

1. 場 所 磐田商工会館
2. 開 催 日 4月～12月 延べ35日間
3. 相 談 員 当所会員 中小企業診断士・税理士・経営コンサルタント
4. 相談件数 82件

J 小規模事業者持続化補助金 令和元年度補正【令和5年度実施分】

<一般型> ※5回実施

1. 申請件数 32件
2. 採択件数 10件

K 令和5年度小規模企業経営力向上事業費補助金※3回実施

1. 申請件数 22件
2. 採択件数 16件

L 専門家派遣事業(いわサポ)

1. 目的
中小・小規模事業者の「事業計画の策定や磨き上げ」、「補助金申請におけるブラッシュアップ」他、各種経営課題の解決に向けて専門家派遣により支援をした。
2. 支援実績 16社 延べ33回

M 商工会議所事業周知に対するDMチラシの発行

パソコンやスマートフォンを保有していない層も一定数有ることから、各種支援策を会員事業所及び市内商工業者へDMチラシにより届けた。

(12)職員資質向上事業

A 職員資質向上研修

会員満足度向上に繋がられるよう、職員の知識や資質向上を目的として実施

開催日	内容	場所
6月26日	『これから始めるChatGPT！超初心者向け入門講座』 ソフィアブレイン 代表 小宮山真吾 氏	掛川商工会議所
7月18日	『広報誌やSNSに活用するための効果的な写真の撮り方講座』 ハッピーグラフ 代表&フォトグラファー 大西桂介 氏	磐田商工会館
11月28日	『動画制作と活用方法について』 &ANQER 杉山明 氏	磐田商工会館
12月19日 20日	『日本商工会議所会員増強研修会』 ブラフマン・アンド・エス(株)東北支社 コンサルタント 伊藤広康 氏	袋井商工会議所
1月10日	『静岡県経済の展望と静岡銀行の取組み』 静岡銀行 頭取 八木稔 氏 『日本経済の成長に向けた課題』 (株)日本経済研究所 理事長 翁百合 氏	えんてつホール

B その他出席研修等

開催日	内 容	場 所
4月6日	小規模企業詳細等オンライン手続き説明会	オン ラ イ ン
4月27日	TOAS 研修会 28 日迄	東 京 都
4月27日	2023 年度検定事業説明会	オン ラ イ ン
6月23日	経営安定特別相談事業研修会	オン ラ イ ン
6月26日	ChatGPT 入門講座	掛 川 市

開催日	内 容	場 所
7月10日	令和5年度指導員研修会(一般コース)11日迄	静岡 岡 市
7月18日	職員力向上セミナー	磐田 商 工 会 館
7月19日	第16回ビジネスマ칭ングフェア	浜 松 市
7月19日	TECH BEAT 2023 Shizuoka	静 岡 市
7月21日	商工会議所デジタル化に向けた情報交換会&デジタルツール展示会	東 京 都
7月25日	デジタル化推進要員研修会 27日迄	静 岡 市
8月3日	商工会議所会報編集担当者研修会 4日迄	東 京 都
8月16日	経営指導員研修会(一般コース)	静 岡 市
8月23日	㈱えんむすび特別セミナー「マスコミ取材で会社の経営課題を解決」	浜 松 市
9月21日	専門スタッフ研修会【特別(基本)コース】 22日迄	静 岡 市
9月22日	経営安定特別相談室担当者会議及び研修会	沼 津 市
9月26日	中小企業支援担当者等専門研修伴走型支援のためのロジカルシンキング(28日迄)	東 京 都
10月4日	商工会議所経理担当者研修会[中級・管理職等向け] 6日迄	東 京 都
10月5日	令和5年度専門スタッフ研修 6日迄	静 岡 市
10月13日	磐田税務署管内青色申告会事務担当者研修会	磐田 商 工 会 館
10月23日	小規模事業者・店舗経営者のための生産性Up!最先端のデジタル活用セミナー	静 岡 市
10月23日	全国労働保険事務組合連合会静岡支部研修会	静 岡 市
10月27日	事業承継(M&A)セミナー	浜 松 市
10月28日	経営研究会視察 29日迄	東 京 都
10月30日	専門スタッフ研修会特別(実践)コース 31日迄	藤 枝 市
11月7日	令和5年度専門スタッフ研修会特別(実践)Cコース 8日迄	静 岡 市
11月7日	全国労働保険事務組合連合会静岡支部研修会	静 岡 市
11月8日	藤枝商工会議所視察	藤 枝 市
11月27日	デジタル化推進要員研修会 28日迄	静 岡 市
11月28日	職員力向上研修「動画制作と活用方法」	磐田 商 工 会 館
11月29日	労働保険研修会	磐田 市 商 工 会
12月6日	県内商工会議所経営指導補助員研修会 7日迄	静 岡 市
12月14日	浜松商工会議所意見交換会	浜 松 市
12月19日	会員獲得勉強会	袋 井 市
12月20日	会員獲得勉強会	袋 井 市
1月10日	静岡銀行2024年新春講演会	浜 松 市
1月25日	中遠支部商工会経営指導員等研修会	ワークピア磐田
1月30日	青色申告会事務担当者研修会	磐田 商 工 会 館
3月8日	日本商工会議所視察	東 京 都

8. 登録

(1)法定台帳

1. 作成年月日 令和5年8月16日
2. 登録者数 923名(任意台帳無)
3. 運用概要 商取引の照会、斡旋、信用調査、商工業者名簿作成等に活用

9. 会館事務所等

(1) 土地

A 所有地

	所在地	面積
A	磐田市中泉 278-2	76.36 m ²
B	磐田市中泉 281-5	50.61 m ²
C	磐田市中泉 277-1	58.25 m ²
D	磐田市中泉一丁目 4 番 18	588.33 m ²
E	磐田市中泉 284-6 外	149.04 m ²
F	磐田市中泉 292-14	10.34 m ²

B 借地

	所在地	面積	備考
A	磐田市中泉 281-1・278-1	1,187.21 m ²	※磐田市所有
B	磐田市中泉 277-6・281-3	235.40 m ²	
C	磐田市中泉 292-3・292-11	388.32 m ²	
D	磐田市中泉 273-4・273-5	218.97 m ²	

(2) 建物

A 磐田商工会館

所在地	建築面積	延床面積	所有者
磐田市中泉 281 番地の 1	470.487 m ²	1,306.052 m ²	磐田商工会議所
構造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 3 階		
各階面積	B1 208.406 m ² (書庫)		
	1F 378.776 m ² (事務局、役員室・応接室、展示室)		
	2F 330.866 m ² (パソコン教室、会議室 2、貸室 2)		
	3F 388.004 m ² (大会議室、付属設備)		

B 磐田商工会議所会館

所在地	建築面積	延床面積	所有者
磐田市中泉 281 番地の 1	786.90 m ²	1,152.39 m ²	磐田商工会議所

構 造	鉄筋コンクリート造 地上 2 階		
各階面積	1F	523. 21 m ²	(事務局、応接室、相談室 3、会議室、書庫、交流スペース)
	2F	629. 18 m ²	(パソコン教室、会議室 2、貸室 4、書庫 2、付属設備)

(3)施設利用

A 貸室

入居者	フロア	面積
磐田ライオンズクラブ事務室	2F	26. 4 m ²
磐田青年会議所事務室	2F	26. 4 m ²

B 会議室等利用状況

大会議室	201 号室	206 号室	合計
212	287	254	753
(229)	(220)	(227)	(676)

(4)主な改修工事等

改修工事なし

10. 関係団体への加入及び連携

(1)日本商工会議所等

開催日	内 容	場 所
5月18日	全国商工会議所専務理事会議 19 日迄	宇 都 宮 市
6月1日	関東商工会議所連合会第 66 回総会	沼 津 市
9月21日	日本商工会議所第 137 回通常会員総会	東 京 都
11月22日	関東ブロック商工会議所中小企業相談所長会議	東 京 都
12月20日	日本商工会議所合同委員会 21 日迄	東 京 都
1月17日	日本商工会議所合同委員会	東 京 都
2月14日	日本商工会議所合同委員会	東 京 都
2月21日	全国商工会議所観光振興大会 2024in 水戸	水 戸 市
3月22日	日本商工会議所第 138 回通常会員総会	東 京 都

(2)静岡県商工会議所連合会

開催日	内 容	場 所
4月14日	第1回専務理事会議	静岡市
5月26日	第2回専務理事会議	浜松市
6月21日	第3回専務理事会議	静岡市
6月21日	静岡県商工会議所連合会第84回通常総会	静岡市
7月7日	第1回事務局長会議	静岡市
7月12日	静岡県商工会議所連合会と中部地方整備局との意見交換会	静岡市
7月18日	第1回中小企業相談所長会議	静岡市
8月4日	第4回専務理事会議	静岡市
9月8日	第5回専務理事会議	静岡市
10月12日	第6回専務理事会議	静岡市
10月12日	富士山静岡空港の現況説明会	静岡市
10月12日	県知事と県内商工会議所会頭との懇談会	静岡市
11月10日	第7回専務理事会議	静岡市
12月7日	第2回事務局長会議	静岡市
12月15日	第8回専務理事会議	熱海市
12月22日	第2回中小企業相談所長会議	静岡市
1月24日	第9回専務理事会議	静岡市
1月24日	会頭との意見交換会	静岡市
2月28日	第10回専務理事会議	静岡市
3月1日	第3回事務局長会議	下田市
3月21日	第3回中小企業相談所長会議	静岡市
3月27日	第11回専務理事会議	静岡市
3月27日	臨時総会	静岡市

(3)その他関連団体の協力

- ・磐田原総合開発(株)
- ・アクサ生命保険(株)
- ・磐田南高校定時制教育振興会
- ・静岡産業大学
- ・静岡理工科大学
- ・中遠建築高等職業訓練校
- ・磐田市観光協会
- ・磐田文化振興会
- ・磐田市国際姉妹都市友好協会
- ・NPO 法人磐田市スポーツ協会
- ・(一社)磐田市勤労者福祉サービスセンター
- ・(公財)静岡県産業廃棄物協会中遠支部
- ・中東遠地域産業保健センター
- ・(一社)全国静岡県労働保険事務組合連合会静岡支部
- ・ジュビロ磐田
- ・静岡ブルーレヴズ
- ・静岡SSU ボニータ
- ・ジュビロ磐田ホームタウン推進協議会
- ・磐田税務連絡協議会
- ・(公社)磐田法人会、同磐田支部
- ・浜松工業技術支援センター
- ・(一社)磐田青年会議所
- ・磐田防衛協会
- ・西部防衛協会
- ・清水港利用推進協議会
- ・富士山静岡空港利用促進協議会
- ・磐田日華友好親善交流会

- ・(公財)日本電信電話ユーザ協会中東遠地区協会
- ・三遠南信地域連携ビジョン推進会議

(4)関連団体出席会議等

月 日	内 容	場 所
4月3日	IWATA 合同入社式	アミューズ豊田
4月5日	農林環境専門職大学入学式	アミューズ豊田
4月5日	静岡産業大学入学式	静岡市
4月7日	浜松商工会議所 130 周年記念式典	浜松市
4月7日	磐田南高等学校定時制入学式	磐田南高校
4月7日	労働保険事務組合磐田地区協役員会	磐田市商工会
4月11日	磐田市商店会連盟役員会	磐田商工会館
4月12日	磐田市食品衛生協会磐田支部監査	磐田商工会館
4月12日	磐田市食品衛生協会磐田支部理事会	磐田商工会館
4月12日	磐田税務署管内青色申告会正副会長会議	磐田商工会館
4月13日	経営研究会監査会	磐田商工会館
4月13日	いわた仕事万博第1回準備委員会	ワークピア磐田
4月14日	静岡県産業廃棄物協会中遠支部第1回役員会	掛川市
4月17日	第17回磐田まちなめぐりゼミナール情報交換会	磐田商工会館
4月19日	磐田市食品衛生協会磐田支部通常総会	磐田商工会館
4月21日	経営研究会総会	凜喜桜変
4月25日	磐田税務署管内青色申告会部監査会	磐田商工会館
4月25日	磐田市商店会連盟監査会	本多屋
4月26日	とらいあんぐる磐田理事会	ワークピア磐田
5月9日	磐田 U-12 国際サッカー大会実行委員会	磐田商工会館
5月10日	磐田原総合開発(株)監査会	磐田市役所
5月10日	2023 夏まつり花火実行委員会	磐田市商工会
5月11日	ジュビロ磐田メモリアルマラソン検討会	磐田市総合体育館
5月15日	磐田原総合開発(株)取締役会	磐田市役所
5月16日	労働保険事務組合地区総会	磐田市商工会
5月16日	磐田市食品衛生協会磐田支部役員会	磐田商工会館
5月16日	磐田市商店会連盟役員会	磐田商工会館
5月17日	ジュビロホームタウン推進協議会監査会	磐田商工会館
5月23日	経営研究会例会	磐田商工会館
5月24日	労働保険事務組合総会	静岡市

月 日	内 容	場 所
5月24日	磐田南高校定時制企業説明会	磐田南高等学校
5月25日	さぎさか工業団地協同組合総会	さぎさか工業団地
5月26日	アクサ BWC 中間報告	磐田商工会館
6月1日	静岡県積層造形技術協議会	浜松市
6月2日	磐田原総合開発(株)株主総会	ワークピア磐田
6月2日	磐田原総合開発(株)取締役会	ワークピア磐田
6月4日	国際交流協会総会	静岡産業大学
6月5日	磐田税務署管内青色申告会青年部長会議	ラトリエ・ドゥ・マリエ
6月5日	磐田税務署管内青色申告会通常総会	ラトリエ・ドゥ・マリエ
6月6日	磐田市食品衛生協会前期業検①	i プラザ
6月7日	磐田法人会定時総会	袋井市
6月7日	いわたの夜空に元気玉花火実行委員会	磐田市商工会
6月7日	静岡県よろず支援拠点静岡県域支援機関情報交換会	静岡市
6月8日	アクサ生命 BWC 共済推進・感謝の会	静岡市
6月8日	第72回磐商連定時総会	ラトリエ・ドゥ・マリエ
6月12日	ユーザ協会中東遠地区協会定期総会	袋井市
6月13日	経営研究会例会	磐田商工会館
6月14日	御前崎港視察会	御前崎市
6月15日	磐田スタンプサービス店会定時総会	i プラザ
6月19日	第1回空き店舗対策会議	静岡市
6月21日	磐田市食品衛生協会役員会	磐田商工会館
6月23日	静岡県産業廃棄物協会中遠支部定時総会	掛川市
6月26日	静岡県商店会連合会通常総会・静岡県商店街振興組合連合会通常総会	静岡市
6月28日	静岡産業大学 地域産業論ゼミ	(株)松下工業
6月28日	磐田市食品衛生協会前期業検②	i プラザ
6月29日	島田青色申告会会員増強活動視察	島田市
7月4日	静岡県産業教育振興会定期総会	静岡市
7月4日	磐田南高定時制産業振興会総会	磐田南高校
7月4日	日本珠算連盟磐田支部表敬訪問	磐田市役所
7月5日	磐田市食品衛生協会磐田支部夏期講習会	かたりあ
7月11日	磐田 U-12 国際サッカー大会実行委員会	ヤマハスタジアム
7月11日	経営研究会例会	磐田商工会館
7月12日	ポリテクカレッジ浜松協力会通常総会	浜松市

月 日	内 容	場 所
7月12日	磐田市食品衛生協会磐田支部役員会	ワークピア磐田
7月13日	磐田市地域公共交通会議	磐田市役所
7月13日	静岡県支援機関等連携促進会議	静岡市
7月20日	磐田南高校定時制面接指導	磐田南高等学校
7月21日	TECH BEAT Shizuoka 2023	静岡市
7月24日	光・電子技術を活用した未来創成ビジョン推進協議会	浜松市
7月27日	磐田U-12国際サッカー大会	ゆめりあ他
8月2日	磐田市食品衛生協会役員会	ワークピア磐田
8月2日	磐田市廃棄物減量化等推進審議会	クリーンセンター
8月10日	経営研究会納涼会	魚彦
8月10日	アクサ生命達成会	袋井市
8月10日	磐田市指定管理者選定等委員会	磐田市内
8月10日	産業振興フェア in いわた作業部会	磐田商工会館
8月15日	市平和祈念式典	かたりあ
8月24日	磐田原総合開発(株)取締役会	磐田市役所
8月24日	静岡県青色申告会連合会事務担当者会議	静岡市
8月30日	磐田市食品衛生協会直中毒防止月間セレモニー	アピタ磐田店
8月31日	第2回磐田市の国民健康保険事業の運営に関する協議会	i プラザ
9月6日	事務局長・共済担当役席者推進連絡会議	静岡市
9月6日	磐田市食品衛生協会磐田支部手洗い指導	田原小学校
9月8日	BWC 進発式	磐田商工会館
9月12日	いわたまちめぐりゼミナール情報交換会	ワークピア磐田
9月12日	経営研究会例会	磐田商工会館
9月12日	新会館什器備品参考見学	浜松市
9月13日	まちひとしごと地域創成会議	静岡市
9月15日	静岡県・磐田市指導監査	磐田商工会館
9月20日	青色申告会磐田支部役員会	ワークピア磐田
9月21日	磐田税務署管内青色申告会広報部会	ワークピア磐田
9月22日	磐田法人会役員会・税務研修会	ラトリエ・ドゥ・マリエ
9月26日	いわた夏まつり花火大会実行委員会	磐田市商工会
9月27日	磐田市食品衛生協会磐田支部役員会	ワークピア磐田
9月28日	磐田税務署管内青色申告会役員会	ラトリエ・ドゥ・マリエ
10月2日	掛川商工会議所創立70周年式典	掛川市
10月2日	ジュビロ磐田メモリアルマラソン大会役員会・実行委員会	磐田市役所

月 日	内 容	場 所
10月6日	産業振興フェア inいわた出展者説明会	アミューズ豊田
10月6日	労働保険事務組合磐田地区協議会役員会	磐田市商工会
10月6日	産業振興フェア県庁訪問	静岡市
10月7日	スタジアムマルシェ	ヤマハスタジアム
10月10日	県行政要望書押印	掛川市
10月10日	産業振興フェア県庁訪問	静岡市
10月13日	市行政要望、正副・市長との懇談会	磐田市
10月13日	国分寺祭り実行委員会	磐田市役所
10月16日	磐田市入札監視委員会	磐田市役所
10月16日	経営改善資金推薦団体連絡協議会	浜松市
10月17日	経営研究会 10月例会	磐田商工会館
10月17日	FUSE-ON CHALLENGE2023 二次審査会	浜松市
10月20日	2023年度検定担当者会議	web
10月23日	磐田市指定管理者選定等委員会	磐田市内
10月24日	静岡県商店会連盟連合会臨時総会	静岡市
10月26日	磐田市の国民健康保険事業の運営に関する協議会	i プラザ
10月26日	袋井商工会議所創立 30 周年記念式典	袋井市
10月28日	エアフェスタ 2023 前夜祭	浜松市
10月29日	エアフェスタ 2023 祝賀会	浜松市
10月30日	磐田市特別報酬等懇話会	磐田市役所
10月30日	三遠南信地域経済開発協議会	浜松市
10月30日	三遠南信サミット 2023in 遠州	浜松市
11月1日	磐田市食品衛生協会後期業検①	i プラザ
11月4日	金山講秋季大祭	ふくり
11月11日	国分寺祭開会式	国分寺公園
11月13日	磐田原総合開発(株)取締役会	磐田市役所
11月13日	中小企業支援懇話会	静岡市
11月14日	静岡理工科大学地域創成フォーラム	浜松市
11月14日	磐田法人会表彰式	かたりあ
11月14日	磐田市食品衛生協会後期業検②	i プラザ
11月15日	浜松ホトニクス 70 周年記念式典	浜松市
11月16日	磐田市の国民健康保険事業の運営に関する協議会	i プラザ
11月16日	磐田市廃棄物減量化推進審議会	磐田市内
11月17日	静岡青色申告会創立 70 周年記念式典	静岡市

月 日	内 容	場 所
11月19日	ジュビロ磐田メモリアルマラソン	ヤマハスタジアム
11月22日	商工会議所・静岡県信用保証協会情報交換会	浜松市
11月22日	磐田市食品衛生協会40周年記念式典	かたりあ
11月22日	産業振興フェア in いわた作業部会	磐田商工会館
11月26日	シン・スポーツフェスティバル	静岡産業大学
11月27日	西部防衛協会国際情勢講演会	浜松市
11月27日	税務懇談会	ワークピア磐田
11月28日	静岡ブルーレヴズキックオフパーティ	浜松市
12月2日	全国軽トラ市サミット	浜松市
12月3日	全国軽トラ市 in はままつ	浜松市
12月3日	東アジア文化都市静岡式典・講演会	浜松市
12月5日	浜松磐田信用金庫本部棟落成式	浜松市
12月6日	静岡大学浜松医科大学統合協議会	浜松市
12月6日	磐田U-12国際サッカー大会実行委員会	ヤマハスタジアム
12月12日	磐田税務署管内青色申告会女性部セミナー	磐田商工会館
12月14日	全国労働保険事務組合連合会静岡支部第2回理事会	静岡市
12月15日	経営研究会忘年会	寿
12月26日	磐田市魅力産業支援会議	磐田市役所
1月4日	新春祝賀会	静岡市
1月6日	磐田青年会議所賀詞交歓会	ラトリエ・ドゥ・マリエ
1月9日	浜松商工会議所賀詞交歓会	浜松市
1月11日	テロ対策ネットワーク会議会場型訓練	ゆめりあ
1月12日	磐田税務署管内青色申告会青年部・女性部合同部長会議	磐田税務署
1月12日	磐田税務署管内青色申告会正副会長会議	磐田税務署
1月15日	地域公共交通会議	磐田市役所
1月15日	静岡県庁産業振興フェア報告	静岡市
1月16日	アクサベストウィズクラブ2023年度幹事会	東京都
1月22日	産業振興フェア in いわた3部門長会議	磐田商工会館
1月24日	産業振興フェア作業部会	磐田商工会館
1月24日	いわた仕事万博2024第1回運営企画会議	静岡産業大学
1月25日	いわたまちめぐりゼミナール講座説明会	磐田商工会館
1月26日	法人会磐田支部役員会	ラトリエ・ドゥ・マリエ
1月30日	静岡県産業廃棄物協会中遠支部役員会	ワークピア磐田
2月5日	産業教育振興会総会	静岡市
2月5日	いわた・ふくろい就職フェア担当者会議	磐田市役所

月 日	内 容	場 所
2月5日	御下賜金記念産業教育功労者表彰伝達式	静岡市
2月6日	磐田市創業支援ネットワーク会議	ワークピア磐田
2月7日	磐田市商店会連盟役員会	磐田商工会館
2月8日	磐田市特別職報酬審議会	磐田市役所
2月9日	経営安定特別相談室担当者会議	伊東市
2月9日	青申会総務部会・事務担当者会議	袋井市
2月9日	青申会森下氏財務大臣表彰祝賀会	袋井市
2月13日	空き店舗対策会議	静岡市
2月13日	いわた仕事万博 2024 運営企画会議	静岡産業大学
2月13日	経営研究会例会	磐田商工会館
2月19日	磐田原総合開発(株)取締役会	磐田市役所
2月20日	浜松磐田信用金庫との情報交換会	天宏
2月21日	磐田食品衛生協会磐田支部役員会	ワークピア磐田
3月1日	磐田南高校定時制卒業式	磐田南高等学校
3月7日	磐田市商店会連盟役員会	磐田商工会館
3月12日	いわた・ふくろい就職フェア担当者会議	袋井市
3月12日	経営研究会例会	磐田商工会館
3月15日	日本電信電話ユーザ協会静岡支部西部ブロック会議	浜松市
3月15日	磐田市廃棄物減量化等推進審議会	クリーンセンター
3月18日	静岡県商店会連盟連合会通常総会	静岡市
3月19日	高校生と企業を結ぶ合同企業説明会	袋井市
3月21日	ゆるとーくいわた	HIGHTMIAL 磐田店
3月26日	いわた仕事万博実行委員会	ワークピア磐田

11. その他

(1) 磐田市商店会連盟

会長	山下貢史
副会長	鈴木康元、宮地浩、高梨謙太郎、名倉安洋、大石健太郎、 山崎誠、清水勇
年間決算額	2,317 千円
会員数	7 商店会（加盟店数 89 店）
主な事業	総務・販促企画・セミナー開催・組織強化

(2)磐田税務署管内青色申告会

会長	森下剛好
副会長	山本吉己、稲村弘、鵜飼知行、森田義博、森三利、戸田早苗
年間決算額	3,334 千円
会員数	5 支部、理事 56 人、 会員数 1,235 人
主な事業	個人納税者の納税思想普及のため各種講習会・研修会の開催、 税制改正運動の展開、青年部女性部の育成、会報誌の発行

(3)磐田税務署管内青色申告会磐田支部

支部長	戸田早苗
副支部長	渡瀬訓孝、鈴木資司、石丸實、大橋眞吾
年間決算額	1,194 千円
会員数	318 人
主な事業	本部に沿った事業、青色申告制度の普及活動

(4)磐田市食品衛生協会磐田支部

支部長	大石義典
副支部長	野口丈雄、服部恒男、金子貴正、山下哲章、萩原悟、岡田稔
年間決算額	3,179 千円
会員数	485 社
主な事業	市内飲食業者への食品衛生思想の普及、食品衛生に関する相談等

(5)磐田スタンプサービス店会

会長	山下貢史
副会長	鈴木祐之、大石健太郎
年間決算額	1,077 千円
会員数	26 店
主な事業	販売促進スタンプの発行、抽選会、招待旅行

(6)静岡県石油商業組合磐田支部

支部長	鈴木厚
副支部長	西沢章、杉村和彦、清水孝保
年間決算額	818 千円
組合員数	14 社

主な事業 経営合理化事業、社会貢献事業、情報連絡指導事業、
組合員相互の親睦

(7)静岡県美容業生活衛生同業組合磐田支部

支部長 平野弘隆
年間決算額 3,927 千円
組合員数 47 店
主な事業 経営の合理化、技術の向上、研究会の開催、組合員の親睦

(8)磐田経営研究会

会長 平野正司
副会長 三谷裕淑
年間決算額 804 千円
会員数 9 社
主な事業 研修会（講師例会）、会員相互の親睦

(9)静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合磐田支部

支部長 石川和彦
副支部長 角一幸
年間決算額 348 千円
会員数 3 社
主な事業 研修会の開催、親睦、組織強化対策等

以上の通り令和5年度の事業を実施したので報告します。

令和6年6月24日

磐田商工会議所
会頭 鈴木裕司

令和5年度

一般会計並びに特別会計
収 支 決 算 書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

磐田商工会議所

目次

1	収支決算書総括表	97
2	磐田商工会議所一般会計収支決算書	98
3	磐田中小企業相談所収支決算書	102
4	労働保険事務組合特別会計収支決算書	105
5	役職員退職給与積立金会計収支決算書	106
6	磐田商工会議所会館建設特別会計収支決算書	107
7	財政調整積立金特別会計収支決算書	108
8	貸借対照表	109
9	財産目録	110
10	磐田商工会館等特別会計貸借対照表	112
11	磐田商工会館等特別会計財産目録	113
12	磐田商工会館等特別会計収支決算書	114
13	監査報告書	117

1 令和5年度 収支決算書総括表
自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

(単位:円)

会計別	繰越金	収入	収入計	支出	繰入金 (支出△)	差引 収支残高	備考
一般会計	14,716,395	99,263,534	113,979,929	74,364,510	△ 35,000,000	4,615,419	次年度繰越
中小企業 相談所会計	1,097,489	44,081,384	45,178,873	44,636,632	△ 2,000,000 3,000,000	1,542,241	次年度繰越
労働保険事務 組合特別会計	0	49,061,202	49,061,202	49,061,202	0	0	
役職員退職給与 積立金会計	20,929,533	2,694,908	23,624,441	4,337,667	2,000,000	21,286,774	本年度末 資金残高
磐田商工会議所 会館建設特別会計	235,182,114	258,730,709	493,912,823	442,528,116	17,000,000	68,384,707	次年度繰越
財政調整積立金 特別会計	75,001,270	739	75,002,009	0	15,000,000	90,002,009	本年度末 資金残高
商工会館等 特別会計	2,183,787	19,273,160	21,456,947	20,767,923	0	689,024	次期繰越 利益
合計	349,110,588	473,105,636	822,216,224	635,696,050	0	186,520,174	

[注1]一般会計繰入金

内訳: 中小企業相談所会計	3,000,000 円
(内 役職員退職給与積立金会計	2,000,000 円)
磐田商工会議所会館建設特別会計	17,000,000 円
財政調整積立金会計	15,000,000 円

2 令和5年度 磐田商工会議所一般会計収支決算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1	会 費	45,520,800	44,840,000	680,800	
	1 会 費	37,880,800	37,200,000	680,800	
	2 特 別 会 費	7,640,000	7,640,000	0	
2	加 入 金	111,000	120,000	△ 9,000	
	1 加 入 金	111,000	120,000	△ 9,000	
3	特定商工業者 負 担 金	916,800	920,000	△ 3,200	
	1 負 担 金	914,400	920,000	△ 5,600	1,200×596名(会員) 1,200×166名(非会員)
	2 過 年 度 負 担 金	2,400	0	2,400	1,200×2名(非会員)
4	事 業 収 入	16,957,910	22,650,000	△ 5,692,090	
	1 検 定 料 収 入	1,707,590	3,100,000	△ 1,392,410	各種検定試験受験料
	2 広 告 料 収 入	2,252,400	3,800,000	△ 1,547,600	会議所ニュース広告料
	3 共 済 事 業 収 入	825,480	1,300,000	△ 474,520	特定退職金共済運営収入
	4 証 明 等 手 数 料	1,488,310	3,000,000	△ 1,511,690	原産地証明手数料 他
	5 事 業 分 担 金	8,808,343	9,450,000	△ 641,657	見付あきんど組 450,000 夏祭inジュピロード 1,673,000 産業振興フェアinいわた 4,965,000 就職フェア 1,720,343
	6 使 用 料 等	1,875,787	2,000,000	△ 124,213	商工会館使用料(非課税)収入、 コピー・印刷使用料等
5	特 別 事 業 収 入	7,748,436	7,893,000	△ 144,564	
	1 会 議 等 負 担 金 収 入	4,555,716	4,700,000	△ 144,284	諸会議、研修会、部会
	2 事 務 委 託 団 体 収 入	3,192,720	3,193,000	△ 280	磐田税務署管内青色申告会 497,000 磐田税務署管内青色申告会 磐田支部 500,000 磐田市商店会連盟 500,000 磐田市食品衛生協会磐田支部 720,000 磐田スタンプサービス店会 450,000 静岡県石油商業組合磐田支部 150,000 静岡県美容業生活衛生同業 組合磐田支部 173,880 静岡県ホテル旅館生活衛生 同業組合磐田支部 96,000 磐田経営研究会 105,840

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
6	交 付 金	25,340,000	24,550,000	790,000	
	1 委 託 料	3,990,000	4,000,000	△ 10,000	地域雇用創造事業
	2 補 助 金	21,350,000	20,550,000	800,000	見付あきんど組 450,000 夏祭inジュビロード 1,100,000 産業振興フェアinいわた 8,800,000 商工業振興事業 6,000,000 転職フェア 5,000,000
7	雑 収 入	2,668,588	2,800,000	△ 131,412	
	1 雑 収 入	2,668,588	2,800,000	△ 131,412	業務災害補償制度普及費、預金利息 他
8	繰 越 金	14,716,395	14,500,000	216,395	
	1 繰 越 金	14,716,395	14,500,000	216,395	
合 計		113,979,929	118,273,000	△ 4,293,071	

支出の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1	一般事業費	13,225,581	14,300,000	△ 1,074,419	
	1 部 会 運 営 費	4,461,401	5,000,000	△ 538,599	8部会事業費
	2 委 員 会 運 営 費	2,348,041	2,350,000	△ 1,959	関連事業費
	3 検 定 事 業 費	987,098	1,100,000	△ 112,902	各種検定、競技会、日珠連
	4 調 査 広 報 費	2,766,973	2,900,000	△ 133,027	事業報告書/予算書印刷費、会議所 ニュース発行費、各種調査費
	5 産 業 振 興 費	2,499,594	2,700,000	△ 200,406	商工振興対策事業費 他
	6 研 修 事 業 費	162,474	250,000	△ 87,526	職員海外研修費 他
2	委託補助事業費	26,891,615	28,200,000	△ 1,308,385	
	1 宿 場 市	900,000	900,000	0	見付あきんど組
	2 夏 ま つ り	2,666,588	2,750,000	△ 83,412	夏祭inジュビロード
	3 産 業 振 興 フ ェ ア	14,406,144	14,950,000	△ 543,856	産業振興フェアinいわた
	4 地 域 振 興 費	666,110	800,000	△ 133,890	商工振興対策関連事業費
	5 地 域 雇 用 創 造	2,752,773	3,300,000	△ 547,227	地域雇用創造事業費
	6 転 職 フ ェ ア	5,500,000	5,500,000	0	マイナビ転職フェア
3	法定台帳作成 管理運用費	199,445	200,000	△ 555	
	1 事 業 費	199,445	200,000	△ 555	台帳等作成費、郵送料 他
4	給 与 費	18,990,275	22,100,000	△ 3,109,725	
	1 俸 給	12,072,040	14,100,000	△ 2,027,960	役職員 7名分
	2 諸 手 当	1,634,838	2,100,000	△ 465,162	役職員 7名分
	3 期 末 手 当	5,283,397	5,900,000	△ 616,603	役職員 7名分
5	福利厚生費	5,293,880	5,600,000	△ 306,120	
	1 福 利 厚 生 費	3,757,355	4,000,000	△ 242,645	各種法定保険、厚生年金、厚生費 他
	2 共 済 掛 金	1,536,525	1,600,000	△ 63,475	全国商工会議所役職員退職年 金共済会掛金
6	旅費交通費	677,320	700,000	△ 22,680	
	1 旅 費 交 通 費	677,320	700,000	△ 22,680	役職員一般旅費

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
7 事 務 費		3,612,310	4,100,000	△ 487,690	
	1 通 信 運 搬 費	455,742	500,000	△ 44,258	郵券、電話代
	2 消 耗 品 費	668,956	700,000	△ 31,044	印刷機トナー、事務用品費
	3 図 書 資 料 費	203,400	300,000	△ 96,600	新聞、図書費
	4 印 刷 費	440,672	450,000	△ 9,328	事務印刷費
	5 会 員 費	732,590	800,000	△ 67,410	会費収納費
	6 事 務 雑 費	249,495	350,000	△ 100,505	総合振込手数料 他
	7 O A 費	861,455	1,000,000	△ 138,545	OA関係費
8 会 議 費		2,038,433	3,500,000	△ 1,461,567	
	1 会 議 費	2,038,433	3,500,000	△ 1,461,567	議員総会、常議員会、賀詞交歓会、正副会頭会議
9 渉 外 費		180,412	200,000	△ 19,588	
	1 渉 外 費	180,412	200,000	△ 19,588	慶弔費等渉外費
10 公 課 分 担 金		3,255,239	3,550,000	△ 294,761	
	1 公 課 分 担 金	3,255,239	3,550,000	△ 294,761	日商、関商連、県連、その他各種団体分担金
支 出 計		74,364,510	82,450,000	△ 7,790,729	
11 繰 入 金		35,000,000	35,000,000	0	
	1 中 小 企 業 相 談 所 特 別 会 計	3,000,000	3,000,000	0	特別会計繰入
	2 産 業 会 館 建 設 特 別 会 計	17,000,000	17,000,000	0	特別会計繰入
	3 財 政 調 整 積 立 金 特 別 会 計	15,000,000	15,000,000	0	特別会計繰入
13 予 備 費		0	823,000	△ 823,000	
	1 予 備 費	0	823,000	△ 823,000	
支 出 合 計		109,364,510	118,273,000	△ 8,908,490	
次 期 繰 越 金		4,615,419	0	4,615,419	
合 計		113,979,929	118,273,000	△ 4,293,071	

3 令和5年度 磐田中小企業相談所 収支決算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1 補助金		43,563,404	47,142,000	△ 3,578,596	1.小規模事業経営支援事業費補助金
	1 補助金	31,564,354	34,042,000	△ 2,477,646	(1) 指導員等設置費 17,647,600 (2) 指導員等設置諸費 12,183,934 (3) 旅 費 178,200 (4) 事 務 費 313,600 (5) 指 導 事 業 費 691,200 (6) 研 修 事 業 費 42,720 (7) 小規模企業振興委員活動費 299,000 (8) 小規模企業ビジネスパワーアップ支援事業費 0 (9) 小規模事業普及費 58,100 (10) 経営安定特別相談事業費 150,000
	2 市補助金	8,000,000	8,000,000	0	
	3 日商補助金	3,999,050	5,100,000	△ 1,100,950	1 制度改正等の課題解決環境整備事業 1,113,200 2 事業環境変化対応型支援事業 2,885,850
2 事業収入		468,380	1,500,000	△ 1,031,620	
	1 手数料	377,300	800,000	△ 422,700	手数料
	2 受講料	91,080	700,000	△ 608,920	講習会等受講料等
3 雑収入		39,600	100,000	△ 60,400	
	1 雑収入	39,600	100,000	△ 60,400	
4 中小企業支援センター補助金		10,000	250,000	△ 240,000	
	1 支援センター補助金	10,000	250,000	△ 240,000	作成費・事務費補助金
5 繰入金		3,000,000	3,000,000	0	
	1 一般会計繰入金	3,000,000	3,000,000	0	一般会計より
6 繰越金		1,097,489	2,255,000	△ 1,157,511	
	1 繰越金	1,097,489	2,255,000	△ 1,157,511	
合 計		48,178,873	54,247,000	△ 6,068,127	

支出の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1	給 与 費	26,504,370	27,859,800	△ 1,355,430	
	1 指 導 員 給 与	17,349,164	18,681,600	△ 1,332,436	職員4名分 1 俸 給 11,559,600 2 扶 養 手 当 150,000 3 通 勤 手 当 201,600 4 時間外勤務手当 911,278 5 期 末 手 当 4,286,686 6 管 理 職 等 手 当 240,000
	2 補 助 員 給 与	9,155,206	9,178,200	△ 22,994	職員2名分 1 俸 給 6,088,000 2 扶 養 手 当 77,000 3 通 勤 手 当 205,200 4 住 宅 手 当 112,000 5 時間外勤務手当 162,170 6 期 末 手 当 2,270,836 7 資 格 手 当 240,000
2	福 利 厚 生 費	4,387,426	4,437,000	△ 49,574	
	1 福 利 厚 生 費	4,387,426	4,437,000	△ 49,574	1 社会保険 指 導 員 分 2,777,693 補 助 員 分 1,446,187 2 厚 生 費 163,546
3	旅 費	331,960	590,000	△ 258,040	
	1 指 導 旅 費	114,020	250,000	△ 135,980	
	2 研 修 旅 費	119,440	120,000	△ 560	
	3 商工会議所補助員 研修会出席旅費	18,020	20,000	△ 1,980	
	4 特定商工会議所直面 問題会議出席旅費	0	0	0	
	5 そ の 他 旅 費	80,480	200,000	△ 119,520	
4	事 務 費	1,039,619	3,055,000	△ 2,015,381	
	1 指 導 事 務 費	982,892	2,950,000	△ 1,967,108	1 印 刷 製 本 費 41,834 2 通 信 運 搬 費 750,779 3 消 耗 品 費 44,216 4 燃 料 費 70,781 5 修 繕 費 0 6 借 料 及 び 損 料 (リ ー ス 代) 15,798 7 システム管理費 59,484
	2 備 品 費	0	10,000	△ 10,000	
	3 調 査 研 究 費	30,327	70,000	△ 39,673	購読料
	4 そ の 他 諸 費	26,400	25,000	1,400	名刺代
5	福 利 環 境 整 備 費	3,357,487	3,500,000	△ 142,513	
	1 福 利 環 境 整 備 費	3,357,487	3,500,000	△ 142,513	1 退 職 金 積 立 金 2,000,000 2 全 国 会 議 所 退 職 金 共 済 掛 金 1,357,487

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
6	指導事業費	7,051,725	9,140,000	△ 2,088,275	
	1 講習会等開催費	2,257,924	3,200,000	△ 942,076	セミナー、個別相談会
	2 金融指導費	67,080	150,000	△ 82,920	
	3 経営指導推進費	299,082	325,000	△ 25,918	商工振興委員11人(国奨11人) 1 指導普及費 謝金@20,000×11 220,000 交通通信費@5,000×11 55,000 2 連絡会議費(研修) 24,082 3 その他 0
	4 小規模事業 施策普及費	134,420	150,000	△ 15,580	パンフレット
	5 小規模事業対策 特別推進費	3,360,000	3,500,000	△ 140,000	
	6 講習会等諸費	1,964	15,000	△ 13,036	
	7 その他事業費	931,255	1,800,000	△ 868,745	専門家派遣、
7	経営安定 特別相談事業費	259,020	850,000	△ 590,980	
	1 特別相談事業費	259,020	550,000	△ 290,980	
	2 経営技術強化 支援事業費	0	300,000	△ 300,000	
8	中小企業支援 センター事業費	0	100,000	△ 100,000	
	1 事業費	0	100,000	△ 100,000	
9	制度改正等の課題 解決環境整備事業	1,012,000	1,000,000	12,000	
	1 事業費	1,012,000	1,000,000	12,000	個別相談会、セミナー
10	事業環境変化 対応型支援事業	2,623,500	3,500,000	△ 876,500	
	1 事業費	2,623,500	3,500,000	△ 876,500	専門家派遣による相談
11	中小企業基盤整備 機構研修出席旅費	47,640	100,000	△ 52,360	
	1 中小企業基盤整備 機構研修出席旅費	47,640	100,000	△ 52,360	研修会
12	会議費	20,620	30,000	△ 9,380	
	1 会議費	20,620	30,000	△ 9,380	
13	雑費	1,265	10,000	△ 8,735	
	1 雑費	1,265	10,000	△ 8,735	
14	予備費	0	75,200	△ 75,200	
	1 予備費	0	75,200	△ 75,200	
支 出 計		46,636,632	54,247,000	△ 7,610,368	
15	次期繰越金	1,542,241	0	1,542,241	
	1 次期繰越金	1,542,241	0	1,542,241	
合 計		48,178,873	54,247,000	△ 6,068,127	

4 令和5年度 労働保険事務組合特別会計収支決算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
受 入 保 険 料	48,335,110	年間労働保険取扱高
手 数 料	708,822	138事業所
雑 収 入	17,270	共済手数料
合 計	49,061,202	

支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
支 払 保 険 料	47,990,517	静岡労働局へ支払い
還 付 金	344,593	18事業所
追 徴 金	0	
延 滞 金	0	
会 館 支 出 金	716,082	会館会計繰入金
事 務 費	10,010	振込手数料
合 計	49,061,202	

5 令和5年度 役職員退職給与積立金会計収支決算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
繰 入 金	2,000,000	中小企業相談所会計より積立
雑 収 入	2,694,908	浜磐信定期・普通預金利息 257 全国役職員退職金共済会 2,694,651
繰 越 金	20,929,533	
合 計	25,624,441	

支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
退 職 給 与 金	4,337,667	職員1名
支出合計	4,337,667	
本年度末資金残高	21,286,774	
合 計	25,624,441	

6 令和5年度 磐田商工会議所会館建設特別会計収支決算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1. 補助金収入		100,000,000	100,000,000	0	
	1. 補助金収入	100,000,000	100,000,000	0	県・市補助金
2. 長期借入金収入		100,000,000	100,000,000	0	
	1. 長期借入金収入	100,000,000	100,000,000	0	
3. 協力金収入		58,728,668	52,000,000	6,728,668	
	1. 協力金収入	58,728,668	52,000,000	6,728,668	
4. 一般会計繰入金		17,000,000	17,000,000	0	
	1. 一般会計繰入金	17,000,000	17,000,000	0	
5. 雑収入		2,041	3,000	△ 959	
	1. 雑収入	2,041	3,000	△ 959	預金利息他
6. 繰越金		235,182,114	211,000,000	24,182,114	
	1. 繰越金	235,182,114	211,000,000	24,182,114	前年度繰越金
合計		510,912,823	480,003,000	30,909,823	

支出の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1. 建設工事費		441,544,434	446,458,000	△ 4,913,566	
	1. 建設工事費	429,298,000	432,000,000	△ 2,702,000	石川建設(株)他
	2. 設計管理費	5,100,000	5,100,000	0	(株)渡辺隆建築設計事務所
	3. 測量試験費等	385,350	2,358,000	△ 1,972,650	中部電力パワーグリッド(株)他
	4. 解体費	6,761,084	7,000,000	△ 238,916	(株)ヤマグチ他
2. 事務諸費		983,682	3,000,000	△ 2,016,318	
	1. 事務諸費	983,682	3,000,000	△ 2,016,318	
支出計		442,528,116	449,458,000	△ 6,929,884	
3. 繰越金		68,384,707	30,545,000	37,839,707	
	1. 繰越金	68,384,707	30,545,000	37,839,707	次年度繰越金
合計		510,912,823	480,003,000	30,909,823	

7 令和5年度 財政調整積立金特別会計収支決算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
繰 入 金	15,000,000	一般会計より積立
雑 収 入	739	浜磐信普通預金利息
繰 越 金	75,001,270	
合 計	90,002,009	

支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
支 出 金	0	
支 出 合 計	0	
本 年 度 末 資 金 残 高	90,002,009	
合 計	90,002,009	

8 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流動資産	182,056,193	流動負債	9,106,553
現金及び預金	167,647,006	未払金	1,536,068
未収金	14,157,977	前受金	261,770
前払金	251,210	仮受金	10,000
		預り金	7,298,715
固定資産	597,459,165	固定負債	21,286,774
(有形固定資産)	(573,922,276)	退職給与引当金	21,286,774
建物	459,244,719		
什器備品	1,496,048	負債計	30,393,327
車両運搬具	0		
土地	113,181,509		
		〔正味財産の部〕	
(投資その他の資産)	(23,536,889)	特別積立金	
電話加入権	263,115	財政調整積立金	90,002,009
出資金	1,212,000		
敷金	775,000	剰余金	659,120,022
退職給与積立金会計預金	21,286,774	固定資産	584,577,655
		磐田商工会議所会館建設引当金	68,384,707
		一般会計収支剰余金	4,615,419
		中小企業相談所会計収支剰余金	1,542,241
		正味財産計	749,122,031
合 計	779,515,358	合 計	779,515,358

〔決算書類に対する注記〕

- (1)資金の範囲 資金の範囲は流動資産及び流動負債としている
- (2)固定資産の減価償却の方法 有形固定資産は、定率法または旧定率法による(建物及び一部付帯設備は定額法を適用)
- (3)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税込方式による
- (4)引当金の計上基準 退職給与引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額より不足額が生じている
- (5)有形固定資産の減価償却累計額 93,830,433 円
- (6)退職給与引当金の当年度繰入金 2,000,000 円
- (7)全国商工会議所役職員退職年金共済拠出金累計額 31,623,196 円

9 財 産 目 録
令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額
〔資産の部〕		
流動資産		
現 金	手許残高	0
普 通 預 金	浜磐信磐田本店 No.0249694	8,674,560
	静銀磐田 No.0830478	5,450,684
	静岡中央磐田 No.1020691	300,266
	清水磐田 No.0042741	403,058
	島掛信磐田 No.0012285	4,714,866
	遠州中央農協見付 No.0085958	2,610,905
	遠信豊田 No.0125400	931,133
	浜磐信磐田本店(事業用) No.5171322	2,605,855
	浜磐信磐田本店(財政調整積立金) No.5174469	90,002,009
	浜磐信磐田本店(会館建設) No.0753714	18,044,319
	浜磐信磐田本店(花火) No.5181348	569,513
	浜磐信磐田本店(会館建設) No.5187054	23,272,632
	静銀磐田(会館建設) No.1330120	10,067,206
未 収 金	就職フェア負担金	1,194,950
	働き方改革推進支援助成金	5,000,000
	磐田商工会館人件費	4,963,027
	地域雇用創造事業委託料	3,000,000
前 払 金	商工会議所イベント保険料	251,210
固定資産 (有形固定資産)		
建 物	磐田商工会館地下1階地上3階延 1,306.052㎡	13,537,749
	磐田商工会館改修費	11,720,722
	磐田商工会議所会館地上2階延 1,152.39㎡	433,986,248
什 器 備 品	机・椅子購入費、卓球台、役員室椅子、受付カウンター	4
	デジタルサイネージ	146,224
	NAS交換	243,320
	中小企業相談所オンラインブース インターネット回線	416,500
	中小企業相談所オンラインブース パーテーション機材	300,000
	中小企業相談所オンラインブース 液晶モニター	390,000
土 地	磐田市中泉278-2 76.36㎡	16,275,500
	磐田市中泉281-5 50.61㎡、磐田市中泉277-1 58.25㎡	5,549,150
	磐田市中泉一丁目4番18 588.33㎡	69,172,554
	磐田市中泉284-6外 149.04㎡	21,017,255
	磐田市中泉292-14 10.34㎡	1,167,050
(投資その他の資産)		
電 話 加 入 権		263,115

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額	金 額
出 資 金	浜松磐田信用金庫 県火災共済協同組合 磐田原総合開発(株)	10,000 2,000 1,200,000	1,212,000
敷 金	柴田恒 神谷美保子	300,000 475,000	775,000
退職金積立金会計預金	浜松磐田信用金庫		21,286,774
	資 産 の 部 合 計		779,515,358
〔 負 債 の 部 〕			
流 動 負 債			
未 払 金	健康保険料 健康診断費用 ポニーテ贈呈品 会報誌送付代 事務用品代 看板掲出料	1,039,091 23,487 19,800 112,140 11,550 330,000	1,536,068
前 受 金	令和5年度新入会員会費、令和5年度年会費 企業懇話会ZOOMウェビナー利用料	250,000 11,770	261,770
仮 受 金	会館建設協力金	10,000	10,000
預 り 金	職員等源泉所得税 税理士等報酬税金 雇用保険料 (外郭団体等預り) 磐田税務署管内青色申告会本部 磐田税務署管内青色申告会磐田支部 磐田市商店会連盟 磐田商工会議所経営研究会 磐田地区総務担当者連絡会 磐田市大規模小売店舗連絡協議会	74,490 42,154 38,314 4,360,201 1,325,769 41,015 91,695 1,025,077 300,000	7,298,715
固 定 負 債			
退職給与引当金			21,286,774
	負 債 の 部 合 計		30,393,327
	差 引 正 味 財 産		749,122,031

10 磐田商工会館等特別会計貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	21,036,815	未払金	5,002,675
未収金	0	未払消費税	1,139,400
		前受受取退職金	0
流動資産計	21,036,815	仮受保険料収入	9,618,958
		見舞金準備金	3,586,763
		共済準備金	1,500,000
固定資産		流動負債計	20,847,796
(有形固定資産)		負債合計	20,847,796
什器備品	5		
(投資その他の資産)			
出資金	500,000	〔資本の部〕	
固定資産計	500,005	剰余金	
		当期末処分利益	689,024
		(うち当期利益)	(-1,494,763)
合 計	21,536,820	合 計	21,536,820

[注]有形固定資産の減価償却累計額

13,765,710 円

11 磐田商工会館等特別会計財産目録

令和6年3月31日現在

資産の部

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額
流 動 資 産		
現 金	(会館)	80,000
普 通 預 金	浜松磐田信用金庫 No.5147694	916,425
普 通 預 金	浜松磐田信用金庫 No.0117015	13,252,181
定 期 預 金	浜松磐田信用金庫	6,788,209
固 定 資 産		
(有形固定資産)		
什 器 備 品	タイピンマイクセット一式 1 大型空調機 1 3F大会議室アスベスト撤去固化工事 1 PCB収納BOX取り付け工事 1 プロジェクター 1	5
出 資 金	アクサ保険ホールディング(株)	500,000
合 計		21,536,820

負債及び正味財産の部

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債		
未 払 消 費 税		1,139,400
未 払 金	ダスキニイワタ、商工会館会計人件費	5,002,675
前受受取退職金	アクサ生命保険関連費	0
仮受保険料収入	アクサ生命保険関連費	9,618,958
見舞金準備金	アクサ生命保険関連費	3,586,763
共 済 準 備 金	アクサ生命保険関連費	1,500,000
当期末処分利益		689,024
(うち当期利益)		(-1,494,763)
合 計		21,536,820

12 令和5年度 磐田商工会館等特別会計収支決算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1 貸室収入		3,038,990	2,840,000	198,990	
	1 定期貸室収入	540,000	540,000	0	磐田ライオンズクラブ 264,000 磐田青年会議所 276,000
	2 臨時貸室収入	2,135,790	2,000,000	135,790	2・3F使用料
	3 その他付帯収入	363,200	300,000	63,200	物産陳列所小間料 他
2 共益費収入		528,000	528,000	0	
	1 共益費収入	528,000	528,000	0	磐田ライオンズクラブ 264,000 磐田青年会議所 264,000
3 取扱手数料		9,751,271	10,250,000	△ 498,729	
	1 生命共済	6,408,539	6,900,000	△ 491,461	生命共済事務費収入、火災共済、PL保険制度普及費 他
	2 公害健康補償事務手数料	876,150	900,000	△ 23,850	
	3 労働保険事務組合事務手数料	2,466,582	2,450,000	16,582	静岡労働局 1,717,500 労働保険事務組合他 749,082
4 事業収入		2,629,307	3,300,000	△ 670,693	
	1 事業収入	2,629,307	3,300,000	△ 670,693	パソコン教室委託事務手数料
5 雑収入		3,325,592	3,501,000	△ 175,408	
	1 預金利息	208	1,000	△ 792	
	2 雑収入	3,325,384	3,500,000	△ 174,616	小規模企業共済・倒産防止共済手数料 他
6 繰越金		2,183,787	1,800,000	383,787	
	1 繰越金	2,183,787	1,800,000	383,787	
合 計		21,456,947	22,219,000	△ 762,053	

支出の部

(単位:円)

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
1	維持費	6,542,343	7,140,000	△ 597,657	
	1 保守料	530,607	600,000	△ 69,393	電気保安業務手数料 178,607 会館防火設備点検料 22,000 会館警備費 330,000
	2 保険料	424,260	550,000	△ 125,740	火災保険 他
	3 水道光熱費	1,447,113	1,590,000	△ 142,887	上下水道料 159,297 ガス代 18,579 電気代 1,269,237
	4 清掃費	649,092	700,000	△ 50,908	磐田市シルバー人材センター、ダスキ ンイワタ 他
	5 修繕費	176,286	250,000	△ 73,714	会館修繕費
	6 賃貸料	3,314,985	3,450,000	△ 135,015	地代(磐田市他)、駐車場
2	事業費	17,000	100,000	△ 83,000	
	1 事業推進費	17,000	100,000	△ 83,000	共済加入推進費 他
3	見舞金等給付金	109,300	150,000	△ 40,700	
	1 見舞金等給付金	109,300	150,000	△ 40,700	共済見舞給付
4	管理費	11,787,791	11,891,000	△ 103,209	
	1 俸 給	4,082,730	4,100,000	△ 17,270	総務・業務課職員分
	2 諸 手 当	880,297	900,000	△ 19,703	通勤手当 他
	3 賞 与	2,486,304	2,500,000	△ 13,696	総務・業務課職員分
	4 福 利 厚 生 費	1,634,695	1,650,000	△ 15,305	雇用保険料、労災保険料、社会保険 料、厚生費
	5 旅 費 交 通 費	23,340	30,000	△ 6,660	職員旅費
	6 通 信 運 搬 費	109,439	130,000	△ 20,561	電話料 他
	7 什 器 備 品 費	0	10,000	△ 10,000	備品費
	8 消 耗 品 費	238,138	250,000	△ 11,862	消耗品費
	9 図 書 費	0	1,000	△ 1,000	関連書籍
	10 印 刷 費	3,259	15,000	△ 11,741	コピー代
	11 会 議 費	0	5,000	△ 5,000	会議関連費
	12 減 価 償 却 費	0	50,000	△ 50,000	会館減価償却費
	13 公 課 分 担 金	1,733,900	1,650,000	83,900	法人県民税 21,000 法人市民税 50,000 固定資産税・都市計画税 503,500 消費税 1,139,400 ベストウィズクラブ分担金 20,000
	14 事 務 諸 費	595,689	600,000	△ 4,311	事務諸費

科 目		決算額	予算額	比較増減(△)	摘 要
款	項				
5	労働保険運営費	2,311,489	2,430,000	△ 118,511	
	1 人 件 費	1,596,230	1,600,000	△ 3,770	総務・業務課職員分
	2 旅 費 交 通 費	12,320	15,000	△ 2,680	旅費、燃料費
	3 通 信 費	103,556	120,000	△ 16,444	郵券 他
	4 事 務 費	154,461	185,000	△ 30,539	事務用品、印刷代、総合コンピューターシステム処理料、振込手数料 他
	5 会 費	48,080	60,000	△ 11,920	事務組合会費
	6 水 道 光 熱 費	120,593	160,000	△ 39,407	電気代 他
	7 賃 借 料	276,249	290,000	△ 13,751	土地代 他
6	予 備 費	0	508,000	△ 508,000	
	1 予 備 費	0	508,000	△ 508,000	
支 出 計		20,767,923	22,219,000	△ 1,451,077	
当期末処分利益		689,024	0	689,024	
合 計		21,456,947	22,219,000	△ 762,053	

磐田商工会館等特別会計利益処分

当 期 未 処 分 利 益 689,024円

次 期 繰 越 利 益 689,024円

以上の通り令和5年度一般会計収支決算書並びに特別会計収支決算書の報告をいたします。

令和6年6月24日

磐田商工会議所
会 頭 鈴 木 裕 司

監 査 報 告 書

令和6年6月24日

磐 田 商 工 会 議 所
会 頭 鈴 木 裕 司 殿

磐 田 商 工 会 議 所
監 事 長 尾 仁
監 事 青 島 安 宏
監 事 鈴 木 和 男

私共監事は、定款第32条第5項の規定に基づき、磐田商工会議所会頭より提出されました令和5年度事業報告書並びに一般会計収支決算書及び特別会計収支決算書を監査いたしました。

以下監査の結果についてご報告いたします。

記

1. 業務に関する監査

業務の執行に関しては、常議員会やその他重要な会議に出席するほか、常勤役職員に報告を求め重要書類の閲覧、その他私共が必要とした手続きを用いて監査を行いました。その結果、令和5年度事業報告書は法令及び規約に従い総会並びに役員会の決議に基づき誠実に行われていることを認めました。

2. 経理に関する監査

監査は、内部統制組織の整備の状況により、私共が必要とした監査手続きを用いて抽出による監査を実施いたしました。

監査の結果、提出された一般会計収支決算書並びに特別会計収支決算書は、いずれも正確に計上され、且つ帳憑書類の処理も妥当なものであることを認めました。

以 上